満洲日報

二月二十七日發行

難攻の天嶮に據つて學良正規軍抵抗

塹壕の長さ三千乃至五千米

熱河討伐の最大難關

【大李家屯二十六日發】熱河討伐中最大難關と目されてゐる服部部隊前面に横はる敵の陣地は五線に亘り沙帽山、石屯子、頭道家子、廟嶺、北章營子の陣地となつてゐる、何れも塹壕は三千米より五千米に及び飛行機から偵察するに恐るべき深さを持つてゐる、就中第一線たる沙帽山は天嶮を利用して堅固を極めその守備に當れるは張學良の前衛一ケ團で服部部隊が如何にしてこの難攻不落の陣地を攻略するかは極めて重要視されてゐる

學良軍中でも精鋭を誇る四千の完備したる正規軍

【大李家屯二十六日發】服部部隊の前衛に堅陣を敷き大砲、追擊砲を亂射して抵抗して居る孫德荃軍は、昨秋から熱河の線に出動し本年正月山海關事件起るや、界嶺口から長城を越えて第一番に熱河に侵入したもので、初め乾溝鎭から凌源一帶に駐屯し、一度は朝陽近く突出して董福亭旅は僞勇軍の尻を押し、北票一帶を擾亂せしめ日滿聯合軍熱河討伐の報に學良の命により一月下旬頃綏中、凌源街道北章營子に移り、附近の匪軍、僞勇軍を使嗾し省境長棚に近い沙帽山の嶮谷に陣を進め一帶の住民を總徵發し山谷の兩側山頂に半永久的な堅固な陣地を築城して意滿氣勢を擧げてゐた不逞の親玉である

今曉三時勇躍進擊す

强行軍で前進の服部部隊

【大李家屯二十六日發】二十六日午前八時半先遣隊と同時に綏中を出發せる服部部隊主力は〇〇へ向け熱河街道を嶮地に强行軍を開始し、本夕六時先遣隊の露營地を距る三里の地點〇〇に到着宿營した服部部隊長以下北國の勇士意氣旺盛些の疲勞の色も見えない

【大李家屯二十六日發】熱河討伐の火蓋を切り、二十六日午前七時綏中を出發、自動車で縷々一里に亘る大縱列を作り、自動車行軍としては曾て無き難行路で突破せる服部部隊の先遣部隊米山部隊は、關東軍自動車隊櫻井大尉の指揮する軍用自動車で熱河省境を距る〇里の地點〇〇に接近せる沙帽山には天然の要害を利用して作られた第百十九師の孫德荃正規軍の頑强なる第一線陣地あり、本日夕刻より敵の打出す示威的砲聲が斷續して聞えつゝあり、彼我の正面衝突は目睫の間に迫つた、先遣隊將士一同は固唾を呑んで夜の明くるを待つてゐる

【大李家屯二十七日發】敵前眞近に迫りながら夜に入つた爲め已むなく前進停止し夜營した服部部隊主力は二十六日夜來敵陣地より擊ち出す殷々たる砲聲を聞きつゝ、胸を轟かせて居たが、午前三時全軍勇躍〇〇〇へ向け行動を開始した

北平の支那軍續々移動を開始す

山西軍も某方面へ

【北平二十六日發】北平に在つた步兵第百六師は既に長城方面に移動したが、殘つた主力は二十五日東へ向け移動を開始した、一方山西軍の第六團は張家口に到着、傅作義の步兵第一團は多倫から某方面に移動した

石河右岸の敵示威試射

【奉天電話】石河右岸の支那軍は陣地を益々堅固にし關外に向け盛んに大砲、機關銃の試射をなし、實地につく猛練習を爲してゐるが二十六日は午後二時より五時までの間に大砲五十發の試射を爲してゐるさ

軍費二千萬元

學良中央に要求

【奉天電話】二月中旬南京から四百萬元の支給を受けた學良は今回更に二千萬元を正式に要求したさ

北支那政權把握の機會を狙ふ馮玉祥

反蔣分子と結び暗躍

各方面の情報を綜合するに蔣介石がこの國難非常時に氣になるのは漸次南支の富源を蠶食する共産分子の擴大と反蔣分子の中堅を成す南方廣東派と北方馮玉祥一派の向背である、殊に容易に動くまいと察した段祺瑞が老の腹心であり安福派の智囊である王揖唐の勸誘により易々と南下した、それには政治分會委員である王揖唐の動誘は學良と王揖唐との間にそれまでに充分下相談が出來て居つた事は……

王は曩に老段南下の際隨行以下入京し、王氏のみ久しく滯京した頃からの計畫であると察せられる……「多數の南下は世人の疑惑を招き殊に自分が政治的野心あるの疑ひを招き易い」と遠慮したが、蔣、張、段を結合せんとする時局に相應しい芝居の作者の片棒を擔いだ王であるとすれば、この際王の南下は當然で、其動靜の如何は北支政局に面白き波紋となつて現れるやうに思ふ、安福派がこの非常時に賣國奴の汚名から拔け出すには絕好の機會である、同時に相當乾燥した案所に潤ひを與へることも好機會である、それには天津で念佛を唱へたり、打牌ばかりやつては居られぬ……

老段の南下によつて華北における第三勢力の一角は崩された呉佩孚は北平に軟禁されて、何うにもならず、七言絕句に鬱憤を紛らして居る有樣、舊部下たる于學忠等も今日の場合反中央で詰め腹を切る愚を學ぶ男でも無い、山西の閻錫山も河南、山東で失敗してからうつかり御輿に乘る程の哉で無く、特に事變以來の山西の窮乏はお話にならず、馮玉祥は綏遠の宋哲元の許に身を寄せた……

北方政權の動搖は必ず馮玉祥の躍進を促す事は必然の大勢である、彼の舊部下は山東の韓復榘を始めとし、宋哲文、孫殿英、龐炳勳、高桂滋、劉震と何れも現在華北軍事の重要な役割を擔當して居る、曩に山東戰爭において中央軍は韓復榘を窮地に陷さんとしたが果さず結局馮玉祥の泰山下りとなつた……

目下此等の舊部下……

先に學良が張……

經濟封鎖に實力對抗

わが海軍首腦部の態度

【東京二十七日發】海軍省では帝國の聯盟脫退によつて如何なる影響を被るかにつき首腦部で研究中であつたが、取敢ず起り得る諸問題中

一、委任統治問題

南洋群島の存在は海軍の太平洋作戰に最も重要性あり、その主權の所在につき種々の議論あれど、帝國海軍としては主權、我にありとの解釋の下に實力を以て防衞する覺悟だ

二、海軍々縮問題

今日脫退を理由に軍縮會議からも脫退すべしとの議論あれど、海軍はワシントン及びロンドン兩條約に束縛されてゐる關係上聯盟の軍縮事業に密接なる關係を保つ必要あり、引揚げしめず代表を駐在せしめ參加する模樣

三、經濟封鎖問題

聯盟が制裁規定を適用して、經濟封鎖の如き非人道的暴行等、我國に重壓を加へて來た時は飽迄實力を以て對抗すべく萬全の準備を整へてゐる

軍縮に積極協力せず

【ジュネーヴ廿六日發】聯盟に對し政治的非協力に決定した日本が軍縮に對する態度は注目されてゐるが、我代表部は積極的には協力せざる方針で進むに殆ど決定し、政府の訓令到着を待ち堀田公使を殘し松平、長岡、建川、永野四全權は引揚げる模樣である

茂木部隊下洼入城

興隆地から破竹の進擊

【通遼二十七日發】飛行機からの偵察によると茂木部隊は昨日正午興隆地を占領し破竹の進擊をなして午後四時三十分下洼に堂々入城した

寒天下沙漠を雪を嚙んで進軍

意氣旺なる茂木部隊

【開魯二十六日發】一路〇〇へ內蒙古の沙漠地帶突破の壯途にある茂木部隊は開魯出發以來既に二三日言語に絕する難行軍を續けてゐるが、酷寒の沙漠に寒……前進する將士、晝は……を急追し、夜は天幕に……を結んでゐるが、幸ひ白雪は氷結して砂塵上……は雪を嚙んで渴を醫し……てゐる、若し之れが過……解けて居れば非常な危……かも知れない

下洼の敵匪赤峰方面に退却

……を以て敗敵を興隆方面に追擊せしめた

谷枝隊進擊

【大李家屯二十六日發】〇〇〇麾下の谷枝隊は本朝八時服部部隊と行動を共にし、主力の右翼線に沿ひ鄉村林匪軍を掃蕩しつゝ〇〇へ向つて進擊しつゝあり

千餘の徒步敵を爆擊

【奉天電話】我飛行機は朝陽より東方鳳凰山並に探家灣を退却中の敵兵馬隊及び騎隊より西南方飲馬池營子を通過中の千餘の徒步敵を……

茂木部隊夜襲

李海青匪潰走

【新京電話】茂木部隊は開魯から南進の途中……する兵匪約八百がクル……に宿營してゐるのを偵……を試みたるに敵は一溜……體二十と多數の兵器を……に潰走した、茂木部隊……

米の對日抗爭は馬鹿らしい事だ

聯盟は支那の手に乘つた

パリで松岡代表語る

【パリ二十六日發】……

米の態度と聯盟筋觀測

【ジューネヴ二十六日發】聯盟筋では米國務長官スチムソン氏よりの對聯盟回答は報告書に對し賛意を表したるも、熱意を缺いてゐたり豫期せし內容には遠いものとしてゐるが當地アメリカ筋ではスチムソン氏の回答が斯くの如く見えるはス氏の所謂摩法主義の精神に基く結果に外ならぬといつてゐるなほ所謂札附の聯盟主義者等は聯盟が直に報告書の結論實行に移り……

北平軍事分會移轉準備

【奉天電話】北平の軍事委員會分會は日本軍の飛行機を恐れ西山に事務所を移轉する準備中である……は大沽河、塘沽海岸の防禦に任じてゐる

滿洲國軍の行動果敢にして攻勢

各方面とも着々奏功

澤田局長等廿六日奉府出發

承德、凌源大混亂

住民續々避難準備中

伊藤審査役

伊藤武雄氏は今秋の太平洋……に關する資料蒐集のため二十……日連丸で上海に向つた、……上海、青島、北津……週間の……る筈

香港丸

二十八日……二十分大連港外着……

人事

▲野村廉治郎氏（大連中央……小包郵便課長）今回吉……局長より轉任したるに……ため二十七日市內各方……
▲平川高市氏（關東廳警務……官練習所教官兼警務局……
▲泊武治氏（大阪府內務……務）新任挨拶のため廿……七日午前「はさ」にて……
▲關鐸氏（四洮鐵路代表……
▲石本憲治氏（滿鐵總務……七日午前八時着列車に……
▲中西敏憲氏（滿鐵地方……洲醫大評議員會出席の……
▲市川健吉氏（滿鐵經理……四日夜赴奉
▲千種峰藏氏（滿鐵衞生……上
▲有賀庫吉氏（滿鐵學務……上
▲粟屋秀夫氏（滿鐵審査……

米國旅順市長兼業許可

蛇角

今朱會有のデッカイ三下……松岡全權の胸の透く……帝國政府の陳述書公表……

東天紅 (7)

田中純作　林一三畫

女友 (一)

國難日本刀（256）

高桑義生作
京極佳夕畫

曙の勇士（十二）

それから數日の後。

むらさき色の曙だつた。

空はほの〴〵と明めて行つた。

そして疊のやうに靜かな海である品川の棧橋に、見なれぬ型の帆前船が横着けになつてゐた。新式の帆船で、蒸汽機關をそなへてゐるものだつた。漢字で朱書きの曙丸といふ文字が、あざやかに浪に浮んでゐる。

甲板では、若い、元氣な水夫たちが、出船の支度にいそがしい。

彼等を指圖してゐる者は、ひさり異風の洋服姿だつたが、それはだてんの瑠吉である。

出帆準備はとゝのつた。瑠吉は朝の微風に胸を張つて、陸をながめてゐる。と、船尾の方から、支那服の男が、彼の傍に歩み寄つた

「船長、なか〳〵うまいですれ」

「おゝ、楊大人か。ひやかしちやいけれえ」

支那服は楊夏生だつた。にわか

（佳夕作）

山立の船長瑠吉は、さすがに嬉しさうに、ほがらかな笑顔を見合したが、

「ほんさううまいです。本職です」

「さうかれ。船乘になるのは、初めてだが、おいらは海で育つたからゐ、見やう見眞似でやるだけの事さ。日本人は、海國男兒といふくらゐ、誰でもやるのだよ」

「さよですか」

瑠吉は再び陸上に視線をかへして、

「おゝ、お出でなすつた」

「…………」

「お出迎へをしなくちやなられえ」

瑠吉は船員一同を甲板に呼びあつめた。

二十人ばかりの一團が、棧橋に歸つて來た。先頭に肩をならべた二人は、勝安房守と上月弓之助である。親友のやうに親く語り合つてゐた。

中濱萬次郎もゐた。

それからお千とお加代が、仲のよい姉妹のやうに並んでゐる。目のさめるやうに美しい姿で。

その人々が棧橋に立つた時、瑠吉は船員一同と共に、敬禮をした。勝と、弓之助がそれに答へた。

瑠吉はそれからは例の[illegible]のやうに船から降つて、弓之助の傍に駈寄つた。

「先生ツ、いゝあんばいですれ」

「おゝ船長、御苦勞でしたれ」

「困るなあ、先生までそんな事をいつちやあ……瑠吉、瑠公さ呼んで下さい」

頭をかくのを、勝と弓之助は笑ましげに見て、

「どうして君は立派な船長だよ」

と勝がいふ。そして弓之助に

「では、大事に行つてくれたまへ」

「わざ〳〵のお見送り、有難うございます」

と弓之助は鄭重に禮を述べた。

中濱萬次郎にも、勝の家來にも、そのほか見送の一同に——。

きりゝとした旅支度のお加代はお千と別れを惜んで、それから安房守そのほかに挨拶をした。

「日和はよし、近來にない愉快な朝ぢや。お二人とも、御機嫌よう君たちの歸りを、安房は千秋の思ひで待つて居る」

と勝は、右手をさしのべた。弓之助はかたくその手を握つた。

弓之助とお加代は並んだ。朝日がお加代の頰をほの〴〵と染めてゐる。

小笠原島へ——。勝の手によつて結ばれた二人が晴れの鹿島立ちだつた。新婚の旅だつた。その船長役の瑠吉は、いつの間にかお千の側に行つて、同船をすゝめてゐる。お千は首を振つてゐた。

「さうですか。あなたのお心持はわかります。では、同志の方々にくれ〴〵もよろしく……」

「御機嫌よう」

たがひに別れがすんで、弓之助とお加代は、瑠吉の先導で、乘船した。

機關のひゞきがはげしくなつて船は靜かに動き出した。

瑠吉は帽子を振つた。

弓之助とお加代は、幾度も頭をさげた。

お千はじツと淚を嚙みしめて、二人の幸福を祈るのだつた。

小笠原島開拓にむかつた曙丸は洋々たる海に浮んだ（完）

大劇の千鳥會

萬歳と踊りの千鳥會は二十七日から大連劇場に開演するが、主なる番組は左の如くである

萬歳小玉幸三、松鶴家千惠子、千鳥家力男、立花家政子、秋山秋月、河内家秀春▲舞踊松の名所雪子▲漫談三遊亭圓瓢▲曲技花川秋彌▲舞踊唐津小唄桃太郎甚句米枝▲新曲萬歳小玉慶三、松鶴家八千代▲女道樂笑の家歌女▲萬歳千鳥家力丸、さんぼ

巨彈連發の 日活館 三月の豪奢陣

春の映畫シーズンを迎へた日活では正月番組の成功に鑑み三月再び特作品を連續上映して特別興行大會を催すこと〻なり三月一日を期しバンクロフトの傑作品「歡呼の涯」を第一陣として左の如く番組を決定發表した

▲第一週　パラマウント特作品バンクロフト主演「歡呼の涯」日活時代劇特作品大河内傳次郎主演「煩惱秘文書」後篇▲第二週　日活現代劇特作品主婦の友連載吉屋信子原作夏川靜江主演「彼女の道」▲第三週　メトロ映畫特作品バリモア兄弟主演「アルセーヌ・ルパン」日活千惠藏映畫「刺青奇偶」▲第四週　パラマウント超特作品スタンバーク監督デイトリッヒ主演「ブロンド・ヴイナス」▲第五週　パラマウント超特作品マムウリアン監督シユバリエ主演「今晩愛して頂戴な」

うわさ話

默々として端正な風格を以て解説界に異彩を放つてゐる日活館の峰一郎クン▲正月の「街の野獸」頃から油が乘り出しルビッチの洒落た「極樂特急」を見事にこなして俄然高級フアンの注目を集め出した▲時恰も再び日活館が洋畫の巨彈を續映する好機に直面し好漢自重勵せよとの聲が高い▲映畫館の「制服の處女」は邦紙大連新聞社の支持を得てグリーンヒットを飛ばし廿八日まで日延べ

本社特選 新棋戰（其八）

角落　八段△土居市太郎
四段▲志澤春吉

【圖は四七歩成迄の局面】　土居氏持駒歩歩歩

△六六銀　▲同角
△同金　▲五七銀
△五六金　▲八六歩
△三三歩　▲同桂
△八五桂　▲同銀
△四三金　▲同金

【土居八段講評】志澤君が同角と犧牲にしたのは指し過ぎ、未だ自陣は安全なれば穩かに五六歩と打ち敵若し同金なら四六との意味に指す方が優る、上手三三歩打は攻撃手段を誤つてゐる、一旦六一角と打つ方が面白い。

【萩原六段解説】志澤氏の六六同角と切つたのは早計である評の如く五六歩と打つて同金、四六と、で優勢であつた、土居八段の五六金は六七金では六六歩と打たれて惡いのである、志澤氏の八六歩は敵玉を狹める意味である、土居八段の八五桂は自玉を廣くする意味である、次に四四桂と敵玉に迫る意味で八五桂と取つたのである。

社説

日本政府の陳述書

國際聯盟は精神を喪ふ

我政府は、國際聯盟に、勧告報告書に服する能はざる理由を陳べたる陳述書を交附した。右は規約第十五條第五項に據るものである。我政府は始めから規約第十五條の適用を違法と解釋したるが故に、その決議には常に表決權を行使しなかつた。併しながら日支問題が愈々押し詰められて、最後の場合となり、日本は脱退の餘儀なき情勢となつたから、ウヤムヤの間に脱退するを事態面白からずと爲し、前意を翻して十五條適用を認めたのである。二十四日の決議に表決權を行使したのは、是れ我國が第十五條に關する權利行使の最初である。而して此の陳述書は第十五條第五項に據るもので、同條に關する權利行使の第二にして、同時に恐らく最後のものとなるであらう。

◇

陳述書の要旨は公表された。全文は恐らく、帝國の理想と態度とを詳述して餘蘊なきものと評はれる。二十四日の議場に於ける松岡代表の演説が可なり詳しく傳へられてゐるが、此の演説と陳述書とは相表裏するもので、兩者を併せて、帝國意見の概觀を知悉し得るものである。

◇

陳述書は四部に分れ、第一部に日本が國際に協力した事實、第二部には報告書の謬點、第三部には勧告の實行不能なる事、第四部には結論を陳べてある。何れの論點も、我國朝野の曾て屢々論及して聯盟の蒙を啓かんと試みた所で、敢て珍らしきものではない。只最後の陳述として綜合的に結語を組織したのである。

◇

思ふに日本は聯盟の抑もの成立一九一九年以來、十四年間に亙りて、常任理事國として忠實に其の發達に貢獻し來つた。日支問題起るに當りては、聯盟側の無理解なる態度の中に包圍されながら、極めて穩當な態度を持續して圓滿なる解決法を求めんと努力した。日本の此の努力中には、あらゆる機會に於て、東洋の實情を知らしめ、此の實情に應ぜん爲めには規約其他の條約も相當の伸縮性を有しなくてはならぬ事、滿洲國獨立それ自身が日支問題解決の第一の鍵である事（第一が先づ決して第二、第三に及ぶべし）日本はそれを確信する事、それを確實ならしむるにあらざれば東洋の永久の和平は維持出來ない事等、以上の諸點を、理論により實情を示して、彼等の蒙を啓かんとしたのであつた。あらゆる努力に拘らず、遂に彼等は日本の誠意を酌まず、意見を顧みず、專ら我執偏見によつて行動した。事此處に至りては、日本の協力努力も最後に達したと云はねばならぬ。

◇

聯盟が曾て、米國を理事會にオヴザーヴアーとして招請せるが如き、規約第十五條の適用の如き、今度の交渉委員會に米露を招請せんとするが如き、聯盟國非聯盟國を驅れて、滿洲國の獨立を妨害せんとするが如き、日滿議定書は規約第二十一條の地方的諒解たるべき性質なるに拘らず、聯盟が之れを認めずして規約違反と爲すが如き、何れも規約の法理解釋上幾多の疑問あり。日本は理事國として其の疑問を提起するも多數は之れに一顧を與へず。しかも法理上の疑問あるを是認しながら、その解決を後にして、ひたすら多數によりて會議を進行せしめた。斯くの如きは法理と徳義とを生命とする國際的平和機關を驕りて、普通の政策的乃至軍事的國家聯盟たる爭鬪機關と化せしむるものである。

◇

殊に結論として、滿洲を事實上の國際共管たらしめんとする如きは、聯盟其れ自身に於て、九國條約の違反を自論むものである。日本は滿洲人の自決獨立を認むるのであるから九國條約と矛盾しないが、聯盟は、之れを認めずして滿洲を支那の領土と爲すのである。しかも此處に列國共管を行はんとする。九國條約違反にあらずして何ぞや。名義上の主權を支那に與ふる如きは耳を掩ひて鈴を盗むものである。

◇

我陳述書には、以上の諸點に論及した處もあり、又それ程まで追究しない處もあるやうだが、明記なき點でも、その精神を鋤ればすべて上述の結論に達するものである。國際聯盟が、東洋問題に容喙する資格を缺くは既に吾人の論及した所だが、國際聯盟夫れ自身の精神に背反する事斯くの如しとせば、是れ聯盟の腐敗である。一旦斯くの如く墮落した以上は、歐洲問題だけに關しても、聯盟は最早平和機關たる價値を喪失したものである。恐らく其解消近きにあらん。日本は最早留まる必要は萬々無い。陳述書が絶縁狀だと見らるゝのも蓋し故なしとしないのである。

滿洲國の法權撤廢 最早時の問題

司法制度の改革が最も緊要

馮司法部總長語る

【奉天電話】治外法權撤廢に關する重要用務を帶びて渡日した滿洲國司法部總長馮涵清氏は二十六日午後一時安奉線で歸來し語る

既に新聞でも度々發表された如く滿洲國内における治外法權の撤廢は既に日本當局の諒解を得たので、その實現はたゞ時期の問題である、それも遠い將來ではないが、當面の問題として戸籍、國籍の確立が主要となつて居る、各理事官を通じて目下戸口の調査を急いでゐるから遠からず完成を見ることが出來るであらう、又これと同時に裁判制度の改革や、行政制度の刷新が緊要とされてゐるので、可及的にその促進を圖らねばならない裁判機關構成の充實を圖るため日本より法官を招聘して指導を仰ぐことになつたから、近く日本の當局において人選の上赴任して來ることゝ思ふ、今回の渡日を機會に東京を中心とする司法機關を視察したが、流石日本の司法制度及び機關の完備には一驚するものがあつた、殊に日本の警察制度の實際は我々が想像し得ない程完備せるもので、滿洲國並びに隣邦支那の現狀に照し全く隔世の感がある、今回の渡日は余にとつて思はぬ收穫があつた、新京に歸任の上改めて余の意見を發表したいと思ふ

尚馮總長は同日午後三時のはとで新京へ向つた【寫眞は馮總長】

學良の逆産で貧民の救濟

取敢ず二十萬圓支出

【新京電話】滿洲國政府は來る三月一日の建國記念日を期し奉天吉林黑龍江の官廳及びハルビン特別區市に對し張學良逆産より合計二十萬圓の金額を支出し貧民救濟の資金に充てる計畫を進めつゝある由

護照規則

近く發布さる

【新京電話】日支條約に基いて法制局及び外交部民政部において審議中であつた外國旅券及び外國人旅券査證及び護照規則はこの程漸く法制局の手を離れ各部に移つたので各地の施行機關の整備を俟つて近日中に各部令をもつて公布を見る事となつた、尚これと同時に外國人入國取締規則も民政部令をもつて同樣發布を見る筈である

國務院會議

【新京電話】第八次國務院會議は二十七日午後二時より各部總長、宇佐美顧問以下出席左の議案を審議午後五時散會した

一、財政審議會官制案
一、滿洲經濟問題に關する件
一、人事任命案
一、參謀記章圖案の件
一、建國功勞章の件

財政審議委員會設置

委員長には國務總理

【新京電話】國務總理監理に屬し財政計畫、租税制度、會計制度その他財政金融に關する重要事項を審議する財政審議委員會官制は二十七日國務院會議を通過したが委員長には國務總理、副委員長には財政部總長及び次長、總務廳長、法制局長である

航行妨害に滿洲國政府抗議

外交部ソ總領事訪問

【新京電話】解氷期の近づくと共に松花江、アムール河の航行問題が滿露兩國間に起つてくる事は明かであるため滿洲國政府當局ではその準備調査中であるが最近松花江と黑龍江との合流點にロシヤ側が棒杭をもつて堰を作り河流の關係で自然に松花江から黑龍江へ通ずる河床を淺くし航行を不可能ならしめんとする計畫が判明したのでハルビン外交部代表は二十六日ソウエート總領事を訪問してこれが撤廢方につき抗議をなし政府へ傳達方を申込んだ

社員會の幹事長

近く伊藤氏承諾せん

滿鐵社員會の次期幹事長は既報のごとく伊藤審査役が絶對多數で選擧されたが絶對に引受けぬことを早くより表明してゐたので果して引受くるや否や疑問視されてゐたしかるに若し同氏が引受けざる時は社員會は危機に瀕することは明瞭なので、新舊幹事揃つて同氏に就任を希望し、殊に粟屋常任幹事より切に就任方を要請したので伊藤氏も意大いに動いたものゝ如く支部視察より歸連後正式に承諾するものと見られてゐる、たゞ同氏が就任を躊躇してゐる最大の原因は今後の社員會が從來のごとき結束をもつて發展し得るやにあるので部幹事長、粟屋常任幹事らが極力補佐することを約束してゐるものゝごとく、これが方法として從來單に成文のみありて一度も實施されたことのない社員會規約二十二條の「幹事會の推薦したる顧問若干名を置くことを得」の規定によつて曾て幹事長たりし石川鐵雄市川健吉の兩氏および郡現幹事長を新に顧問に推薦し、粟屋現常任幹事は役員として部長の地位につき伊藤氏を助くることゝなるものと豫想されてゐる

中央陸軍訓練所 第一回卒業式

優等生に軍刀を下賜

【奉天電話】中央陸軍訓練所經理部にては二十六日午前十時から第一回卒業式を擧行したが鄭儀執政代理として侍從武官金卓中將の臨席あり卒業生は軍政部、靖安遊擊隊、各警備司令部派遣の三十名で優等生は靖安遊擊隊高島義雄、軍政部滿洲人魏永家で執政より軍刀一口を下賜された、高島氏は帝大法科卒業、魏氏は旅順第二中の出身である

因に中央陸軍訓練所は滿洲國最初の陸軍將校教育機關で日本の步、騎、砲兵學校と經理學校を合併した性質のものである、步、騎、砲の各訓練部經理養成部教導隊に分れ教官には日滿人を充て舊軍閥時代の軍隊は指揮官の私經濟の狀態であつたが軍隊の改革は軍隊經理の改善といふ見地から昨年九月一日開校し軍需學生（將校）（候補生）一般より募集するもの二種で六ケ月教育を施し滿洲國軍隊に在職のものより選拔せしめ候補生は中學卒業程度の日滿人を試驗の上採用し六ケ月教育を受け三等軍需として任官する制度である

四月から實施する新ダイヤ近く發表

釜山、奉天間時間短縮

【京城特電二十七日發】滿洲國の治安確保と共に日滿間の往來益々頻繁となり昨年以來日鮮滿の鐵道當局にあつては列車スピードアップにつき數回協議を重ねてゐたが愈々來る四月一日より實施を見ることゝなつたが、朝鮮鐵道局にあつても半歲に亘つて新ダイヤの協議或は釜山安東間の試運轉を行ひたる結果安全を期することのでこの程最後的決定を見公表することゝなつたが釜山間列車時間の大改正新ダイヤは列車スピードアップに伴ひ主要旅客列車の京城驛發着時刻（奉天行）は左の如く内定してゐる

下り
第一列車（釜山奉天）京城 午前六時四十五 同 七時[illegible]
第三列車急行（釜山奉天）京城 午前八時二十五 同 八時四十[illegible]
第五列車（釜山奉天）京城 午後八時五十五 同 九時[illegible]
上り
第六列車（奉天釜山）京城 午前八時五十五 同 九時[illegible]
第八列車特急（京城釜山）京城 午後零時四十分
第四列車急行（奉天釜山）京城 午後九時二十五 同 九時四十[illegible]
第二列車（奉天釜山）京城 午後十時三十分 同 十一時三十分

院議決定人事

【新京電話】二十七日の國務院會議で決定した人事左の如し

民政事務官 黄富復　民政部理事官
張明溥　民政部地方司長
民政部警務官
民政部衛生司長

故宮寶物賣却に平津商民の憤慨

蔣、張に對する反感を激成

北平特派員 風間阜

◆…南京政府は北平紫禁城中にある故宮博物院の目ぼしいものを既に數千箱に裝填して南京、上海に運搬した、その名目は日本の侵略云々に名を藉り一時南京に保管するといふのであるが、事實は之を抵當としてアメリカから借款するのである、その額は八千萬元と傳へられてゐる、この故宮に藏する寶物は五萬餘點六億乃至八億と見積られる。

◆…この寶物搬出は華北の一般商民にたいして非常な衝動を與へ同時に内心蔣、張に對する反感は激成されてゐる、特に北平の商民や天津の民衆は一層その處置に對し憤慨して居る、それは華北の繁榮を奪取して商民を困憊せしめるものだと怨んで居る、實際南京の都に遷でその繁榮を奪はれ、今また故宮の寶物を持ち去られた後の北平は、更に衰微するは必然である、財的に窮乏し國事多難の支那である、此の先き紫禁城をアメリカに賣るかも知れず、萬壽山をロスアンゼルスに寄附するかも知れない、それは數百年の歷史ある北平を荒野と化せしむることである故、口には出さぬが中央を憎むと共に學良の得手勝手に極度に反感を抱いてゐる。

◆…天津における商民も思慮ある連中は極度に憤慨し、華北の紛擾は結局蔣介石の南京政府と優柔不斷な學良の仕業であると、對日關係などは問題外として、直接の利害に目玉を光らして居る、現在華北の商民の念頭には日支の問題より自己の死活存亡の問題の方が重大に扱はれゐる事は見逃せない事實である。

◆…爲めに時局緊張以來支那官憲が嚴密に手配してゐる間においても次の如き傳單が白晝公然撒布されることは、眞の商民の心理を端的に表現したものと見られる。

一、張學良の喰物である河北銀行と邊業銀行は又も二月上旬五十萬元の新紙幣を市場に發行した、この不換紙幣で吾々の現洋を掠奪する考へである、諸君は速に銀行について兌換しろ

二、古物を南京に持去る列車を護衛する軍警諸君、君達の武器は抗日のため日本と戰ふに用ひず古物を盗む張賊の手助けをするとは何事である、君等に中止を勧告する若し聽かれば君達自身と一家に必ず危害が及ぶぞ

三、再び北平の市民に告ぐ、學良が古物をアメリカに賣つた事を承知して居るか、南京や上海が安全だといふのは彼等の皮である、いざ戰爭となれば古物は既にアメリカに賣られて武器彈藥に換るならまだしも、勝手に懷中に捻ち込まれるのだ、反對のために起て、北平の繁華のため起て學良は皆を死地に陷しいれても自分達の榮華を忘れぬ男である

【寫眞は北海から見た宮城全部ここに寶物が藏される】

八面相

五十行以内　匿名はさしつかへなし　投書歡迎

五十錢の夜警費

桃源臺 一主婦

◇他の町の町内會の會費やその處理法については私は全く知らないのですが桃源臺の夜警のために毎月取られる金五十錢也は少し高過ぎはしないでせうか。

◇昔と違つて居住人も非常に增加してゐるし且つ最近電車道に近い方は夜廻りの必要などは一向なささうです。

◇相當の町内會費は當然出したいと思ひますが集まつた金の使用先が如何になつて居ますか、なほ夜警の必要の有無に對しても會計の方の御返事をお伺ひしたいものです。

街道の擴聲器

◎○町 一商店

◇私の近所に蓄音器屋があります宣傳の爲め擴聲器を街道に向つて發聲して居ります、初めはそれ程に感じなかつたが、毎日朝から晩まで聞かされては神經衰弱になりさうで近所は大不平であります。

◇これから店の戸を開く季節となりますが、あの高聲では電話も聞けないし、お客との對話も出來ません。

◇先方も商賣ですから、使用するなとはいへませんが程度を越えた騷音で他の營業妨害となる以上何とか取締法はありませんか交番に申出た事はありますが御取り上げがありませぬ、警察當局の御判定を仰ぎます。

お答へ

さういふ公衆の迷惑または近所近邊の迷惑になるやうなことは出來るだけ取締つて居ます。御質問の蓄音器については具體的の實狀が判りませんから何ともお答へのしやうはありませんがさういふ事實があるならモット具體的に警察署に御知らせを願ひます、その上取締るべきものであればドシドシ取締もするし注意もいたします（大連署廣石保安主任）

滿蒙輸出組合創立總會

【東京二十七日發】東京滿蒙輸出組合創立總會は二十七日午後一時より丸の内商工獎勵館で開催東園委員長その他百餘名出席の上定款事業計畫豫算等を審議決定理事長には東園子常任理事には倉橋治郎氏が選任せられ懸案の滿蒙輸出組合は愈々成立を見た同組合の事業計畫は左の如くである

一、組合員の商品の買收輸出、委託輸出及び輸出斡旋
二、組合員の商品保管、選別、荷造り、包裝及び其の檢査
三、組合員の輸出手續き、發送受渡しの代辨
四、組合員の營業上の弊害矯正のため必要な取締り又は組合員の事業共營に對する制限
五、見本市の開催その他商品紹介
六、組合員の商品の改良
七、販路の開拓及び擴張
八、輸出市場に於ける商品の自給貿易信用其他一般經濟事情に對する調査
九、組合員に對する金融
十、その他組合員の共同利益增進に必要なる施設

アジア第一國道會

營口方面で設立運動進む

【營口二十七日發】「亞細亞は亞細亞民族の手で」とのスローガンを掲げて亞細亞民族を起し大亞細亞民族の融和を目的とする國道會の設立運動は石川才治、井上憶吾の兩氏に依りて進められ各方面に對して日滿鮮人を問はず會員の募集をしつゝあるが營口方面に於てもこれが趣旨目的に贊成して同會に加入する者多く日滿鮮人を通じ早くも數名に達した

國同代議士會

【東京二十七日發】國民同盟は二十六日午後四時より本部に代議士會を開き綱紀粛正、明糖處分問題に就き安達總裁より激勵演說あり協議の結果

我黨は多數を頼み少數黨の言論を壓迫する傾向ある政民兩黨に對し飽迄合法手段に依り抗爭せねばならぬ

といふに意見一致し最後に鷲澤代議士より聯盟に於る日支紛爭問題内情につき種々報告あり五時散會

關東廳辭令（二十七日）

任關東廳理事官　關東廳屬　水野豐
敍高等官七等　關東廳理事官　水野豐
七級俸下賜　關東廳理事官　水野豐
關東廳內務局地方課勤務を命ず　關東廳理事官　水野豐
敍從七位

官公衙休み

來る三月一日は滿洲新國家の建國一周年になるので大連民政署、地方法院、遞信局、警察署、その他官衙、市役所、滿鐵會社は祝意を表すため自由退廳、銀行會社は同樣休業すると

人事

▲郡新一郎氏（滿鐵社員）廿七日午後「はと」にて歸連
▲武田胤雄氏（滿鐵營口地方事務所長）同上來連
▲堀内干城氏（上海公使館書記官）二十七日夜出發北行

市況（廿七日）

株式

東新變らず 當市弱保合

東新後場保合を傳へたが當市は五品二十錢安、新豆三十錢安、滿鐵四十錢安と弱保合に止めた

特産

人氣引立たず 無味閑散

後場の定期は大豆は買方の見送りに區々保合を入れ豆粕は添はず閑散區々保合を辿つた

◇定期後場（銀建）

▲大豆（區々保合）單位庫

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十車

錢鈔

一般氣迷ひ 鈔票弱保合

後場の鈔票は一般に氣迷ひの姿にあり七錢安と弱保合を呈した

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近二百十六萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金四萬七千圓 銀對洋三千圓

商品

綿糸休會 麻袋保合

大阪三品後場休會に當市も立たず麻袋は閑散保合ふ

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	七月限	三四七	一〇

出來高 一萬枚

奧地市況

市場・銘柄	期	前場	後場
▲奉天國幣對金	現物	[illegible]	五九、五〇
▲奉天國幣	當限	一〇一、二〇	一〇一、三〇
▲開原國幣對金	現物	九八、七五	九八、七〇
▲新京國幣對金	現物	一〇一、一〇	一〇一、二〇
▲哈爾濱國幣對金	現物	一〇四、九〇	一〇四、九〇
▲安東鎮平銀	當限	一、四二七	一、四三二
▲公主嶺現物	當限	一、四三三	一、四三八
鈔票		[illegible]	六二、〇〇
國幣		[illegible]	五八、五〇
▲哈爾濱大豆 三月		七二〇〇	七三〇〇
四月		七二七五	七二七五

市場電報

神戸特産

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

橫濱生糸

妻タツエ儀急性肺炎にて昨夕死去致候間御通知に代へ此段謹告候也
追て葬儀は途中葬列を廢し本二十八日午後四時常安寺に於て執行可致候
夫 小柳清治
親族總代 萩原昌彦
友人 秋山卯八
總代 辻慶太郎 澤田捨三

父宮城豐彦儀本月二十六日正午急病にて死去致候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追て葬儀は來る三月一日午後正四時途中行列を廢し明照寺に於て相營み遺志に據り供花放鳥弔問等御斷申上候
昭和八年二月二十七日
嗣子 高篤衛
親族總代 高林茲旨
友人總代 濱橋良忠
竹 松島昇造

家庭

桃のお節句料理
愛しいお孃ちゃんの爲に

桃の節句が近づいた、今年は東洋流にいふと酉年で、雛さは最も緣故が深いといふのは、雛祭の雛は「鶏のひな」のやうに可愛らしい」との語源から來てゐるといふのです、また西洋流にいつても今年は一九三三年で雛祭の三月三日に相通ずるとの事で、日本でも西洋でもまさに雛の當り歳といふわけです、それに世はインフレ景氣だと來るので今年は特に盛大な雛祭が全國的に、否全世界的に祝はれやうとしてゐます、で今日はお雛祭にふさはしい美味しいお節句のお獻立をお傳へしますから可愛い孃ちゃんの節句に揃へてテーブルを賑はして下さい

一、椀（福包みかぶら　早松茸　結竹の子、木の芽）
二、鉢（鯑白酒燒　あんず甘煮）
三、中皿（榮螺壽司）
四、皿物（菱餅、玉子）
五、口取（糸掛青豆有平糖　手毬眞蒸　源氏蛤）

椀　材料＝天王寺かぶら一個、松茸三本、筍一本、木の芽少々、玉子十五、鹽少々、鰹煮出汁、醬油

筍は茹でたら大きいところを桂むきにしておき、松茸は縱一分位の厚さに切り、一度茹でゝ後下煮をする、次に福包みかぶらは上等の天王寺かぶらを求め三寸位の大きさに皮を剝き菊の花瓣形に薄く切り少々鹽を撒き水洗ひして玉子を包み干瓢で括り、それに煮出汁一合、鹽小匙一杯加へて下煮をします、玉子は煮出汁五勺と砂糖小匙一杯と醬油一勺を入れよくかきまぜてなたれ玉子の樣に煮て用ゐます、鰹節の煮出汁五合に鹽小匙一杯、醬油少々であつさりと清し汁を拵へ、椀に福包みかぶら、松茸、結び筍を入れて清し汁を注ぎ、木の芽一ひらを入れて供します

鉢　材料＝鯑六切、杏十五、白酒五勺、味淋一合、砂糖

鯑を適宜に切り、少量の鹽を撒き一時間位經つて鹽を洗ひ落し、味淋に半日位浸けて後金串に刺し半ば燒けた頃白酒を塗り、さつと炙り、串を拔き、杏二個を盛り合はせます、杏甘煮は干杏を三十分位蒸籠で蒸し、水と砂糖でとろ〳〵になるまでとろ火で煮ます、食料紅を少量使用しますと鮮かな色になります

中皿　材料＝サヾエ大二、殼四、米五合、青豆少々、紅生姜、筍、椎茸、煮物に烏賊、海苔、鯑の殘、車海老三尾、酢一合、蓮根半本

サヾエを三、四十分間茹でて水に取り、肉を薄く切り酢に浸け殼の中は綺麗に掃除しておきます、烏賊は短冊烏賊と同樣にして鹽を撒き暫く經つて水洗ひし縱口端から卷いたまゝ金串に刺し炭火で燒き上げ、小口から薄く切つておきます、筍、椎茸は煮物の殘りを用ゐます、外に鯑、玉子その他殘りの物を細に切ります、蓮根は小口から薄く切り水に酢を加へた中に入れて洗ひ、暫くして酢少々を加へた熱湯でざつと茹でて更に酢三勺、鹽小匙一杯を加へ攪き混ぜながらつけます、海老は茹でて皮をとりざつと酢に浸して斜に切ります

次に米五合に水五合を入れ煮出汁を適宜に切つたのを入れて煮上つたところ昆布をとり出し蒸れたら酢五勺、砂糖二杯、鹽一杯（何れも大匙）を入れて攪き混ぜ、充分冷まして蓮根、筍、椎茸、青豆、榮螺の一部を混ぜて殼に盛り、その上に切つた烏賊、もみ海苔をのせてお皿に盛り、紅生姜を綺に切り、桃の葉をあしらつて供します

皿物　材料＝玉子十五、人參一本、赤唐辛子三本、グリーンピース三分の一罐、砂糖少々、酢五勺、鹽少々

玉子を茹で皮を剝いで黄と白を別々に裏漉にかけグリーンピースも裏漉にかけておきます白身に砂糖大匙二杯と鹽少々を混ぜ布巾に包み、固く搾つておき、黄身の方は砂糖大匙一杯を混ぜます、白身は二分してその一方にグリーンピースの裏漉した物を加へ三色とします、次に濡布巾を固く搾り板の上に擴げ黄身を三分位の厚さに四角に固く平に押しつけて後白身、綠の順序で黄身の上に同樣に押しつけて、蒸籠で十五分間蒸して適宜の菱形に切ります

口取　材料＝青豆、寒天三本、玉子、蒲鉾用魚肉百五十匁、蛤大六、砂糖味淋煮出汁、鹽、紅粉、三色紙

▲青豆有平糖＝グリーンピース三分の一の罐を裏漉しにかけ次に水七合に寒天を入れて火にかけ溶けたら砂糖を大匙山盛十杯入れ、文火で二合位になるまで煮詰めて裏漉青豆を擂鉢で擂りながら前の寒天を徐々に加へ混ぜ流罐に流し、充分冷まして固めます

▲手毬眞蒸＝魚肉百五十匁ばかりを求め骨と皮を除いて叩き、鹽大匙一杯を加へて擂鉢で混ぜ、砂糖大匙山三杯、玉子白身五、片栗粉大匙山三杯、酒五勺を順次に擂り混ぜ裏漉にかけ、更に冷めた煮出汁二合五勺、醬油一勺半を擂り混ぜ、二分の一を源氏蛤に、殘りを熱湯の中に投げ入れ、浮き上つた時掬ひ上げ、冷水にとり充分冷します

▲源氏蛤＝大きい物を選び、熱湯に入れ、口が開いたら火から下ろし、殼を綺麗に洗ひ、肉は細く刻み、薄桃色にした魚の擂身に蛤を混ぜ、又前の殼に入れ蓋を合せて蒸籠で二十分程蒸し冷したら黄の三色紙をお皿の大小に從つて適宜短册の形に切つてお皿の中央に扇子を擴げたやうに交互に重ね蛤をその上におきます、盛方は皿の向に青豆有平糖その右前に手毬眞蒸を盛ります（牡丹調べ）

豆煎りの拵へ方
變つたおこし

お白酒や菱餅と並んでお雛祭りになくてならない豆煎りの拵へ方を申上げませう、材料は糯米、砂糖、黑豆、生姜です・先づ糯米を一晩かして翌朝笊に揚げておき晝頃すつかり水の切れたのを見計らつてほうろくか鐵鍋に少しづゝ入れ中央でゆつくりとよく膨れるまで炒ります、色をつけるのでしたら炒つた糯米を半々に分けその一方に水溶きした食紅を少量加へ砂糖が同じ程度に紅くなるまでよく混ぜ合せてから着色しない糯米と混ぜます、紅白混じり合つて大變綺麗です、次に黑豆も糯米と同樣一晩かして水を切つたものを程よく炒り上げます。炒つた糯米と黑豆のあたゝかいうちは大丼に入れ砂糖と生姜の絞り汁少々を加へよく混ぜ合はせます、冷めるとポロ〳〵に固まつて見るからに美しくおいしい豆煎が出來上ります。この黑豆の代りに南京豆でも入れ、丼に入れて混ぜ合せる時に固飴を加へますればねばり氣が出ますからこれをお節句にふさはしい梅や扇の型に入れて打拔きますと冷えるに從つて固まりお雛樣用の香ばしい變つたおこしが出來ます

滿洲國熱河省（八）開魯城の古塔と觀音石佛

（上）開魯城内にある古塔、元代のものではなからうかといはれてゐる（下）林東縣にある遼時代の觀音石佛で高さ二十六尺もある大きなものです

お子さんを 幼稚園に送るお母樣方へ
これだけをお願ひ

お子さんを幼稚園にやらうといふ親御さんで、入園式までに間に合へばといつた考へで入園式當日に手續をとられる方もありますが子供にトラホームでもあれば他の多くの園兒に傳染する恐れがあるのでトラホーム患者の時は入園をお斷りしなければならない場合があり、折角喜んで來た子供さんを落膽させる事がありますから手續は早くして下さい、もしお子さんに眼の疾患でもあるようでしたら早く治療し、入園式までに治しておいて頂きたいものです

◇

子達には自分の名前は申し上げるまでもなくお父さんの名と町名だけはぜひ覺えさせておいて下さいでないと萬一家路を迷ふた時に困ります

◇

用便と靴の穿き、脫ぎが自分でできる樣に習慣づけて戴きたい、家を出る時は家人が手傳はれるから結構ですが幼稚園で多勢が一度に穿き脫ぎする時、勿論保姆は手傳ひますけれど兒童自身にとつても大へん不便です

◇

次は持物ですが、持物には必ずお名前を書いて下さい、名前のない落し物が多くてその始末にいつも困ります、殊にハンカチなどは每日何枚か落して歸ります、名前さへ書いてあればすぐ判明し、新らしいのを絶えず下ろす必要もないわけです

◇

幼稚園に入園しますとお辨當が要るので、お辨當箱を新しくお求めになりますがお辨當箱は圓形のものよりは四角のものが食べ易くお菜も澤山入りますから新しくお求めになるのでしたら四角の方をお選びになつた方がよいでせう、そしてこれにもお名前を忘れないやうに書いて下さい（大連伏見臺幼稚園後藤先生談）

お醬油の使ひ方

◇…どんな上等の醬油でも用ゐ方を誤ると鹽辛い味ばかり殘つてしまひ本當の風味が失はれてしまひます、元來醬油に最も大切なものは香氣や風味で辛味や甘味は左程問題でありません、ところがこの大切な香氣や風味はいづれも長時間高熱を與へますと揮發散してしまふのです、ですから煮物をする時には殆ど煮上つてから醬油を加へ、所謂醬油臭くない程度に於てなるべく短時間に煮上げる方が風味がよいわけです

お酢の保存法

◇…釀造酢は人工酢（醋酸を多量に用ゐたもの）より風味の點で遙かにすぐれてゐますが、腐り易いのと味の變り易いのが缺點です、面倒でも一度にあまり多量に買はぬこと、保存するには食卓鹽を一つまみ入れて瓶の栓をキツチリとしてなるべく冷たい場所に貯へれば相當永く持ちます、但し凍ると瓶が割れたりしますから其邊は御考慮下さい

たくあんの壓石

◇…たくあんは壓しが輕くなると不味くなつたりすつぱくなつたりしますから鬆くなつても相當の壓石は必要です、殊に段々鬆くなるとはじめの壓蓋では周圍に支へて重しが利かなくなりますから小さい壓蓋ととりかへる必要があります、樽の上側や隅の方の色の惡いところや葉つきの方の固い部分は細く刻んで生姜をまぜるか、青菜や大根の葉の漬たのと混ぜるか、或は鹽出しをして胡麻和へにすると美味しく頂けます。

ミツタンとポンコ　センソウノマキ

（29）橋本清史案並繪

シヤクダナ ミツタン オドロカスダケナラ イイデセウ

ドウスルンダイ

ボンコハ、セッカク、ミツケタノニ、イケナイトイハレテ、ザンネンガッテ、オドロカスダケナラ、イヽデセウトイヒマス。ドウスルツモリデセウ。

ボンコハバクダンヲ、オトシマシタ。ミツタンガ、オドロイテ、シカルト、ボンコハ、ワラヒナガラ「ナアニ、フネノソバヘ、オトシタノデス」

ボンコノネラヒハ、ミゴトニキマツテ、シヨウセンノ、スグマヘヘオチテ、オホキナミヅバシラガ、アガリマシタ。オドロイタ、オドロイタ、〇〇コクノシヨウセン。

サアタカク アガツテ スコシ イソガウ

〇〇コク ハマダ トホイ デスカ

サア、マダ〇〇コクハ、トホイ、トホイ、スコシ、イソグコトニ、シヤウト、ミツタンハニホンゴウノ、カヂヲ、タカク、ムケマシタ。クモノウヘヘ、クモノウヘヘ。

現代女性は如何に生くべき？
…（四）…
滿洲新女性社主催の 女性生活座談會

婦人參政權問題

A、反對論乃至尚早論　今日政治に對しては相當の關心と理解を持つ婦人は極く少數で大多數の婦人はほとんど興味さへ持つてゐない。大多數の男子は社會的に活動し又納稅や兵役の義務を背負つてゐるから選擧權や被選擧權を與へられるのでこれらの義務は負はないで唯權利をのみ求むるは不當である。又家を守るべき主婦が政治に狂奔するやうになつては家庭がうまく行かぬ。夫が一家を代表して政治にあづかるのだから妻は別に必要ないわけだ。假りに今若し婦人に對して男子と同樣の參政權を與へたとしてもこの權利をうまく行使し得る婦人はごく僅かで持てあます婦人が大半だらう。世の多數の婦人がもつと政治に對して、理解と關心とを持つやうになつたら參政權は求めずとも婦人に與へられるだらう。

B、婦人にも即刻參政權を與へよといふ說　婦人にも男子以上に社會的に活動し男子以上の納稅の義務を果してゐる婦人が澤山ある。若し家を單位としての參政權であれば獨立の生計を立てゝゐる婦人も決して尠くない。政治的智識や關心を云々するなら男子以上の理解を持つた婦人も相當にある。これを「女なるが故に」除外するといふ法はない。殊に今日の公民權といふものは昔とちがつて納稅額や家に對して與へられるものでなく國家の一單位としての權利なのだから「女だから」とて除外するのは妥當でない。國民の半數をしめる婦人を全然除外して男子だけで政治に干與するのは無理でないか、政治といへばむづかしいやうだがつまる所一國の臺所である。政治が國民全體の福利と幸福を目的とするものならば、一家の經濟に於て生産を掌どる男子に對し消費生活の責任者である主婦を除外する法はない。一國の國策は例へば今度のインフレーションのやうに夫のサラリーに影響するよりも臺所を掌どる妻の懷中に影響する場合が多い。女性には男性のうかゞひ知らない、考へ及ばない分野があるものだ。婦人が政治にあづかることによつて婦人及子供の幸福が助長されることは疑ひない。時期尚早を唱へるならば普選當初の狀況を考へて見よ。勿論今日は大多數の婦人は政治的に訓練されてゐないが政治にあづかる（最初に公民權）事によつて政治的に訓練されるとは疑ひない。訓練される日を待つより與へられた後實地に訓練される方がはるかに手つ取早い。

……◇……

一方婦人に參政權を與へることによつて政界が淨化されるだらう事はアメリカや其他先進國の例を見ても豫想できる、婦人は男子に比して純眞であり良心が強いから男の樣に情實に囚はれたり買收されたりすることがない、又婦人が男子と同じく議場に出席する樣になつたら行儀の惡い議員さん達もいくらかお行儀がよくなり粗暴な議場の空氣も緩和され、男らしい粗漏な議事は女性の細心な態度によつて矯正されるだらう。そも〳〵參政權を與へるのは女を一個の人格として認めるといふ點に理論的根據があるので、これによつて男性一般の婦人に對する蒙が啓かれ、婦人の地位が正しく認識されることは人類全體の幸福である。此處に婦人の一考を要するのは男子と同等の權利を要求するならば自ら女を弱いものであるとして男子の庇護を求めやうとする從來の卑屈な或は甘いよい考へ方を捨てゝ、負ふべき義務についても男子に伍して讓らないだけの強い決心が必要である。

滿日各地版

非常時日本に際し國民總動員の秋!!

舌端火を吐く熱辯 奉天市民大會

二十六日奉天中學で

【奉天】既報國際聯盟の脱退と重大時局に鑑み國民の反省と決意を促し擧國一致の覺悟を中外に闡明するため二十六日午後六時より奉天中學校に於て全市民主催の下に非常時市民大會を開催されたが時局に憤激して集ふ市民會場に溢れ先づ聯合町内會長藤松快教氏の開會の辭に次ぎ君ケ代を三唱し座長に上田統氏を擧げ決議及宣言文の審議に移り滿場一致で可決し栗野地方事務所長の發聲で萬歳を三唱し大會終了後大演説會に移つた

皇國の犧牲者なして意義あらしめよと題し吉川喜一郎氏先づ起ち熱辯を揮ひ次いで古市寅太郎氏の聯盟と訣別、福島清次氏の壇上に乘る我國民の覺悟、中屋重業氏の今後の日本人、青山忠雄氏の吾人の覺悟、伊藤謙次郎氏の千萬人と雖我往かん、鯉沼忍氏の天命を知らしめよ、渡邊泰臣氏のさあこれからだ、その他金井、天谷の諸氏等交々壇上に立ち舌端火を吐く熱辯をふるひ聽衆を感動せしめ沖天の意氣を示して午後十時頃散會した 尚當日の宣言文は左の如し

宣言

滿洲問題に對する我帝國の公正なる主張も誠意ある和協折衝も又我代表諸公の反覆闡明の努力も共に國際聯盟諸國の蒙を啓く能はず反つて帝國の自衛行動を目して侵略行爲なりと誣ひ滿洲國獨立承認の既成事實を否認し我に重壓を加へ不當の勸告を與ふる等横暴非禮の行動に遂に帝國をして聯盟脱退を決意せしめたる國際聯盟は今や平和愛好の假面を脱して歐洲の爲にする國際聯盟たる醜状を暴露せり

吾人全滿日本人は夙に國際聯盟に對し誤れる先入觀念を以て爲したる「リツトン」調査團の報告を採用するの危險にして不當なる事實を指摘して警告する所ありたるに聯盟理事會が之に耳を籍さず事の茲に至りたるは亦故なきに非ざることを首肯し得て痛憤に堪へず

夫れ斯くの如く今や我國際關係は孤立無援にして重大危機に瀕し勢の趨くところ俄に豫斷を許さざるの情勢に在り此の際我が國民たるもの當に一大決心なからずして可ならんや正に擧國一致上下心を一にし以て國難に處し如何なる難關をも打開し東亞永遠の平和を確保すべきの秋にあらずや

吾人在奉の日本人亦人後に墮するものに非ず常に此の覺悟と決心を以て一致結束して我が政府を支援し其の既定方針を貫徹せしめんことを期し茲に市民大會を開き右宣言す

大石橋市民大會

決議文を要所に打電

【大石橋】二月二十五日本紙號外「公正なる主張通らず總會遂に報告書採擇」當市街地に撒布せらるゝや當局時局委員會にては擧て各般の準備警備せる事とて地方事務所時局委員會俄然活動を開始し各市街目拔の要所に「非常時日本臣民の血合市民大會開催」の張り札振り鳴らす號外の鈴、鈴を目當てに押し寄する群集勢ひ自然公會堂の市民大會となつた、集合市民の總意に依つて拍手喝采裡に式次の次第は掲示された、開會の辭山下滿軍分會長拍手裡に送らるゝや座長推薦の動議起る學議總議共に我等の地方事務所長倉橋氏押され順次演説に移る

一、國際經濟より見たる吾人の覺悟　規矩　順藏
二、國民總動員の時機は來れり　石川　憲二
三、國際難局に對して日本の覺悟　今村　善勵
四、非常時日本の社會相に直面して　芦田　蓁藏
五、正義を以て戰へ　日地　鷹雄
六、爆彈　井上竹四郎
七、殘忍極まる排日侮日の暴行事實を囘顧して　伊藤謙次郎

總ては非常時日本に奮激し拍手喝采裡に次ぎの決議文を議決し直に要路に打電した

決議文

帝國の正義と滿洲國の實在を無視し偏見に基ける勸告に依り帝國に重壓を加へんとする國際聯盟の暴擧は吾人の斷じて默過し能はざる所なり速かに聯盟を脱退し擧國一致し國難に當らん事を期す
右決議す
昭和八年二月二十五日
大石橋市民大會

奉天省城内外の地域を實測

市政公署が着手

【奉天】大奉天都市計畫のため省城内外の地域を奉天市政公署にて實測することに決定し、二十七日から愈々測量に着手するが、一行は卅三名で先づ北陵から東陵寺を測量することになつてゐる、其の第一班は三角測量、第二班は圖根測量、第三班は地圖を完成する豫定で約三ケ月をもつて終了する筈である、尚ほ市政公署としては新工業地區として豫定されてゐる鐵西附屬地隣接地區一帶は全部村民にたいして自由賣買を嚴禁し地價の投機を阻止することにしたが、今後の買收地は徴租權を適用される模樣である

大石橋近郷の建國記念協議會

二十六箇村長集合し

【大石橋】滿洲國協和會大石橋辨事處に於ては來るべき建國一周年記念式を控へ近郷三十支里圏内海城營口蓋平三縣に跨る各村邑二十六箇村に對し記念式の如何なるものかに就き認識普及徹底を圖るべく數日來美座工作員をして行脚工作に努めしめつゝありしが比較的無智無理解なる村邑民も漸く現在の時勢に目覺め其の趣旨由來を認識したるものゝ如く二十五日には營口縣第二區長孫慶延村長會を招集し正午より大石橋第四小學校會議室に於て未曾有の盛會を催したり近郷二十六箇村長一人の缺席者無く顏揃ひするや憲兵隊より江口伍長大石橋警察署より中塚高等係山家通譯協和會より愛甲辨事處長美座工作委員等出席開會したるが孫委員長は招集の目的會議の概要を述ぶれば愛甲辨事處長「建國一周年を迎へたる所感並に建國記念日の由來」に就き最も平易に而も徹底的に長時間に亘り講演し多大の感動を與へたり次ぎに美座工作員は周到なる計畫案に就き説明諒解を求むると共に豫算編成の審議を爲し當日の催し物の最高位を占むる敬老會孝子節婦の表彰基準制定該當人物の詮衡等各村代表村長の意見を土臺として順々に討議決議に導き孝子二十名節婦二十名の選定迄漕ぎつけ尚六十歳以上男女老人約六十名を招待する議決を見たり、尚舊軍閥時代の舊慣習打破に對抗すべく先きに協和會にて編纂したる宣撫用本の普及を提議滿場一致を以て二十六箇村五千部の註文を引受ける等今迄にない建設的意氣に燃えた會合振りを見せた、斯くて各々中央事務局より送附したるパンフレット、ビラ等を競爭的に分與を受け三月一日を期して午後三時半散會せり(寫眞は建國一周年を控へ意氣と熱に燃ゆる二十六箇村々長各位)

建國祝賀會

【普蘭店】來る三月一日の滿洲國建國第一周年記念には左のプランにより祝賀會を催す事に決定した

當日は各戸に日滿國旗を掲揚し夜間は奉祝の提灯を出すこと、午前十時三十分日滿人並に生徒一同公學堂運動場に集合同四十分爆竹を合圖に旗行列行進開始、樂隊を先頭に市中を一巡し民政署前始め各主要箇所において萬歳三唱の上小學校々庭に引揚げ解散直に同校講堂において官民合同の祝賀宴並に祝賀演説會を開催する事

遼河、鴨綠江沿岸嚴重に警戒

兩水上署で協議中

【奉天】遼河と鴨綠江の水上警備については奉天省警務廳としても熱河事件のために特別の注意を拂ひ、兩河川沿岸の各縣は素より北支方面から潛入する學良系便衣隊の取締に對して嚴重警戒し兩水上局とも快足船を準備し、警備に當る方針である、目下兩局とも具體的連絡方法を協議中であるが、遼河沿岸は十餘縣に亘り、鴨綠江は數縣を所管してゐるので水上局の内容を一層充實する方針であると

滿鐵消費組合出張所を新設

【奉天】奉天附屬地南端には本年度社宅六百數十戸それに一般民間の住宅並に店舗を加ふ時は八百數十戸の市街建設を見るので滿鐵當局では之等の情勢に鑑み今秋までには附屬地南端に消費組合出張所を新設すべく準備中であると

奉天醬園好績

【奉天】滿洲事變後味噌醬油の需要は著しく增加し之等の釀造業者は何れも好況に惠まれつゝあるが株式會社奉天醬園では二十六日午後四時より同社に於いて總會を開催したが今期の好成績に鑑み滿場異議なく五分配當を可決した

安東競馬

本年の日取り

【安東】安東競馬倶樂部は本年が設立五周年に當るので本年は臨時競馬以外に二萬圓の補祭附大會を開催することゝなり目下準備を進めてゐる、なほ本年の新馬購入は約五十頭の豫定で三月下旬到着の筈である、また本年中の競馬開催の日取は次の如くである

▲春季競馬 四月二十九、三十、五月一日、六、七、八日
▲春季臨時競馬 六月二十四、二十五、二十六、七月一、二、三日
▲五周年記念競馬 七月二十九、三十、三十一、八月五、六、七日
▲秋季競馬 九月二、三、四、九、十、十一日
▲秋季臨時競馬 十月七、八、十四、十五、十六、十七日

北票採炭開始

臨時營業局を設置

【奉天】北票の皇軍占據により同地の炭礦局は愈々採炭を開始したが、官營出資は逆産として回收し將來は滿洲における炭礦の統一を計る模樣であるが、北票には臨時營業局が設けられ李作民氏が局長に推薦された、同礦は資本五百萬元で官の出資は二百萬元であつて三百萬元は商民の出資である、礦區は五十一平方支里に及ぶ優秀なる炭礦であると

奉山線從事員配備

【奉天】錦州、北票間の支線は我皇軍の北票入城により錦朝支線は完全に奉山鐵路局の管下に屬し各驛長、從業員は奉山線現業員が配

各地農務楔好績

楔長各地を視察

【安東】朝鮮總督府が在滿鮮人の農耕金融機關として昨年設定した「農務楔」は各地とも業績頗る良好で安東の如きは貸附金一萬百四十五圓に對し回收額八千百五十三圓九十錢で八割強を示し、その他の各地も七割乃至八割の回收を見てゐる、右は事變後滿洲人側の鮮農に對する壓迫が無くなり安心して耕作收穫することが出來るやうになつたゝめで、今後鮮農のこの農務楔を利用して金融を受けるもの增加し發展を期待されてゐるが、總督府は各地の農務楔長をして鮮内各地を視察せしめ在滿鮮農の啓發指導の參考に資せしめることゝなり楔長五十四名より成る視察團は總督府外事課杉田囑託引率の下に二十五日午後五時二十五分發列車で安東を出發、平壤、沙里院、京城、仁川、軍浦場、水原、大田、論山、裡里、群山等の各地視察に向つた

鮮農への農耕資金

本年度貸付額

【奉天】奉天十間房協濟公司では奉天附近の鮮農に對する農耕資金の貸附は昨年度までに十萬圓に達し本年も更に十萬圓程度の貸附をなす方針であるが右に關し同公司專務林流應氏は左の如く語つた

本年は治安も維持され米價も昂騰してゐるため本年度は鮮農も相當の好成績を擧げるであらうと豫想されてゐるし滿人地主が昨年天地五十圓で貸した田地を本年は八十圓でなければ貸さぬと云ふ有樣で、結局作付反別も昨年度位のものであらうと考へ

女學生懇談會

【撫順】撫順友の會にては事實上に於ける日滿婦人の融和親善を圖るべく第一着手として今年撫順女子師範及職業學校卒業生五十餘名を招待し懇談會を催すことゝなつた、婦人團體の試みとしては着眼に於て、實踐的なるとに於て、友の會の今回の試みは注目に値する

湯崗子傷病兵見舞

【遼陽】遼陽家政女學校生徒は小野、松川兩教師に引率され二十五日湯崗子に赴き同地遼陽衛戍病院に入院中の傷病兵を見舞うて同日歸遼したと

旅順放送

▲市會議長に當選した村上信二氏は二十五日午後各方面を歷訪就任挨拶を述べる處があつたが氏は語る、全く想ひがけもない重責な議長の椅子を占めるに至つた事は素より淺學非才甚だ恐悵たるを得ない、然し現下の狀勢に鑑みれば一日も早く低迷してゐる空氣を一掃し、至公至平事に當つて最善のベストを傾倒する事が自分の職責と信じ敢て就任した次第である、極力自己の信念に向つて善處しても尚且つ目的が達し得ない場合は、勿論決意する處もある、議長といふ椅子は却々傍で觀てゐるやうな譯でなく却々至難の事であるから將來は特に宜しく御願ひすると云々……

沿線往來

▲山崎遼陽領事　新京に於ける領事會議に出席中の處廿三日歸遼
▲阿部勇吉氏(遼陽警察署警務主任警部)廿四日はさて着任廿五日岡平高等主任の東道で各方面歷訪着任挨拶

非常時日本

【上、下】奉天市民大會の盛況 【中】大石橋の市民大會

軍用列車に阻まれ泥字子驛で立往生

第一報を握った儘絶食一晝夜

錦州に歸着した五百旗頭特派員

【錦州】〇〇〇日朝南嶺近くの丘陵まで早川部隊の本隊を見送り〇〇〇の前で最敬禮をした記者はこの掃匪先頭部隊の第一報をもたらすべく歸路に就くことゝなつた、記者としては更に前進を期してゐたが時間的にこれ以上進むことは後方との連絡を絶たれるおそれがあるため敢然引返しを決心した、引返し同行の從軍記者五名、然し朝陽寺まで二里の行程には

相當の危險 を豫想しなければならない、人家の少ない山の狹間を默々として自分達は進んで行つた、川の凍てついた上を歩き漸く人家を見つけだした一行は餘りの咽喉の乾きに遂に一軒の百姓家にお茶を乞ふた、氣遣つてゐた心配もなく彼等は喜んで我々の歡待につとめ物珍しげに集まつて來た子供達にキヤラメルを配ると

心から嬉し げに「多謝」「多謝」を繰返してゐた、これで我々を餘程の大人と見たのか彼等の態度は急に變りアンペラの上に敷物まで出して坐れと奬める、壁に懸けられた鐵砲が一種の薄氣味さを與へたが我々も心からおいしく番茶を飲みながらお禮に集まつた大人にも子供にも一人づゝ十五六名にスペアーを一箇づゝ與へると彼等は私達の荷物を擔いで驛まで案内するといふ

村の村長が 何くれとなく心配をして村の端れまで見送つてくれる、日本の田舍氣風をそのまゝに傳へる純朴な農夫のこれ等の態度がすつかり私達を安心させてくれた、もう匪賊は大丈夫だと思ふと荷物が無くとも却つて足の重みを感じて來た、朝陽寺に十時到着、一行に現大洋二圓を與へると何度も何度も頭を下げ悠々と驛の見物をしながら歸つて行つた、驛駐屯の矢部少尉の親切で早速錦州歸りの車を利用することが出來た、しめた

讀者に案外 早い第一報をもたらすことが出來るぞ、私は心から愉悦を禁ずることが出來なかつた「もう遲くとも夕刻までには錦州につける」安心し切つた一行は驛で辨當をすつかり平げ歸りの列車に乘込んだ、こゝまでは私の豫定は全く順調な運びを見せてくれたのであつたが思はぬ不覺が私にあつたのだ、朝陽寺から錦州まではそれは平常であれば二時間乃至四時間で到着したものであるが錦州から引つきりなく送られる後續

軍用列車が 各驛共に滿員となり殊に同線が單線であることは極度に列車の運行を阻害し、しかも通信方法は完備せず、引き返しの車は結局途中の驛で數時間の待合を餘儀なくされる結果となつた、〇〇〇日午前十時に乘込んだ吾々の車は今晩中に着くかどうか解らぬと車掌は云ふ「前の驛も錦州も列車で一杯です」これは午後三時半泥字子に着いた時の情報であつた、夕闇は迫つたが列車は出ない、午後九時依然列車は泥字子に止まつたまゝである、火の氣のない車中は

防寒具の中 にまでヒシヒシと沁み込み到底堪へられなくなつた、一同は期せずして滿洲國兵隊で一杯になつたストーブのある車掌車に逃げ込んでしまつた、睡眠は極度に減ろし、冴へてくる神經に容易に寢つかれさうにも無い滿洲國の兵士達も朝から何も食はぬと言つてゐたがその悠々たる態度が一種の腹立たしささへ與へるのであつた、軍用列車が一つ二つゝ横を通り拔けて行く、計六ケ列車、私の氣持はますます〱とあせつて來た「島田との連絡」「山口との連絡」それよりも心配になつたのは〇〇日午前二時

早川部隊の 釼着と共に直に朝陽寺から引返した連絡の山代君がこの調子で立往生であれば大變だといふことだ、心配しても追付かないとは解りながらこの時ばかりは自分は眞劍な氣持で神に祈つた、眼から涙がポロ〱と落ちた、足の疲れも忘れて寒いプラツトホーム十度位は往復した、本當のところ「死」といふ連想までが私の頭にはつきりと浮んで來た滿洲國兵の仲良く雜魚寢、〇〇〇日午前六時漸く列車は錦州驛の次驛許可屯驛に到着した

絶食一晝夜 折良く乘込んだ兵隊さんに貰つたハンゴの飯を五人で分けた時の嬉しさ、その時には私の氣持もすつかり落着きに落ついてゐた、午前九時錦州驛安着、所要時間二十三時間兎に角第一報は送れる、不安な神にも何となく一種の安心さを覺えて、ホツとした氣持で私は連絡係白石君の事務所を訪れた（廿二日錦州に歸着して）

領事制度の解消は絶對ない

岡本安東領事歸任談

【安東】去る二十日より二十三日まで新京大使館において開催された在滿領事會議に出席した岡本安東領事は二十四日夜歸任したが語る

今回の領事會議は武藤大使、小磯參謀長以下頗る緊張裡に重要事項の協議を爲したが内容を語ることは避け度い、今日まで種々な問題について可なり解し得ない點もあつたが今回の大使館の訓示に依つて全く釋然とした將來日系滿洲人側の誤解無きやう日滿融和を旨として何處までも滿洲國を盛り立て、行かねばならない、夫には在滿各地領事が奮起して在滿同胞の指導に當り非常時國民としての覺悟を促すやうに訓示を受けた、それから在滿領事制度の解消を云爲する者もあるやうだがこれは非常な誤解である、今日滿洲國は嚴然たる獨立國であるから領事制度を設けることは當然であつて今後領事制度の機構改廢は或は行はれるかも知れぬが解消するなどは絶對に有り得ないことである

協和會分會發會式盛況

【開原】開原日滿官民は滿洲國建國一周年に際し滿洲國協和會開原分會を設置すべく協議の結果、協和會中央事務局の承認を得て二月二十六日午後二時開原縣教育局内において日滿官紳七十餘名參集し盛大なる發會式を左の順序に依り擧行した

一同集合午後二時、執政肖像に敬禮、式詞縣長常守陳、經過報告佐竹令信、分會規約討議、分會長推薦、委員選擧、常務委員推薦、鄭協和會々長祝詞、協和會本部員廣吉氏祝詞、小川地方事務所長祝詞、大隈公學校長祝詞、副憲則譚田所中佐、鞍山分會、本溪湖分會記念撮影、實會

なほ分會長は滿場一致を以て縣長常守陳を推薦し委員三十名を分會長指名推薦し其委員中より宮内虎雄、佐竹令信、朱子衡、王統中の四氏を常務委員に推薦し祝詞、祝電朗讀の後、酵時において紀念撮影、續いて酒宴を催し滿洲國の萬歳協和會萬歳を三唱し午後四時四十分滿足裡に閉會した、當日開豐汽車公司は縣長の依頼に應じ特に出席者の爲めに客車一輛を連結し無料提供されたる篤志に對し分會發起者は深く感謝してゐると

撫順の戸數割

【撫順】撫順區の昭和八年度公費豫算を見ると、邦人だけでも五千餘戸を數へてゐる當地の戸數割納税者が僅かに四千百二十四人と少數となつてゐるので、現住戸數、賦課標準に就き戻轄地方係につき調査したるところ次の如く撫順現在の居住者は總計一萬九百九十九戸あり差引六千八百七十五過半數の免除者があることが判つた、尤も免除者の多いことは沿線各地同樣であり植民地なるが故に滿鐵から毎年々數百萬圓の補給金（公費補助）を支出してこれ等を補つてはゐるわけではあらうが、撫順八年度の戸數割總額六萬一千三百三十三圓即ち納税者一人當り平均十五圓といへば相當額の支出たるべく而も居住者の六割以上が有税を免除されてゐる状態で甚だしく市民負擔の公平を缺いでゐるやうである

	現住戸數	賦課戸數	免除戸數
邦人	五、一三五	三、六九一	一、四四四
滿人	五、八〇三	三九八	五、四〇五
外人	七	一	六
法人	三四	三四	―
計	一〇、九九九	四、一二四	六、八七五

安東税關の分關設置に決定

中村税關長新京へ

【安東】安東税關の鴨綠江上流における分關新設については實地踏査の濱田監視部長の報告に基き中村税關長が研究中であつたが大體長甸河口、外舍口、輯安、臨江の四ケ所に設定することに内議を整へ中村税關長は三月三四日右案を携して財政部と協議のため新京に赴く筈である

狂舞する不貞の女性

飛んだ駈落者

【奉天】ジヤズの狂燥に狂舞する女性實は彼女は不貞の兇状持ちである……神奈川縣小田原町生れ、市内加茂町十四番地明星ダンスホールのダンサー里見あつ事小王さく（二一）は横濱警の身許調査により情夫と手に手をとつて家出中のお尋ねものであることが暴露したので二十一日限り廢業し夫の許に歸ることになつた卽ち小王さくは妹の名前であつて本名はむめ（二三）と稱し彼等が十八歳の時横濱市中區新田町淸川榮太郎（三〇）と結婚し本年六歳になる男の子まであるが至つて浮薄な彼女は淸川と同居中南鮮德興（二一）と昨年三月手に手をとつて駈落し所在を晦まして居たが昨年末奉天に來てダンサーとなる時自分の名前を出すと身許が判るので妹の名前を利用して居たものである

鳳凰城署好績

【鳳凰城】鳳凰城警察署では嚢に高等科生筆記試驗に五名の合格者を出したが今回旅順に於て行はれた口答試問に左記四名合格した旨發表されたが、同署は開署早々で匪賊討伐に警戒に寸暇なき状態に拘らず四名の合格者を出し他に見られぬ好成績で署の誇りとして署長以下大喜びである

吉住俊雄、櫻井謙吾、沖孝四郎、上村丈夫

人命救助表彰

【鞍山】鞍石山驛勤務保線區線路工長大河八郎氏五男身德（七）は去る十八日午前十一時ごろ同地共同浴場附近で遊戯中過つて浴場汚水の溜池に落ち悲鳴を揚げてゐるを共同井戸へ水汲みに來た同地近藤正美方の雇人王招江（五）が聞き驅つけて引揚げ假死状態に陷つてゐる身德を抱へて驛本屋に驅込み驛員と協力危ふい一命を助けたるが右の行爲を報告によつて知つた鐵嶺署では關東廳に對し人命救助の功により表彰方を申請したが王招江は性質頗る溫順で雇主は勿論附近の者から可愛がられてゐる滿洲國人であると

在滿鮮人の視察團

【京城】朝鮮總督府では既報の如く在滿鮮人有力者を以て鮮内各地の諸施設視察團を組織せしめ補助を與へて農業の改善に資せしむる爲め在滿各地鮮人會に對し視察員の人選を命じ鐵嶺民會にも最初五名を指定して來たが更に三名を追加し八名參加を許したので鐵嶺鮮人會は人選の結果

鐵嶺縣沙地李宗洙、楊木林子金在奎、市内鄭昌相、鎮山屯鄭寬淳、開原施家堡子桂振、下肥地金洪默、馬市堡朴相奎、康平縣公河來許永烈

の八名を選び一行は去日既に南行したが、視察日程は約二週間であると

お化粧の常識　十五

最も生きた表情のある 近代的な白粉は？

〜粉化粧の仕方〜

光川京子孃

白粉の表情……など、云つたら可笑しいでせうか？私は白粉にも夫々表情が有る、と云へると思ひます。例へば鉛白粉の青白く冷い表情、あるひは或種無鉛白粉の厚ぼつたく何と無くドンヨリした表情――斯ういふ風に申して參りますと、一口に云つて艷やかに生きた表情、如何にも明ろく生々とした表情のありますのが、皆樣も御承知のチタニウムに特殊の成分を配合して成功致しました評判のサーワ白粉、先づ此白粉を擧げなければ成らないと思ひます。

◇

何れの意味から云つても全然身體に無害で、そして之丈素晴しいお化粧效果の擧がる白粉が出來ました事は、御同樣お化粧を致します身に採つて大慶の至りと存じますが、而も尚此サーワ白粉だけに就いて申して見ましても、同じく生きた明ろいお化粧が出來ます中にも固煉、煉、或ひは固形白粉の類とそれから水白粉の類と、及び粉白粉の類とでは又其お化粧效果に夫々特長が有り、云はば其表情にもそれぞれ微妙な相違があるものと私は存じて居ります。

◇

サーワの固煉や固形白粉の類を溶いて、見るから鮮かにくつきりと濃く襟白粉をなさいましたのも昔ながらに床しい純日本風のお化粧で、殊にサーワの特長でありまする其艷の冴々した美しさは、全くくつきりと白く、とのみ申す外はありませ……を好み……に、謙……もお顔も殆んど區別無く一樣にお化粧なさいましたのも、云はば﨟たけて麗しく、自と其處に高尚な氣品が漂ふ思ひでございますが特に此頃よく耳に致します個性化粧、生きた中にも一際生々とした表情的なお化粧――詰り特に表情的なお化粧と申しましたら、矢張サーワの粉化粧では無からうかと存じます

◇

勿論煉にせよ水白粉に致せ、お附けに成りました白粉の仕上には大抵此粉をお用ひに成りますのも右の樣な原因からで御座いませう。が、全くサーワの粉白粉はお化粧全體に一層和味を出しまして、一層自然的な生彩美を現します。

つまり私の申します意味の近代的な表情ある白粉と云へば、先づ此サーワの粉白粉だと存じます。

◇

御承知とは存じますが、サーワの粉白粉には色味が都合四種ありまして、純白の冴々とした美しさは申す迄も無い事、肌色の艷かで萬人向なる、新肌色の高尚な肉黄で流行の黄色化粧に適して居ります、又濃肌色のやゝ澁味があつて見るからに飛付き度いやうな好もしい色味で、健康美化粧に無くて適はぬ、等々、お好み次第の色味が御座います譯で、實際之等を巧みに用ふ事に依つて、近代的の個性化粧、表情豐かな、從來に無い生々したお化粧は思ひの儘で御座います。

◇

普通サーワの粉化粧は、例へば先づミツワ石鹸の樣な肌當りの緩和な洗料で、地肌の汚れを除りますのは、之は總てのお化粧に共通の話ですが、それからサーワのヴアニシングクリームで下地を作りますが、クリームは決して多くを用はず、小量をムラ無く平均に擦込む事が肝要でございます。

◇

まだお寒さの折ではあり、又お肌によつてはサーワのコールドクリームを用はれても宜しいのです

◇

詰り小量のコールドクリームを一面によく擦込みまして、ガーゼで鼻を中心に外側へ〳〵と叮嚀に之を拭除るのですが何しろ脂肪性のクリームですからガーゼは一度取換へた方が一層キレイに除れます。そしてサーワ化粧水を濕した脱脂綿の切れでもつて全面を輕く叩くやうにして又クリーム氣を拭除る、之で下地は出來ました。

◇

それからサーワの頰紅をお顏の形に從つて附け、水刷毛でボカして後濕りを押へ、さて愈々パッフで好みの色の白粉をポン〳〵と打込むやうに刷くのですが、此白粉も一度に餘計を塗られない方が巧く行くもの丶樣で御座います。

一度屆向もつと重ね度ければ、一度綺麗に伸ばした極小量のヴアニシングクリームでお顏を挾むやうにして、特に小鼻の周り口の邊等崩れ易い部分をよく押へて、それから再びパッフを用ひます。

◇

そして濃淡よろしく出來ましたら、再びクリームなり化粧水なりで押へて、眉や睫毛、又生際其他の要らぬ白粉を除き、それからサーワの口紅と眉墨といふ順序で、それこそ見違へる程生きたお化粧が出來上ります。

◇

表情の美しいサーワ白粉のお化粧の中でも、最も表情饒かなお化粧は此粉白粉で、白粉の色味の御選擇が又一層其效果を擧げるわけで御座います。

◇

例へば色の黒いと云ふ事も唯今では決して苦に病む必要はありません譯で、と申しますのが矢張サーワの新肌色の粉白粉、若しくは同じ色味の水白粉をお用ひなさいませ。全く品のある美しさで、生きた表情のあるお化粧が出來ますから。

從つて黒いながらも平生のお手入れに依つて、皮膚に生々とした艷があり、所謂肌理さへ細かなれば決して見苦いものでは御座いません。ですから黒いなりにも荒らさないやう、毎夜就寢前には必ず皮膚を清潔にした上で、サーワのコールドクリームを榮養料として一面に塗込まれて、其後を拭いて置かれるのが宜しう御座います。

序でながら中年の方でもサーワの新肌色か濃肌色の白粉をお用ひに成れば、必度幾つか若く見へ、極すつきりとした效果が擧ります

◇

サーワの固煉色味二種、粉と水白粉色味各四種づゝ、他にヴアニシングクリームとクリーム白粉、以上十二種携帶用小器入一揃ひ、郵券五十錢（一種なれば五錢）封入東京日本橋區米澤町ミツワ石鹸本舖丸見屋商店へ御申越次第郵送。

小冊子『白粉の常識』
新聞名記入御申越次第送呈
東京日本橋區米澤町
ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店

滿洲博協贊會 成立して陣容整ふ
きのふの創立總會で

大連市催滿洲國大博覽會協贊會發起人會は二十七日午後二時より大連商議に開催 高田、篠島正副會頭以下市中商工團體代表者、各區長等並に滿洲人側各市商會代表者等八十餘名出席

先づ高田會頭より發起人會開催の趣旨を述べ、石田書記長代理より協贊會組織に至る經過報告をなし高田會頭推されて座長席につき

滿洲博協贊會を成立せしむるや否や

につき諮り全會一致贊成こゝに成立を見た、引續き二時半より協贊會創立總會に移り協贊會趣意書、協贊會規則案、事務細則案、同收支豫算案を可決、續いて役員の選擧に移り、正副會長は選擧を略して會長に高田會頭、副會長(五名)に瓜谷、篠島兩副會頭、滿洲人側三市商會々長を決定、評議員は座長より十名の委員を指名正副會頭市商會々長加はり別室に於て詮衡委員會を開催一旦休憩後再開して高田座長より委員會の經過に就き日本人側は商議常議員をはじめ市會議員、各區長、官衙、學校各種團體代表三百五十七名、滿洲人側より各市商會幹部外各團體代表百三名、合計四百六十名を詮衡した旨報告、これを諮るや拍手を以て委員會案を可決し散會した

創立趣意書

近く事務を開始する協贊會の創立趣意書は左の如し

本年七月を期し開會さるゝ大連市催滿洲大博覽會は東亞交通の要衝に當り、近代文化の粹を聚めたる國際都市大連の偉容を表徴する空前の大計畫でありまして寔に新興滿洲國の前途を祝福し且つ日滿經濟の提携、産業の開發に資すると共に滿蒙の實相を普く天下に紹介する絕好の機會と謂はなければなりませぬ、從つて此の博覽會の目的を達成せしめ、その成果を完うすることは大連三十萬市民の福利を增進する上に極めて重要なる關係を有することでありまして、此の記念すべき博覽會事業をして有終の美を濟さしむることは大連全市民の義務なりと信ずるものであります、就ては此際市民諸賢の一致協力の下に協贊會を組織し、日滿互に提携して其業績を內外に宣揚し、所期の目的達成の爲め邁進し度いと思ひます、翼くは全市民各位は奮つて絕大なる協贊の實を示されんことを偏に待望する次第であります

理事互選
二日評議員會で

滿洲博協贊會理事(約五十名)は來月二日午後二時より評議員會を開催互選を行ふ筈

收支豫算

滿洲大博覽會協贊會の收支豫算は收入、支出とも十二萬二千九百圓で內容は左の如し(單位圓)

▲收入

項目	金額
寄附金	一〇八、〇〇〇
演藝收入	五、〇〇〇
雜收入	三、二〇〇
不用品賣却代	六、七〇〇
合計	一二二、九〇〇

▲支出

項目	金額
建築費	三一、〇〇〇
裝飾費	一一、九五〇
給與費	八、九九〇
所費	四、八〇〇
寄附金募集費	一、五〇〇
宣傳費	八、三〇〇
接待費	一六、三〇〇
印刷費	三、五五〇
餘興費	一七、五〇〇
備品費	一、五〇〇
大會費	五、〇〇〇
保險料	三〇〇
雜費	一、五〇〇
殘務費	五、八〇〇
豫備費	四、九一〇
合計	一二二、九〇〇

再起を誓つて凱旋
白衣の七十勇士離滿

傷いた身體を白衣に包んだ五十嵐正義中尉以下七十名の戰傷病勇士は二十七日午後四時御用船照國丸で市民多數の見送り、碇泊諸船舶の吹き鳴らす汽笛の音に送られて懷しい日本に凱旋した、熱河討伐の勇ましい數々の戰況を後に白衣に變つた姿で內地に歸る事は勇士にとつて無念の極みに違ひない、見送市民を代表して小川市長は起つて戰傷勇士等に對し感謝の意をこめた送辭を述べる、これに對し勇士等側に代つて五十嵐中尉は力強い語調で

熱河問題で我々戰友が胸のすく樣な奮鬪をなし數々の勳功を樹てつゝある時、不幸自分達は或ひは敵の憎むべき彈丸に傷き又は不測の病氣に罹つたりして一應日本に歸らねばならぬが自分達は靜養の上一日も早く全快して今一度劍をかざし、銃をとつてこの滿洲にやつて來ることを誓ふ

と見送りの官民一同に對し元氣なところを示し感激の挨拶をする、一行は門司に八名、他は全部宇品に向ふ筈で主として山海關において日本陸軍の武威を輝かした勇士等である(寫眞は白衣の勇士とダンサーの見送り)

成層圏

本子さんを慕ふ男

阪急沿線寶塚梅野、旅館兼料理業春駒こと若柴はるさん方へ去る二十一日から投宿中の和歌山市雜賀屋町土浦龜雄(二三)と稱する學生風の青年が、二、三日經つてから突然バットを飯じて飲み自殺を計つた姉瞬に宛てた一通の遺書の他に不思議な一通の書面が添へてある、それには

哀れな櫻內本子さん(この程自殺した櫻內辰郎氏令孃)の天國への道づれになります

と書出し、その後へ櫻內辰郎氏へ草場の露と消えた孃を何んと思はれるか その旨を傳へてくれと認めてあつた。

ダンス排擊の自殺

大阪府三島郡春日村中穗積、大タク營業部長谷安一氏妻靜枝さん(三三)が猫いらずをのんで死亡した、原因は最近夫の安一氏がダンスに凝りはじめたところから嫉妬七ケ月の身重の靜枝さんが神經を苛立たしたゝめらしいが遺書には……夫がダンスに凝れば妻も子どもを生んで空身になつてダンス等と何處へなと行けばよいのだが!男ならば誰れでも一人で樂しい目をするがこれは男にのみ許さるべきものではなく女は皆仕方なしに淋しく我慢をしてゐるのだ……男のやることが呪はしい……こんなわがまゝな貴方の妻の言葉としてゞはなしに一般女性の持つ惱みだといふことをお承知下さい……など夫や一般の男性の放逸な行爲を呪ふ意味が書き綴られてあつた

インチキ美髮油

最近北大阪を中心に怪しい美髮油を賣りつけ歩いてゐた男……山口縣熊毛郡淺江村生れ山口照雄(二三)こと中西保男(三三)といひ古道具屋で仕入れた顯微鏡を手に相手方の家を訪問しては家人の髮の毛を一本々々拔いた上で「毛根に肺病第二期に相當する惡性の蟲が寄生してゐるからこの藥油をつければ根絕して髮は艶々と若返る」と巧に欺いて赤、青、黃などの五色の藥を調合して原價五十錢のものを五圓七圓の高價で賣りつけ廻つてゐたものである

おいらんの檢討

日本に特異な藝妓と花魁の調査のため一昨年來朝した國際聯盟婦人賣買東洋調査委員長バスコム・ジョンソン博士などの日本に關する調査報告書は來る三月二十七日から四月六日までゼネヴァの第十二回婦人兒童賣買禁止委員會で檢討されることゝなつた、なにしろ問題が我國の不名譽な名物——公娼制度に關する批判でありその結果が全世界に公表されるといふので當局から代表者を開催地に送ることに決定、二代表が選ばれた、一人は內務省事務官小畠芳次、他の一人は拓務省書記官篠川猿三郎氏何れも少壯官吏でこの若きアンチ・エロ代表の活躍は大いに期待されてゐる

直接行動に
ダンス黨大恐慌
非合法的妨害運動は 嚴重に當局で取締る

學生聯盟の排擊運動が下火となつてホッと胸撫下してゐる大連のダンス界へ今度は直接行動の妨害の手が伸ばされ再びホール營業者やダンス黨をおびやかしてゐる——二十六日午後八時ごろと八時半の二回に亘り市內岩代町ダンスホール東亞會館へ拳大の石を投げつけた者あり二階窓硝子二、三枚を破壞したのみで幸ひに人身に被害はなかつたが、同會館では據てよりホールにコールターを撒くとか、劍舞を見せにゆくとかの脅迫がましい電話や投書が舞込んでゐる矢先とて非常に神經を尖らし大連署に屆出た、また同夜ベロケから出て來た男女の客に對し三十歲前後の二人連れの男が「不埒な奴だ」と罵りかゝらうとするところへ續いて他の客が出て來たので目的を達せず逃走した事件あり、所轄大連署ではかゝる非合法的な妨害運動に對しては徹底的取締ることゝなり目下犯人嚴探中である

德壽宮跡を 兒童公園に

【京城特電二十六日發】京城の中心地である京城府廳前德壽宮跡を開放するにつき李王職にあつては昨年來種々講究されてゐたが愈々一般府民殊に兒童の爲提供小公園に改造する計畫にて今春四月の年度初めより本式に工事に着手する樣豫算に費用を計上した、大體の計畫は昌慶苑より牡丹、菊花その他を移植し花壇を設け兒童の遊び場所として種々なる器具を配置し又建物石造殿には現在通明殿に陳列してある繪畫や李王家の秘藏品となつてゐる古美術品なども移して歷史ある建物に對し尊嚴を傷けさる程度に於て公開される模樣である

代用社宅を 四百戶
滿鐵が新京で

新京の發展に伴ひ滿鐵社員の同地勤務者增加し從つて社宅缺乏し、散宿するもの多きためいよ〳〵新京の住宅難を甚だしからしめてゐるので、滿鐵では南滿興業が建築する四百戶を代用社宅とする筈でさきに事業豫算に計上した二十戶建築費も他の土地の新築に振向けることゝなら、なほ代用社宅の建築用地は新京市街の南方鐵道線路寄りの買取地の一部を滿洲國側の土地と振り替へて適當の廣さを得る筈で南滿興業では近く材料の輸送を開始、四月解氷匆々工事に着手するさ

李春潤の一味を けふ奉天へ護送
水上署の取調一段落

本溪湖署と大連水上署の巧な協調連絡によつて檢擧した匪首、東北民衆自衞軍第六路司令李春潤の命を受け東邊道に義勇軍の再組織をなし後方攪亂を企てた奉天省新濱縣生れ第四梯隊長兼總參謀司令官孫耀祖(四〇)以下十四名はその後大連水上署において嚴重取調中のところ審理の一段落を見たので、いよ〳〵奉天に押送する事となり同署福田高等主任を護送指揮に高等係員その他十五名武裝を固めて二十八日午前九時發列車で赴奉する事となつた一件書類と共に奉天憲兵隊に渡される筈

お菓子を行商し 純益金を寄附
獨立守備隊へ同情

【新京電話】獨立守備隊はその徵募區域が日本全國に亘つてゐる關係で他の出征在滿部隊に比べると慰問袋その他の配給が惡いのを聞いて山口縣宇部市第四部青年團第一支會田中乙惠氏外二十四名が夜間一袋十錢の菓子を行商してこれより得たる純益金二十圓五十錢を宇部市々役所を經由して獨立守備隊宛に送附して來たが司令官以下その優しい心根に一同感激してゐる

巡査を振り落 して絕命さす

【東京二十七日發】二十六日午前四時半頃向島區寺島町五の一番地先道路で寺島署勤務大下正雄(二七)巡査が自動車檢索中王子の井方面より乘客二人を乘せた自動車が疾走し來り停車を命じたが停車の模樣がないので同巡査は自動車のステップに飛乘り停車を迫つたが運轉手は無言でスピードを加へ白鬚橋に差懸るや同巡査を故意に振落さんと電柱すれ〳〵に運轉したゝめ間に挾まつた大下巡査は後頭部を電柱に激突餘勢で車の窓硝子を破壞し其破片で咽喉を負傷し人事不省となつて路上に昏倒した、程無く發見され病院に收容したが後頭部の出血激しく午前五時遂に絕命した、急報に依り警視廳は大活動の結果午後四時半淺草區山谷町三ノ四木賃宿谷屋本店二階に就寢中の滋賀縣生れ西川清二郎(二三)を逮捕取調べの結果犯人なるを自白した

銃後の花にほふ
奉天兵士ホーム

死を覺悟するも これあればこそ
井上將軍、感動す

【奉天電話】井上獨立守備隊司令官は幕僚と共に二十六日奉天兵士ホームを訪問し、銃後に立つ兵隊のお婆さんこと久保博士母堂の案內で同ホームの兵士慰問の實況を目擊して感に打たれ「我々軍人が戰場に立ちて死を覺悟するのも斯うした國民の心から出た銃後のためで眞に感謝に堪へぬ」と語つたが、兵隊のお婆さんが自ら作つた汁粉に司令官以下幕僚と共に舌鼓を打ち、非常に美味さうに記念撮影をなし司令官以下幕僚に銃後に活躍する人々の慰安をうけて感慨深く歸還した、所でその兵隊のお婆さんの許には兵士ホームでうけた慰安に對する感謝の手紙が各地の將士から送られて來てゐるがその手紙の內には

あのお婆さんから頂いた汁粉は美味かつた、餅の味も今に忘れられない、それより私は自分のあたり眞の母に會つたやうな氣がして懷しい想ひ出に耽つて居ます

といふやうな感激に滿ちたものが寄せられて「我等には永久の母であつて欲しい」と述べたものもある兵士ホームには兵隊のお婆さんを始め多數の夫人、令孃が詰めかけ每日戰場に向ふ勇士の慰問をして居るので此處ばかりは和やかな春に銃後の人が花を咲かせて居る

あす慶祝大會
國都、歡喜に皷動す

第一次式典 と大祝宴

【新京電話】三月一日慶祝大會當日執政府においては午前十時半より政府官吏一同參集執政の前において祝杯をあげ三敬禮の後、執政より訓示を賜り萬歲を三唱して第一次式典を解散、引つゞき午前十一時半より市內勳民樓において、一大祝宴を擧行する筈であるが、當日は特に武藤全權大使も出府し慶祝の交驩を行ふ筈である

旗行列
二萬人參加

【新京電話】旗行列は日滿合體で官吏千名、邦人團體員五千名、各公私立學校生徒三千名、軍人三百名、一般市民約一萬人及び日本側佛敎團體約五百名が參加して軍樂隊を先頭に新京附屬地及び城內を大行進をする筈である

『非常時スポーツ』
體育研究所主催座談會開く

關東廳體育研究所主催座談會は二十七日午後五時半より滿鐵社員倶樂部第二集會所において開催された、出席者は田邊體育研究所長、沖滿鐵體育係主任、山田滿洲體育協會役員を初め拳鬪、陸上、卓球、硬球、相撲、水泳、籠球、排球、漕艇、ラグビー、劍道、柔道、軟球、馬術、蹴球、スケート、弓道、射擊、野球の全體育關係のエキスパート三十八氏を網羅するもので滿洲における第二回目の意義ある座談會であつた 先づ田邊所長は現下の非常時に處すべきスポーツマンの覺悟を述べて座談會の舵をとし次いで司會者山本體育研究所主任より提出された「非常時と體育」「日滿體育の提携」の二項目について種々意見を交換し盛會裡に十時終つた

鑑識係に警部

關東廳刑事課では從來鑑識係主任に警部補を置いてゐたが各署との均衡上警部を置くことゝなり今回奉天警察署司法係の平川高市警部を鑑識係主任に任命、同氏は二十七日着任した

委託金橫領 で告訴

市內西通百十一番地田中義信氏は愛宕町二十二番地錢莊福成銀號方竹內某を相手取り委託金橫領の告訴を二十七日大連署に提出した、昨年九月田中は竹內から銀相場を張れと勸められて斷つたところ、竹內は田中の不在中甘言を以て妻女を籠絡し三百圓の證據金を出させて銀相場を張つた、これを知つた田中氏は竹內に談判して相場を中止させたが、三百圓の證據金は今日に至るも返還せず橫領したといふのである

岸博士の 別莊燒く

【鎌倉二十七日發】二十七日午前六時半頃逗子海岸にある體育協會長法學博士岸清一氏別莊より發火し百七十坪の二階建洋館を全燒し午前八時鎭火した、博士夫妻は就寢中にて漸く着の身着の儘にて逃れたが損害額十萬圓である

生阿片の密輸

二十七日午前七時頃埠頭第二十九番バース繫留の支那船海平號附近に古新聞に包んだ生阿片を持つた支那人を發見取押へんとしたところ阿片を放棄して何れにか姿をかくした、同阿片は一貫二百匁約四百圓のものである

大連神社月次祭

來る一日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町西通區の氏子役員等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

安樂椅子

太沽沖で支那船日昌號と衝突、鼻ッ端をヒン曲げられた大汽の濟通丸、その傷ついた船姿を治療すべく滿洲ドックに入渠の豫定であるが、これは衝突當時の話。

……◇……

恐ろしい北風で橫かぶりの波濤が物凄い、どうしたのか本船の前方を航行中の日昌號が急にスピードをゆるめたものだ、速度が緩むと急に、船が廻つて本船とT字型になりアハやと思ふ瞬間、本船の首が日昌號に割り込んだのだ、と相手船はいきなり太いロープを濟通丸に投げ掛け引張らうとする。

……◇……

さあそうなると下手したらこちらも大變とロープをバッサリ切斷する、相手船の一連は支那人だ、恐ろしい形相で手に持つたハンマーを投げつけようとする息のつまるやうな死を前にした爭鬪だ、やむなくこちらは拳銃を向けて威嚇した、すると相手船は敵はぬと見て乘客の苦力千名を引取つてくれといふ、そうなるとこちらは日本海員だ、直にO・Kで全部を瞬間に收容、安全な場所に導く、乘組員は當時の物凄い有樣について「あのまゝロープを切らなかつたら恐らく本船も犧牲になつてゐたに違ひない」と云うてゐる

今中の 春の半ゑり大廉賣

浪速町の婦人小間物專門店今中では今回半ゑり新柄の入荷を機とし二十五日より三月一日迄五日間前例なき大廉賣を開始中であるが本年流行の斬新なる意匠と圖案とよりなる半ゑりはキット一般の好評を博することであらう、尙期間中の特價奉仕品や半額見切品は今回の催しを意義あらしめる思ひ切つた特價であると

海と空と (124)

高杉晋一郎作
橋本清史書

明暗(十二)

自動車は隧道を出た。

忽然、眼下に旅順市街が低く展開して見えた。町の向ふには歴史の港が静く眠つて、やゝ速度の増した雪がひら〳〵と港を町を降りこめてゐた。曇つた空を背景に白い表忠塔の姿が右手へ頭を見せてゐる。左は黄金臺の岩壁で、外海の波は可成荒れてゐた。

瑞枝はうつとりと眠さうにその風景を眺めた。温泉地へ着いたやうな氣持だつた。

「ちや、ね。今晩は泊つてもいゝでせう」

影山が甘い聲を出した。

自動車はぐん〳〵坂を町の方へ下り始めた。

「嫌や。今の約束を實行して下さつてから」

「そんな……」

「だつて、それぢやペテンにかけられないでもないぢやないの」

「まだ、僕を信じてゐないんですね」

「そりやさうよ。實行さロとは天地の運びだわ」

影山は默つて了つた。何處までも念の入つてゐる瑞枝だ。それが又彼を一層魅惑するのだつた。彼は思ひ出を甜めるやうに唇を甜めた。

「ね。もう雪も降つてゐるし、私町なんか見たくなくなつたわ」

瑞枝の言葉は急に親くなつてゐた。

「今度は汽車で大連まで歸りませうよ。さうして今夜實行して下さらない?」

「…………」

「ね」

「今夜でなくてもいゝでせう」

「今夜よ。さうでないと貴方はいつ決心が變るか解らないから」

「そんなに僕を信用しないで、何故僕に大切だとやらの唇を呉れたんです」

「だから貴方だつて、今度は私の云ふことを聞いて呉れたつていゝぢやないの」

彼女はそつと左手を影山の背へ廻した。

「ね、ね、」

「驛へ」

影山は運轉手へ聲高に命じた。瑞枝はにやつと右頬だけで笑つた。さうして一層強く影山の横腹を抱いた。

風捲いた傾斜路を快速度でかけ降つて、自動車は田舍びた旅順の舊市街の中へ突き入つた。雪は次第に繁くなつて來た。町の往來は稀なものだつた。偶に通つてゐる人はみな外套の襟を立てゝ身を屈めて歩いてゐた。

小さい旅順の町を縦斷するのは五分もかゝらなかつた。自動車は間もなく驛の前に着いた。

「御苦勞さま」

影山が貨鍛を振ふと、運轉手は恭々しく一禮して直ぐ町の方へ引返して行つた。

二人は驛の待合室へ入つた。瑞枝はつか〳〵と時間表の前に行つて立つた。調べて見ると、大連行の終列車が七時五十八分で、その一つ前のが四時だつた。彼女はその發着の間遠く不便なのに驚いた。然し此の小さい支線の果にさう激しい人の往來もない筈ではあつた。彼女はふと影山の旅順へ誘つた思惑に觸れた氣持でにやりとした。四時ので歸らう、と思ひながら時計を見ると、四時三分だつた。

「あらつ」

ぢやもう出たのだ。彼女は傍の驛員を摑へた。

「えゝ、今出たところです」

「ちや終列車まで待たなくちやならないんだわ」

影山は知らぬ顔で默つて立つてゐた。(それでも終列車で歸らうと云ふだらうか、それとも面倒になつて此處で宿をとつて了はうと云ふだらうか)

「あゝ、約四時間ね」

瑞枝は自分の時計をぴつちり驛の時計に合してから、影山を顧みた。

「それまで何處かへ案内して下さる?」

「歸るんですか?」

「歸りますとも」

けふの放送

大連 JQAK 二月二十八日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二 ▲午前七時 ラヂオ體操第一 ▲午後六時 ニュース ▲講話(六時三十分)「熱河省の自然と宗教」小林胖生 ▲口笛獨奏 一、地に眠れるマッサス、フォスター作。二、私の太陽、カプア作。三、荒城の月 瀧廉太郎作。四、嘆きの小夜曲 トセリ作。西田祐四郎、ギター伴奏荒井壽治、マンドリン助奏 高田秋子 ▲長唄「春秋」唄杵屋榮多賀、同森ぢよう子、三味線小林雪枝、同吉本嫩子

東京 JOAK 二月二十八日

▲ホルン獨奏と管絃樂(六時三十分)新交響樂團練習所より(一)ホルン協奏曲、變ホ長調、モーツアルト作曲、第一樂章アレグロ、第二樂章アンダンテ、第三樂章ロンド(二)交響曲、第四十番ト短調、モーツアルト作曲、第一樂章アレグロモルト、第二樂章アンダンテ、第三樂章メヌエット、第四樂章アレグロ●アッサイ、ホルン獨奏上宮勝、日本放送交響樂團、指揮ニコライ●シフエルブラット ▲長唄(七時二十分)「橋辨慶」唄杵屋勝五郎、三味線同佐三郎、同佐七郎、上調子杵屋佐助、笛梅屋竹次郎、小鼓同金太郎、福原貴三郎、大鼓梅屋左十郎 ▲講談(七時五十分)仇討傳の五「諏訪原仇討」太田貞水 ▲ 段、浄瑠璃丹前時勢、三味線仙龍 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報 ▲支那唱「換太子」唱彼霞、師付王振泉

▲婦人倶樂部(三月號)第一の「流行新型春向き毛糸編み物」が四六判百六十四頁の編物手引書、婦人女學生、小學生、赤ちやんと夫々向々に從つて最近流行ところを念入りに指導してゐる。第二の「顔面用傑作泰西名譜集」五枚、第三の「幼稚園小學校男女兒新型通學服實物大型紙」殊に第三は兒童の入學期に家庭では大歡迎の結構なもの、小説では菊池寛の戯曲を加へ、又實話物でも好讀物である「坂東好太郎苦鬪史」も好讀物である「お母さんと先生の家庭教育座談會」も時節柄重要讀物である。

忽ち六版 滿洲日報經濟部 川島富丸著 滿洲國幣制と大連銀市場 定價八拾錢 送料四錢

内容

一、滿洲國の幣制 ▲新國家の銀本位制採用 ▲亂雜極まる從來の幣制 ▲金本位制に就いて
二、大連の錢鈔市場 ▲銀行の庭で産れ出た取引所 ▲取引所として福となる ▲惠まれた錢鈔信託會社 ▲錢鈔と現物 ▲取引人 ▲錢鈔取引の仕方 ▲銀行と結び付き ▲大連マーチャントの實體
三、錢鈔定期取引の特長と採算 ▲銀は寵物 ▲錢鈔定期の妙味 ▲思惑と鞘取引 ▲論致から大連へ ▲滙申から見た鈔票と安東 ▲營口から大連へ ▲滙申から
四、銀相場の動きと材料 ▲爲替の三角關係 ▲何が銀相場を動かすか ▲上海の標金市場 ▲滙申と滙水 ▲銀塊相場 ▲營口の過爐銀 ▲奉天の現大洋票 ▲滿洲特産と銀 ▲安東の高麗錢 ▲綿糸と銀相場 ▲株式と銀
五、問題の大連銀市場 ▲資本主義の定期閉鎖論や投機停止論の解剖 ▲限界 ▲支那人の貨幣觀念 ▲滿洲國の銀爲替
六、銀の國滿洲と支那 ▲一九三三年のテーマ ▲凋落の銀 ▲銀は貨幣
七、銀の過去と將來 ▲影響 ▲生立ち ▲金の偏在 ▲世界の悩み支那の悩み ▲白銀は踊る ▲黄金に見返られた銀 ▲見られて行く銀の歎き ▲幣制改革と銀の商品化 ▲産原價 ▲銀は何處へ行く

(其の他附錄附)各地書店取次販賣 發行所 大連市紀伊町 滿洲文化協會

八版 川島富丸著 定價壹圓貳拾錢 送料八錢 『寶庫滿蒙は招く』 發行所 東京帝國文化協會

今春の京呉服新柄大賣出し

冬物大投賣 五日間限り 廿八・一・二・三・四日

決算後の大奉仕

此の値!! 此の大見切

◇錦紗小紋着尺 九圓八十錢より
◇西陣正絹御召 九圓五十錢より
◇變り生地繪羽織 八圓五十錢より
◇紋パレス無地上等 七圓五十錢より
◇訪問服及散歩服 十二圓五十錢より
◇繪羽別染長襦袢 十圓より
◇男物正絹着尺 七圓五十錢より
◇銘仙(伊勢崎、秩父) 四圓五十錢より
◇モス着尺地 大見切
◇モス友染(大巾一尺) 十五錢切
◇其他見切品豐富山積
◇白絹・紅絹・奥裏用

特に安い理由

一、現金大量仕入
一、冬物最後處分賣出し
一、良品廉賣―當店の主義
一、平素の御愛顧に酬い度いと存じますから……

春物新柄品 豐富なる内容一例

◎流行逸品陳列會(京都一流問屋特製品)

今春流行の代表的優秀品御一覧御用命の程…

○西陣御召 ○變色白生地 ○變生地小紋着尺
○繪羽織 ○訪問着散歩服 ○多摩、結城
○羽二重地名古屋帯 ○男物高級品 ○變織名古屋帯
○繪羽染長襦袢 ○變地染丸帯

◎御婚禮衣裳の御用意は只今!!

當店は最新柄の帶地を最低値にて準備して居りますから此の度は其の安値のまゝ御奉仕申上ます。

◎裾模樣及び紋付類特價品

◇黒古濱紋付羽織用 十五圓より
◇黒古濱兩妻模樣 十五圓より
◇羽二重紋付重目 十六圓五十錢より

◎儀式用帶地の特價品

◇糸錦唐織丸帯 二十五圓より
◇桐生糸錦丸帯 十三圓
◇其他見切品豐富……

大連イワキ町 田中屋呉服店

滿洲日報
二月二十七日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 横本喜代治　印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

難攻の天嶮に據つて學良正規軍抵抗
塹壕の長さ三千乃至五千米
熱河討伐の最大難關

【大李家屯二十六日發】熱河討伐中最大難關と目されてゐる服部部隊前面に横はる敵の陣地は五線に亘り沙帽山、石屯子、頭道家子、廟嶺、北章營子の陣地となつてゐる、何れも塹壕は三千米より五千米に及び飛行機から偵察するに恐るべき深さを持つてゐる、就中第一線たる沙帽山は天嶮を利用して堅固を極めその守備に當れるは張學良の前衛一ケ團で服部部隊が如何にしてこの難攻不落の陣地を攻略するかは極めて重要視されてゐる

【大李家屯二十六日發】服部部隊の前面に堅陣を敷き大砲、追擊砲を亂射して抵抗して居る孫德荃軍は、學良軍中でも精鋭を誇る四千の完備したる正規軍で、昨秋から熱河の線に出動し本年正月山海關事件起るや、□□口から長城を越えて第一番に熱河に侵入したもので、初め乾溝鎭から凌源一帶に駐屯し、一度は朝陽近く突出して董福亭旅の□を押し、北票一帶を攪亂せしめ日滿聯合軍熱河討伐の報に學良の命により一月下旬頃綏中、凌源街道北章營子に移り、附近の匪軍、義勇軍を使嗾し省境長棚に近い沙帽山の峽谷に陣を進め一帶の住民を總徵發し山谷の兩側山頂に半永久的な堅固な陣地を築城して反滿氣勢を揚げてゐた不逞の親玉である

今曉三時勇躍進擊す
强行軍で前進の服部部隊

【大李家屯二十六日發】二十六日午前八時半先遣隊と同時に綏中を出發せる服部部隊主力は○○へ向け熱河街道を嶮地に强行軍を開始し、本夕六時先遣隊の露營地を距る三里の地點○○に到着宿營した服部部隊長以下北國の勇士意氣旺盛些の疲勞の色も見えない

【大李家屯二十六日發】熱河討伐の火蓋を切り、二十六日午前七時綏中を出發、自動車で延々一里に亘る大縱列を作り、自動車行軍としては嘗て無き難行路を突破せる服部部隊の先遣部隊米山部隊は、關東軍自動車隊櫻井大尉の指揮する軍用自動車で熱河省境を距る○里の地點○○に接近せる沙帽山には天然の要害を利用して作られた第百十九師の孫德荃正規軍の頑强なる第一線陣地あり、本日夕刻より敵の打出す示威的砲聲が斷續して聞えつゝあり、彼我の正面衝突は目睫の間に迫つた、先遣隊將士一同は固唾を呑んで夜の明くるを待つてゐる

【大李家屯二十七日發】敵前眞近に迫りながら夜に入つた爲め已むなく前進停止し夜營した服部部隊主力は二十六日夜來敵陣地より撃出す殷々たる砲聲を聞きつゝ、胸を轟かせて居たが、午前三時全軍○○○へ向け行動を開始した

北平の支那軍續々移動を開始す
山西軍も某方面へ

【北平二十六日發】北平に在つた歩兵第百六師は既に長城方面に移動したが、殘つた主力は二十五日東へ向け移動を開始した、一方山西軍の第六團は張家口に到着、傅作義の歩兵第一團は多倫から某方面に移動した

石河右岸の敵 示威試射

【奉天電話】石河右岸の支那軍は陣地を益々堅固にし關外に向け盛んに大砲、機關銃の試射をなし、實地につく猛練習を爲してゐるが二十六日は午後二時より五時までの間に大砲五十發の試射を爲してゐるさ

軍費二千萬元 學良中央に要求

【奉天電話】二月中旬南京から四百萬元の支給を受けた學良は今回更に二千萬元を正式に要求したさ

茂木部隊夜襲 李海青匪潰走

【新京電話】茂木部隊は二十四日開魯から南進の途中李海青の指揮する兵匪約八百がクリキヨル附近に宿營してゐるのを偵知して夜襲を試みたるに敵は一溜りもなく死體二十と多數の兵器を殘して南方に潰走した、茂木部隊は直に一部を以て敗敵を興隆方面に追擊せしめた

寒天下沙漠を雪を噛んで進軍
意氣旺なる茂木部隊

【開魯二十六日發】一路○○へ內蒙古の沙漠地帶突破の壯途にある茂木部隊は開魯出發以來既に二三日言語に絶する難行軍を續けてゐるが、酷寒の沙漠に寒風を衝いて前進する將士、晝は敵の乘馬部隊を急追し、夜は天幕に安からぬ夢を結んでゐるが、幸ひにも寒風に白雪は氷結して砂塵上らず、將兵は雪を噛んで渴を醫し行軍を續けてゐる、若しこれが溫度上り雪が解けて居れば非常な危險にあつたかも知れない

下窪の敵匪 赤峰方面に退却

【奉天電話】廿六日正午頃我飛行機の偵察によると反滿軍は下窪を棄て赤峰方面に退却中であるさ

千餘の徒歩敵を爆擊

【奉天電話】我飛行機は朝陽より東方鳳凰山並に孫家灣を退却中の敵乘馬隊及び朝陽より西南方飲馬池營子を通過中の千餘の徒歩敵を爆擊し大なる損害を與へた

灤州附近の敵情

【奉天電話】灤州附近の支那雜軍は大溝河、塘沽海岸の防禦に任じてゐる

茂木部隊下窪入城
興隆地から破竹の進擊

【通遼二十七日發】飛行機からの偵察によると茂木部隊は昨日正午興隆地を占領し破竹の進擊をなして午後四時三十分下窪に堂々入城した

谷枝隊進擊

【大李家屯二十六日發】○○○團麾下の谷枝隊は本朝八時服部部隊と行動を共にし、主力の右翼線に沿ひ鄒作林匪軍を掃蕩しつゝ○○へ向つて進擊しつゝあり

經濟封鎖に實力對抗
わが海軍首腦部の態度

【東京二十七日發】海軍省では帝國の聯盟脱退によつて如何なる影響を被るかにつき首腦部で研究中であつたが、取敢ず起り得る諸問題中

一、委任統治問題
南洋群島の存在は海軍の太平洋作戰に最も重要性あり、その主權の所在につき種々の議論あれど、帝國海軍としては主權、我にありとの解釋の下に實力を以て防衛する覺悟だ

二、海軍々縮問題
今日脱退の理由に軍縮會議からも脱退すべしとの議論あれど、海軍はワシントン及びロンドン兩條約に束縛されてゐる關係上聯盟の軍縮事業に密接なる關係を保つ必要あり、引揚げしめず代表を駐在せしめ參加する模樣

三、經濟封鎖問題
聯盟が制裁規定を適用して、經濟封鎖の如き非人道的暴行等、我國に重壓を加へて來た時は飽迄實力を以て對抗すべく萬全の準備を整へてゐる

軍縮に積極協力せず

【ジユネーヴ廿六日發】聯盟に對し政治的非協力に決定した日本が軍縮に對する態度は注目されてゐるが、我代表部は積極的には協力せざる方針で進むに殆ど決定し、政府の訓令到着を待ち堀田公使を殘し松平、長岡、建川、永野四全權は引揚げる模樣である

北平軍事分會移轉準備

【奉天電話】北平の軍事委員會分會は日本軍の飛行機を恐れ西山に事務所を移轉する準備中である

米の態度と聯盟筋觀測

【ジユーネヴ二十六日發】聯盟筋では米國務長官スチムソン氏よりの對聯盟回答は報告書に對し贊意を表しながらも、熱意を缺いてゐなり豫期せし內容には遠いものとしてゐるが當地アメリカ筋ではスチムソン氏の回答が斯くの如く見えるはス氏の所謂尊法主義の精神に基く結果に外ならぬといつてゐるなほ所謂札附の聯盟主義者等は聯盟が直に報告書の結論實行に移りアメリカに對し諮問委員會參加を要請すれば、アメリカは必ずや右要請を受諾すると見てゐるが、自重主義者等はなほ信じて居らぬ、なほまた聯盟筋一般では米政府としては政府更迭期切迫の折柄、この際對日關係を更に惡化せしむることを避け危險を冒さずして、しかも聯盟の政策に合致する方法を見出さんとして努力してゐるのだとも見てゐる

米の對日抗爭は馬鹿らしい事だ
聯盟は支那の手に乘つた
パリで松岡代表語る

【パリ二十六日發】昨日當地着の松岡代表は今日記者團に左の如く語つた

アメリカが遠隔の滿洲問題に對して日本と爭ふ事は全く馬鹿らしい事だ、聯盟の行動は故意に支那の手に乘つたものであり、滿洲國に對する日本現在の立場が如何なるものにせよ、日本が庇はなかつたらロシアは滿洲に手を伸ばし、日露戰役、皇軍十萬の戰死者は犬死となつたであらう

澤田局長等 廿六日壽府出發

【ジユネーヴ二十六日發】澤田帝國事務局長以下五名は二十六日午後十時四十五分ジユネーヴ發歸國の途に就いた、之で聯盟代表の首腦部引揚げは完了し殘るは情報部のみとなつた

伊藤審査役

滿鐵審査役伊藤武雄氏は今秋の太平洋會議に關する資料蒐集のため二十七日大連丸で上海に向つた、豫定は約二週間で上海、青島、北津を視察する筈

香港丸

二十八日午前八時二十分大連港外着豫定

人事

▲野村廉治郎氏（大連中央郵便局小包郵便課長）今回吾妻橋郵便局長より轉任したるに付挨拶のため二十七日市內各方面歷訪
▲平川高市氏（關東廳警部、警察官練習所教官兼警務局刑事課勤務）新任挨拶のため廿七日來社
▲泊武治氏（大阪府內務部長）廿七日午前「はと」にて北行
▲關鐸氏（四洮鐵路代表）同上
▲石本鏆太郎氏（市會議員）同上
▲石本憲治氏（滿鐵總務部長）廿七日午前八時着列車にて歸連
▲中西敏憲氏（滿鐵地方部長）滿洲醫大評議員會出席のため二十四日夜赴奉
▲市川健吉氏（滿鐵經理部長）同上
▲千種峰藏氏（滿鐵衛生課長）同上
▲有賀庫吉氏（滿鐵學務課長）同上
▲粟屋秀夫氏（滿鐵審査役）同上

米岡旅順市長 兼業許可

二十六日願書を提出してゐた米岡旅順市長辯護士業務並びに會社監査役就任認可の件は二十五日付で辯護士事務補助員を雇傭する條件の下に許可され、至急これが届出をなすべく二十七日直に監督官廳よりこの旨示達した

北支那政權把握の機會を狙ふ馮玉祥
反蔣分子と結び暗躍

各方面の情報を綜合するに蔣介石がこの國難非常時に氣になるのは漸次南支の富源を蠶食する共產分子の擴大と反蔣分子の中堅を成す南方廣東派と北方馮玉祥一派の向背である、曩に容易に動くまいと案じた段祺瑞が老の腹心であり安福派の智囊である、現華北政治分會委員である王揖唐の勸誘により易々と南下した、それには學良と王揖唐との間にそれまでに充分下相談が出來て居つた事は、曩に班禪喇嘛金剛法要の際に老段以下入京し、王氏のみ久しく滯京した頃からの計畫であると察せられる

王は曩に老段南下の際隨行を望まれたが「多數の南下は世人の疑惑を招き殊に自分が政治的野心あるの疑ひを招き易い」と遠慮したが、蔣、張、段を結合せんとする時局に相應しい芝居の作者の片棒を擔いだ王であるとすれば、この際王の南下は當然で、其筋書の如何は北支政局に面白き波紋となつて現れるやうに思ふ、安福派がこの非常時に賣國奴の汚名から抜け出すには絶好の機會である、同時に相當乾燥した處所に潤ひを與へることも好機會である、それには天津で念佛を唱へたり、打球ばかりやつては居られぬ、吾光新の如きは張宗昌の合肥を擔いで山東に旗幟を建てた事のある人物である、國難非常時に割込まなければ遂に機會は來ないことを能く承知して居るものと考へる、斯くして安福派の活動は必然である

老段の南下によつて華北における第三勢力の一角は崩されたが、吳佩孚は北平に軟禁されて、何うにもならず、七言絶句に鬱憤を紛らして居る有様、舊部下たる于學忠等も今日の場合反中央で詰め腹を切る愚を學ぶ男でも無い、山西の閻錫山も河南、山東で失敗してからうつかり御輿に乘る程の歳でも無く、特に事變以來の山西の窮迫はお話にならぬ、□□で軍政費の調達に□□□□□□□□がある、故に現下蔣介石の最も警戒□味深く注視するのはあらう馮玉祥である、無力に見える馮玉祥は袍を纏うて苦力頭よろしくの姿で南京に乘込み、匙を投げて西北に頑張り西北軍を率ゐて中央軍に對峙した深い因緣があり、今日部下軍隊を手離して隱遁生活を續けて居るが其存在は何んといふても侮るべからざる底力がある、蔣介石が王法勳や李山谷を態々張家口まで送つて、南下を口說く處に蔣介石の苦心があるが、馮玉祥は頑として應じない

北方政權の動搖は必ず馮玉祥の躍進を促す事は必然の大勢である、彼の舊部下は山東の韓復榘を始めとし、宋哲文、孫殿英、龐炳勳、高桂滋、劉鎭華と何れも現在華北軍事の重要な役割を擔當して居る、曩に山東戰爭において中央軍は韓復榘を窮地に陷さんとしたが果さず結局馮玉祥の泰山下りさへ劉珍年の福建移駐を交換問題としたやうな形で山東は完全に韓の縄張下に屬する事となつた、泰山下りの馮玉祥は綏遠の宋哲元の許に身を寄せた、蔣介石は學良に移牒して、馮を綏遠から不毛の沙漠に追はんとして宋哲元に「主席と馮とは何れを選ぶか」と難問題をかけたので、宋哲元は憤慨し主席辭任を申請して入津した事がある、此等の經緯が氷解されても宋哲元は學良政權の顚覆に殉ずる愚は爲さない

目下此等の舊西北軍約十萬は滿洲から喜峰口にかけ河北省境に集中され、戰鬪力も充實されてゐる、山東には六七萬を有する韓復榘が頑張り、山西には一脈通ずる山西軍が控へてゐる、蔣介石の心配よりも包圍の姿勢にある學良と東北軍の心配の方が更に偉大である、中央も學良と馮玉祥の說得に大童なる所以も此所に在る、宋子文今次の入平も何とか馮玉祥を買收せんとする重大使命を帶びた事は勿論であるが、廣東と遙かに呼應する馮玉祥は、抗日と反蔣とは全然別個の問題と考へ國難を私紀にする蔣介石や學良の口說きには頑として應じない處に面白味がある

先に學良が張樹聲、李興中の兩人を馮玉祥の許に派した、勿論蔣介石からの依頼もあつた事は當時の消息で判定されるが、其際も馮玉祥は極力入京を固辭して次の如き返書を學良に送つてゐる

張、李兩同志から委細の來意を承はり、且つ鄭重な介石先生の意中を轉達された書面を接手し誠懇敬佩無量の至りである、旬日前も介石先生から同趣旨の書面を託送され、赴京を促されたが、其際も眞に抗日を遣るならば無論勸められるまでもなく赴京し、抗日に何の異存も無いが撫順關守を失して以來の狀況は藩籬を既に失して其實手痛く□□に及ばんとし、現下の時局を救ひ亡國の恥を免がれる途は、唯最後の武力に頼る外無い、故に曩にも中央の招電に答へた時に軍事準備十二條を建議し、其內には前方軍隊のため巨額の軍費を準備し彈藥の補給充實を計り兵站部を設置し運輸を迅速にし且つ防寒衣服を至急調製し之を前線軍隊に配給する事が急務である事を述べて說いた、貴兄は華北軍事の重責を負ふ立場よりする此際此事項は是非共介石先生に傳達し直に實行して貰ひたい、同時に速かに有力な大軍を派遣して先づ第一に山海關を奪回して貰ひたいと傳言して貰ひたい

叙上の信書から馮玉祥の肚を窺ふと、既報の諸氏と共に一層明瞭に蔣介石及び張學良の今日迄の態度に憤慨を抱いて居ることが解ると共に、容易に南下の勸誘に應じない決意が窺はれる、卽ち前線軍隊の實力を充實するため財政的に充分な援助を爲せといふことゝ、中央が有力な部隊を北上せしめ先づ山海關を奪回しろ、然らば自分も赴京するといふのである、蔣介石が國難抗日を提唱しながら漢口南昌の行營に身を引いて剿匪を口實に責任を回避し、軍資兵器の援助を爲すと稱して一向に金も送らず、一臺の飛行機も南から北に飛ばないし一兵も北上せしめない、馮玉祥が蔣介石の眞意を疑ふも無理はない、寧ろ中央を頼むより時局の變化に應じて華北の實權を握らんと考へる事が當然であり、蔣介石張學良に飽まで對抗せんとするは今日までの兩者の關係から歸納しても判る話である、此間宋子文が學良と如何に對策を講じたか軍費の用意は充分で一切の手配は附いたといふたであらうが山海關の奪回が不可能の注文である、此一言に馮玉祥の面子とその肚裡を推見する事が難くない（寫眞は馮玉祥）

承德、凌源大混亂
住民續々避難準備中

【錦州二十七日發】日本軍の熱河大討伐の報一度傳はるや承德は大混亂に陷り、早くも湯玉麟の一族は北平に逃亡し、市民中の富裕階級は續々避難準備中で、市民等も早く滿洲國王道の光に浴せん事を要望し、目下湯玉麟に降服方を懇請してゐる、凌源市民も亦極度の混亂狀態に陷り駐屯部隊の降服又は凌源退出を要求してゐるが、暴虐な支那兵は退出經費として百萬元を要求してゐる

滿洲國軍の行動果敢にして攻勢
各方面とも着々奏功

【新京特電】滿洲國の討熱作戰がその後着々として各方面に功を收め多大の好評を受けてゐるがその陣容は大體において左の如きものである、卽ち右軍は南北二集團に別れ、北部集團は三個の軍と一の獨立旅團から成つてゐる、元よりその內容は嚴秘に附されてゐるが、最北方に位置するものは最近學良政權を見限つて歸順した劉桂堂の率ゐる護國遊擊軍で兵力一萬六千を擁して魯北方面より行動中で、その南方には張海鵬將軍の直接率ゐる洮遼軍○萬○千及び程國瑞中將の建國第二軍が○○方面及び○○方面より行動してゐる、又一獨立旅は李壽山將軍の率ゐるものでその駐屯地たる安東より○○方面に移動しつゝあり、以上諸軍中洮遼軍と建國第二軍とは前敵總司令張海鵬將軍が統一指揮し劉桂堂の護國軍と李壽山部隊は張海鵬の部署下に置かれてゐる、これ等北部兵團は去る二十三日風雪を冒して兵力未集結にも拘らず敢然攻勢に出で、又南部兵團たる丁强の率ゐる救國遊擊軍も既に○○方面省境に集結を終り、前進を開始した

蛇角

◇帝國政府の陳述書公表さる、古今未曾有のデッカイ三下り半だ。
◇松岡全權の胸の透くやうな啖呵も、これで一層光彩あり。
◇斯くて、光榮ある孤立に、日本の緊褌愈々引締るは愉快。
◇一方聯盟は、今や米露招請に汲々、自らの無力を立證すべく。
◇また支那は、聯盟熱と熱河マラリヤに冒され、漸次重態に陷る。
◇憐れむべきの好一對。
◇三原山自殺が新時代の流行病となる、自殺名所も淺間山、華嚴の瀧はモウ舊い、と。

東天紅（7）
田中純作　林一三畫

女友（一）

相良と言ふ妙な青年に會つた翌日、神田康造は、三日目ぶりに、丸ビル五階の彼のオフィスに出かけて行つた。

彼はまだ三十五歳の若盛りだつたが、小資本ながら、兎に角、日東漁業會社と言ふ、相當に名の知れた會社の、社長の椅子を占めてゐた。無論、これは、彼が獨力で築き上げた地位ではない。親の光りは七光り——と言ふ、その幾つかの光りの一つが、若い彼を輝かせて居るに過ぎないのだ。

實際、彼の父は、實業界の長老として、明治、大正の日本を切り廻してゐた人物であつた。早くから保險業に目をつけて、この國最初の生命保險會社を創設したのを手始めとして、紡績業、炭業、製鐵業、北洋漁業など、あらゆる新企業を開拓したのが彼である。その勳功によつて、彼は、晩年、男爵の榮爵を授けられたほどであつたが、しかし、その割に彼自身の財產を作ることには恬淡であつた。彼が死んだ時、世間では、少くとも數百萬圓の遺產があるだらうと噂してゐたが、實際には、僅かに十數萬圓の現金と、二三の小會社とが殘されてゐたに過ぎない。この日東漁業なども、その遺產の一つだつたので、康造は、大學を卒業するとすぐ、その社長の椅子に就いたのであるが、勿論、それは形式だけのことである。會社の實務の大部分を、父の代からの專務に任せて、彼はただ時々、盲判を押すために、社長室に顏を出すに過ぎないのだ。

その日も、康造は、午後の二時近くなつて、漸く鎌倉からやつて來た。社長室に納まると、すぐ專務の毛利や、會計課の鹽田が押しかけて來たが、一時間もすると、みんな引き上げて行つた。

「さて、これからの時間をどうしたものだらうな」

一人になると、彼は、ぷかりぷかりと煙草を吹かしながら考へた。實際、彼には、オフィスでのかう言ふ時間が、退屈で退屈で仕方がないのだ。料理屋や待合に行つて酒を飲むには時間が早すぎると言つて、まさか、晝日中、倶樂部に行つて、麻雀をやるわけにも行かない。

「なるほど、かう言ふ時に、妾宅でもあると便利なのだな」

彼はふと、これ迄考へたこともないそんなことを考へ出した。

「好きな妾でもあれば、呼び出して芝居見物と言ふ術もあるし、妾宅に行つて一風呂浴びると言ふことも出來るし……」

考へて居るところへ、コツ〳〵と扉を叩く音がして、給仕の少年が入つて來た。

「御面會でございます」

給仕がさう言つて、差し出した銀盆には、小さい女用の名刺が一枚載つてゐた。

「大貫晶子！」

康造は名刺を取り上げたが、こんな名前には心當りがなかつた。

「どんな女だい？ 待合の勘定取りか何かぢやないのかい？」

「いえ。まだ若い、立派な御婦人でございます」

「俺に面會したいと云ふのかい？」

「はア、神田さんはおいでになりますかと云つて、昨日もいらツしやいましたですが」

「ふうむ」と言つて、康造が、心當りを考へて居る時、

「何でも、以前は田中さんと言つてゐたとおつしやるんですが」と給仕が言つた。

「田中晶子！ あゝ、さうか」

言つた時、康造の心に、ぱツと明るい光りが差し込んで來たやうな氣がした。

「それなら解つて居る。すぐ此處へお通しして呉れ」

「かしこまりました」

熱河討伐の北方部隊に 機上から防寒具投下
北票鐵道は連日運行

【新京電話】關東軍司令部發表

一、軍は熱河省北部に行動する部隊のために飛行機より部隊所要の防寒具を投下し將兵の保健に萬全を期してゐるが、蓋しこれは北方作戰における劃期的の計畫といふべきものである

二、軍が曩に占領したる北票鐵道の補修は既に完成し連日列車を運行せしめつゝあり

三、報告によれば朝陽の住民は我軍に滿腔の信頼を捧げ民心安静にして市内の秩序は相當に回復せり

通遼開魯間 交通連絡

【通遼二十六日發】日滿聯合軍の開魯入城によつて通遼開魯街道の交通連絡は完全に恢復し乘合自動車も二十六日より開通した、同時に通遼市民も俄然活氣を呈し商人は續々開魯との取引を開始し何れも皇軍の恩澤に滿洲國王道の光に心から感謝してゐる

感謝激勵電が殺到
關東軍司令部の感激

【新京電話】滿を持して放たれし軍の熱河討伐開始に當り各方面より軍司令官に對し盛んに感謝激勵電が舞ひ込んで來る、軍司令部ではこれ等國民の熱誠なる後援に感激し一層期待に副ふべく決心してゐる

支那駐屯軍司令官來電
熱河作戰發起に際し貴軍の光榮ある活動を祝し赫々たる御戰捷を祈る

埼玉縣川越市會
本市會は現下の國難に處し皇軍將士の御心勞に滿腔の謝意を表し併せて一層の御奮勵を祈る

第十師團管内郡市青年軍人聯合協議會
將士各位の御苦勞を感謝す、益々國家のため御健闘を祈る

山形縣荒砥町々會議長
本朝來滿洲北の野に轉戰し頑強なる匪賊を撃攘して偉勳を奏せられたる將兵各位の勞に對し謹んで感謝の誠意を表すると同時に新局面の轉回に一層の努力あらんことを祈る

呉市民大會
我等は擧國一致國防を充實し經[illegible]

少女も參加し 宣撫員が出發

【錦州二十七日發】我軍の熱河討伐と共に滿洲國では多數の政治工作員を派遣し熱河省宣撫に當らしめることゝなり昨午後〇〇の出動に從ひ四十名餘の宣撫員が出發したがその中には十三四歳から三十歳前後の婦女子十四五名が參加してゐるが彼女等は蒙古の商人が張學良の宣傳に迷はされるを救ひ出さんとの念願から從軍を願出たもので稚兒髮姿の少女の出發に感激された

滿機構を調制し耐久自衛以て艱難に當らんことを期す、茲に謹んで將兵の勞苦を感謝す

干渉せぬが 募兵は許さない
新興定國軍に對する 滿洲國軍政部の方針

【新京特電】最近定國軍と稱して滿洲國内において諸所で募兵するものがあるが、各方面ではこれに對し多少の疑惑を持つに至つたが滿洲國軍政部では全然これに關與してゐない旨を前置きして左の如く語つた

元來定國軍といふのは熱河省内の民衆の手により組織せられたるもので多年湯玉麟の暴政に泣いた省内の自衛團や民團が昨年[illegible]に干渉してゐない、たゞ滿洲國各地で定國軍の名において募兵し新軍を造るが如きは絶對に許してゐない

新鋭驅逐艦 初春進水
全部鋲無し

【佐世保二十七日發】軍國多事國を擧げて緊張の折柄我海軍建造の造艦技術の最高峰鋲無し一等驅逐艦初春は本日午前十時の滿潮時を期し臨場者觀覽者二萬の盛んな拍手裡に佐世保海軍工廠で見事に進水した

同艦は總噸數千三百八十噸、全部電氣鎔接で造船技術では世界に冠たる我海軍が精根を盡した最新武絶大の機能を有する、非常時日本海軍の一大威力で斯界の權威山本英輔大將は態々西下臨場した

來湯玉麟政權打倒を計畫してゐたが日滿軍の熱河經略を傳へ聞いて自力で合從連衡を策しその代表李鎭九が執政の近親で蒙古王族ジャルジャップ夫人たる川島芳子(金璧輝)を總指揮に擔ぎ上げて日滿のため捨身を覺悟しすつかり滿洲ジャンヌダーク氣取りで活動してゐるが滿洲要人間には之に關して兎角の言をなすものもある、然し民衆自らの力と金でやることであり滿洲國軍に協力しようといふのであるから滿洲國軍政部としてはこれ

軍官候補生募集 志願者多く中止
昨年度は約百名採用

【新京電話】昨年來日本在滿軍人を滿洲國軍官候補生として採用する事としたが熱河問題紛糾以來志願者激増の有樣で國際聯盟脱退等日本の決意愈々牢固たるものあり國際間の雲行漸く穩かならぬので帝國在滿軍人の意氣益々高く滿洲國軍政部の係りの机の上にはこれ等志願者の願書や履歴書が毎日堆高く積まれるやうになつた、昨年度は約百名を採用したのだが斯くも多數應募するとは思はなかつた軍政部では友邦青年の意氣に感激しつゝあるも一面些か面喰ひあためて根本問題から考へなほさればならぬとし今後一時その募集を中止した

滿鐵が空家探し
鐵道移民團の來連で

鐵道省より滿鐵に轉ずる鐵道移民團の第一班百九十名は家族を合して五百名の大一座をなして二十八日の香港丸で來連するが、つゞいて三月中旬までに全部で約五百家族が來任するので、この宿舍を如何にするか、住宅係と鐵道部人事係ではその對策に腐心してゐる

二十八日來連の分は取り敢へず現在空いてゐる社宅と、舊社員中に[illegible]希望者を轉出せしめて全部を社宅に收容することが出來ることゝなり一ト息ついたが第二班以後は結局大連に約百五十家族を、殘り約百戸は沿線に貸家を見付けてやらればならぬので、人事係では目下手別けして大連市内に貸家探しを行つてゐる

現在大連市内に空家は約千戸といはれてゐるが、その内廢屋が相當あるので住むに堪へるのは約五百戸であり、更に滿鐵の希望する二十圓臺で三間程度の住みよい家となると空家が極めて乏しく、結局この程度の家の家主は有卦に入つて仲々の鼻息である

なほ大連市内は結局主として單身の者を收容し、他は主として[illegible]德街沙河口方面に就宿させることゝなるらしいが、沿線は機關庫移轉以來、街が淋れ空家の多くなつてゐる遼陽に約七十家族を置き、その他は沿線各地に二三家族づゝ分宿させる筈である

妙齡の美人が 阿片を密輸
邦人密輸團を檢擧

支那人婦女子の腹に阿片を捲きつけ、大掛かりな密輸を計らんとしたエロ新戰術も水上署員の警戒網に引掛つてその後しばらく密輸らしいものを見なかつたが

二十七日午前十時天津より入港した天潮丸乘客中擧動不審の日本人二名を發見取調べると高橋稿行(四〇)五島猛(四五)にて支那人婦人に倣つたものか約二貫宛の阿片を袋に入れて腹部に卷きつけてゐるのを發見したところが兩名と共に天津より來連した中間トシ子(二〇)河野綾子(二〇)の二女性もこの密輸に關係あり男達が引張られたのでそのまゝ足を轉じて埠頭待合所西田食堂に入り不敵にも食事をなしためてゐたが追駈けた水上署員が「一寸來い」と云ふと「何ですか失禮な」と許り却つて食つて掛かる始末、有無を云はせず本署に連行、取調べると所持の毛布三枚に阿片を二貫目づゝ縫ひ込んで居るのを發見した合計十四貫約五千圓

女は大島などを着流した凄い程の美人で係員も不敵な態度に膽を抜かれた形、目下連類者多數の見込みで調査中であるが密輸系統は天津で仕入れて奉天迄持つて行く筈であつたと、目下熱河問題で滿洲における阿片は恐ろしい値上りを示してゐる

酌婦を絞殺 加害者は馴染客
今曉、奉天の柳町で

【奉天電話】二十六日夜奉天柳町十番地料理店金波樓抱酌婦小千代ことを赤間すみ子(二二)の許に登樓した同人の馴染客福岡縣生れ中島英一(三三)が就寢中口論の末二十七日午前四時頃兵兒帶をもつてすみ子を絞殺し二十七日朝七時奉天署に自首し出た

中島は昨年十月より小千代と馴染を重ね夫婦約束までしてゐる仲で目下奉天署司法係で取調中原因不明であるが痴情の果と見られてゐる、なほ小千代は昨年二月前借四千六百二十圓で京城より鞍替して來た者である

鶴見氏の大熱論

世界の旅より歸りし新歸朝の鶴見祐輔氏が世界の狀勢と日本の將來を語る大演說『雄辯』三月號に發表、萬人大感動!

擊劍道具を 擔いで泣き込む
武者修行の夢を抱き 廣島から來滿した二少年

擊劍道具を擔いだ甲斐々々しい姿の二人の美少年が二十七日午前十時ごろ大連署に出頭「どうか内地へ歸して下さい」と見掛けによらぬ弱音を吐いて泣き崩れた

少年係三牧刑事が取調べると廣島市愛宕町傘商太田秀吉方の店員佐伯寓章(一七)と同市稻荷町建具商後藤錄一方店員圓山秀夫(一六)の兩名で今度の滿洲事件で皇軍の奮戰狀態を新聞で知つて小さい胸を躍らし、砲煙彈雨の巷で擊劍修行をして身を立てようと今樣宮本武藏を志ざし佐伯は去る十七日主人の金二百圓を盜み出し同志の圓山を誘ひ出し、佐伯は擊劍道具一式を擔いだまゝ門司からうすりい丸に乘船

二十日大連に上陸しその日の夜行で奉天へ足を延ばした、的もなく行者も零下十餘度の極寒に驚へ上り一泊もせずに再び大連へ舞ひ戻り、市內浪速町三杉旅館に投宿同志の圓山が擊劍道具を持つてゐないので連鎖街岩下劍道具店から三十八圓で一式揃へて買求め、吉川英治の「貝殼一平」などを讀みふけり、すつかり武者修行を氣取つて三日間を過したが、二百圓の所持金が無くなつたので三杉旅館を出て社會館に轉げ込んだ、ところが飢ゑと寒さに耐へ兼ねて現實の夢から醒め大連署に救ひを求めたものと判つた

同署では擊劍道具を岩下商店に返して現金に替へこれを旅費に原籍地へ送還することゝなつた

女給の結婚詐欺
新京景氣に僅か三十六圓

滿洲景氣に浮れてゐる新京の建築屋さんが僅か三十六圓の結婚詐欺にかゝつたと、叶はぬ戀を二十七日大連署へ訴へ出た

告訴人は新京北門外東五馬路公園町建築請負業池谷愼太郎といふ人、元大連市信濃町ブラヂルカフエーの女給で現在新京某カフエーに働いてゐる三好ウメオだので、告訴人は獨身であり、渡りに舟と二十圓を女に手渡した、ところが同日夕刻女は男を訪れ大連ブラヂルカフエー女給千代子が打つた「母危篤すぐ歸れ」の電報を示し二日間の暇を呉れといふことに、それを信じ旅費十六圓と毛布一枚を貸し、その夜女は大連へ出發した

然るに其後女は新京へ歸る樣子もなければ、手紙を出しても返事すら來ぬといふので、初めて裏切られたと知つて憤慨し「獨身を奇貨として結婚詐欺を企てたものである」云々の告訴狀を大連署に提出したもので司法係小川部長はウメオを呼出し取調べることゝなつた

埠頭構内で密輸の支那人が 十圓札をボンと投げて逃亡

二十六日午後埠頭監視人長田長次郎氏が構內取締中自轉車に乘つた支那人三名が同氏の姿を見て急に逃走せんとしたので追駈けたところ十圓札をポンと放りつけたまゝ何れにか姿を晦した、一味は砂糖の密輸を計らんとしたもの、如く長田氏は水上署に右十圓を屆出た

(三〇)が去る八日告訴人の友人船藤某を仲介に「結婚を條件に二十圓貸して下さい」と申込ん

傷病兵旅順へ

遼陽衛戍病院で加療中であつた名譽の傷病兵五十八名は二十八日午前七時着列車で來連直に同七時四十五分發列車で旅順衛戍病院に向ふが不日故國へ凱旋の筈

從來六十二名の常任評議員を囑託しこれを總務(九名)庶務(七名)經理(六名)會務(七名)宣傳(七名)出品(八名)工營(八名)警衛(十名)に分ち部署を決めたが二十七日午後一時から市會議場において、これが第一回常任評議員會を開催小川會長の挨拶に次いで經過の報告あり、品田事務長から博覽會實施に關する說明あつて後右分科會に關する事務の統制、連絡その他の打合せを行つた

我等の滿洲號一機 空中衝突して燒失
編隊戰鬪の訓練中に

在滿同胞祖國愛の結晶になる愛國第六十三號機は十二月初旬新京飛行場に於て命名式を擧行、以來荒蒔少尉の操縱により

感謝

飛行を行ひ大連の上空にもその雄姿を現し市民を熱狂せしめたが同月十日關東軍飛行第〇隊に配屬してからは北滿の兵匪討伐に協力し或ひは空中より敵彈に[illegible]した外一意專心所謂明日の戰鬪準備のため空中戰鬪または空中射擊等の訓練に寧日ない有樣であつたが一月九日最も壯烈なる編隊戰鬪訓練中に惜しくも僚機と衝突し〇〇飛行場東北方に墜落燒失した

實戰

愛國六十二號機は第〇隊に配屬北滿の空に於て空中戰鬪射擊等を始め極寒地に於ける特殊の訓練に從事してゐるが六十三號機の不幸に關し陸軍當局は左の如く語つた

空中戰鬪の眞相はお話申上げても一寸御想像願へぬかと存じますが要するに空中の訓練は殆ど實戰と異る處なく如何に注意するも或程度までは危險を豫期せねばならぬ、戰に勝たんが爲めには止むを得ない貴い犠牲である、優秀な操縱者と各位御熱誠の結晶とに對し「死場所」を與へられなかつた事は返す〲も殘念でなりません、併しながら其機は永久に北滿の地に在りて護國の神となる事を信じます私等一同彼等の冥福を祈ると共に層一層努力をし以て各位の御期待に副ふ事を覺悟して居ります【寫眞は愛國機第六十三號】

公報

二十七日この納飛行機中央委員部たる大連市役所に達したが委員長たる小川市長は暫し在りし日の寫眞に見入り靜かに默禱を捧げる處あつた

進水式
けふ遼河丸 營口署警備船

遼河警備用の營口警察署所屬船は大連濱町滿洲ドックにおいて建造中であつたがこの程竣工、二十七日午前十一時より同船渠大連工場にて進水式を行つた、關東廳より林警務局長、森本警務課長等出席營口よりは寺田署長等受取のため來連列席した、特に船名は遼河警備になぞらへて「遼河丸」と稱し全長五六呎四十五噸デーゼルエンヂンの鋼製艇、步砲兵機關銃を備へてゐる【寫眞は進水した遼河丸】

滿博評議員會

大連市催滿洲大博覽會では官廳方面、市會議員、區長、市內有志等

武藏温泉火事

【福岡二十七日發】今朝三時過ぎ福岡市外武藏温泉に火災あり強風に煽られし火は忽ち池田氏別邸等の大建物を燒き午前五時鎭火したが同所は大厦高樓櫛比せる温泉場中央旅館街のことゝて大混雜を呈した損害約十五萬圓

宮城豐彦氏

宮下木廠代表社員宮城豐彦氏は二十六日正午急病にて死去、葬儀は三月一日午後四時明照寺において執行

天氣予報 廿八日

北西の風曇驟雪模樣後晴

各地温度 二十七日午前十一時

地名	温度	地名	温度
大連	五	奉天	零下一
旅順	五	新京	同一一
營口	二	新義州	同五

暴風警報 風強かるべし二十七日午前十時遼東半島附近を警戒す

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一二五圓六〇錢

平山蘆江氏作 善鬼悪鬼 明日の夕刊から連載

熱河討伐の第〇〇團主腦部

家庭

桃のお節句料理
愛しいお嬢ちゃんの爲に

桃の節句が近づいた、今年は東洋流にいふと酉年で、雛さは最も緣故が深いといふのは、雛祭の雛は「鷄のひなのやうに可愛らしい」との語源から來てゐるといふのです、また西洋流にいつても今年は一九三三年で雛祭の三月三日に相適するとの事で、日本でも西洋でもまさに雛の當り歳といふわけです、それに世はインフレ景氣だと來るので今年は特に盛大な雛祭が全國的に、否全世界的に祝はれやうとしてゐます、で今日はお雛祭にふさはしい美味しいお節句のお獻立をお傳へしますから可愛い嬢ちやんの節句に拵へてテーブルを賑はして下さい

一、椀（福包みかぶら 早松茸 結竹の子、木の芽）
二、鉢（鯖白酒燒 あんず甘煮）
三、中皿（榮螺壺燒）
四、皿物（菱餅、玉子）
五、口取（糸掛青豆有平糖 手鞠眞蒸 源氏蛤）

椀 材料＝天王寺かぶら一個松茸三本、筍一本、木の芽少々、玉子十五、鹽少々、鰹煮出汁、醬油

筍は茹でたら大きいところを桂むきにしておき、松茸は縱一分位の厚さに切り、一度茹でゝ後下煮をする、次に福包みかぶらは上等の天王寺かぶらを求め三寸位の大きさに皮を剝き菊の花瓣形に薄く切り少々鹽を撒き水洗ひして玉子を包み干瓢で括り、それに煮出汁一合、鹽小匙一杯加へて下煮をします、玉子は煮出汁五勺と砂糖小匙一杯と醬油一勺を入れよくかきまぜてなたね玉子の樣に煮て用ゐます、鰹節の煮出汁五合に鹽小匙一杯、醬油少々であつさりと淸し汁を拵へ、椀に福包みかぶら、松茸結び筍を入れて淸し汁を注ぎ、木の芽一ひらを入れて供します

鉢 材料＝鯖六切、白酒五勺味淋一合、杏十五、砂糖

鯖を適宜に切り、少量の鹽を撒き一時間位經つて鹽を洗ひ落し、味淋に半日位浸けて後金串に刺し半ば燒けた頃白酒を塗り、さつと炙り、串を拔き、杏二個を盛り合はせます、杏甘煮は干杏を三十分位蒸籠で蒸し、水と砂糖でとろ〳〵になるまでとろ火で煮ます、食料紅を少量使用しますと鮮かな色になります

中皿 材料＝サヾエ大二十、殼四、米五合、青豆少々、紅生姜、筍、椎茸、煮物に烏賊、海苔、鯖の殘、車海老三尾、酢一合、蓮根半本

サヾエを三、四十分間茹でて水に取り、肉を薄く切り酢に浸け殼の中は綺麗に掃除しておきます、烏賊は短册烏賊と同樣にして鹽を撒き暫く經つて水洗ひし縱口端から卷いたまゝ金串に刺し炭火で燒き上げ、小口から薄く切つておきます、筍、椎茸は煮物の殘りを用ゐ外に鯖、玉子その他殘りの物を細に切ります、蓮根は小口から薄く切り水に酢を加へた中に入れてさつと茹でて更に酢三勺、鹽ひ、暫くして酢少々を加へた鹽匙一杯を加へ攪き混ぜながらつけます、海老は茹でて皮を剝ぎざつと酢に浸して斜に切ります

次に米五合に水五合を入れ煮出汁昆布を適當に切つたのを入れて煮上つたところ昆布をとり出し蒸れたら酢五勺、砂糖二杯、鹽一杯（何れも大匙）を入れて攪き混ぜ、充分冷まして蓮根、筍、椎茸、青豆榮螺の一部を混ぜて殼に盛り、その上に切つた烏賊、もみ海苔をのせてお皿に盛り、紅生姜を線に切り、桃の葉をあしらつて供します

皿物 材料＝玉子十五、人參一本、赤唐辛子三本、グリーンピース三分の一罐砂糖少々、酢五勺、鹽少々

玉子を茹で皮を剝いで黃と白を別々に裏漉にかけグリーンピースも裏漉にかけておきます白身に砂糖大匙二杯と鹽少々を混ぜ布巾に包み、固く搾つておき、黃身の方は砂糖大匙一杯を混ぜます、白身は二分してその一方にグリーンピースの裏漉しした物を加へ三色とします、次に濡布巾を固く搾り板の上に擴げ黃身を三分位の厚さに四角に固く平に押しつけて後白身、綠の順序で黃身の上に同樣に押しつけて、蒸籠で十五分間蒸して適宜の菱形に切ります

口取 材料＝青豆、寒天三本、玉子、蒲鉾用魚肉百五十匁、蛤大六、砂糖味淋煮出汁、鹽、紅粉、三色紙

▲青豆有平糖＝グリーンピース三分の一の罐を裏漉しにかけ次に水七合に寒天を入れて火にかけ溶けたら砂糖を大匙山盛十杯入れ、文火で二合位になるまで煮詰めて裏漉青豆を擂鉢で擂りながら前の寒天を徐々に加へ混ぜ流箱に流し、充分冷まして固めます

▲手鞠眞蒸＝魚肉百五十匁ばかりを求め骨と皮を除いて叩き、鹽大匙一杯を加へて擂鉢で混ぜ、砂糖大匙山三杯、玉子白身五、片栗粉大匙山三杯、酒五勺を順次に擂りまぜ裏漉にかけ、更に冷めた煮出汁二合五勺、醬油一勺半を擂り混ぜ、二分の一を源氏蛤に、殘りを熱湯の中に投げ入れ、浮き上つた時掬ひ上げ、冷水にとり充分冷します

▲源氏蛤＝大きい物を選び、熱湯に入れ、口が開いたら火から下ろし、殼を綺麗に洗ひ、肉は細く刻み、薄桃色にした魚の擂身に蛤を混ぜ、又前の殼に入れて蓋を合せて蒸籠で二十分程蒸し冷たら赤、綠黃の三色紙をお皿の大小に從つて適宜短册の形に切つてお皿の中央に扇子を擴げたやうに交互に重ね蛤をその上におきます、盛方は皿の向に青豆有平糖その右前に手毬眞蒸を盛ります（牡丹調べ）

豆煎りの拵へ方
變つたおこし

お白酒や菱餅と並んでお雛祭りになくてならない豆煎りの拵へ方を申上げませう、材料は糯米、砂糖黑豆、生姜です・先づ糯米を一晩かして翌朝笊に揚げておき晝頃すつかり水の切れたのを見計らつて・・・ほうろくか鐵鍋に少しづゝ入れ中央でゆつくりとよく膨れるまで炒ります、色をつけるのでしたらつた糯米を半々に分けその一方水溶きした食紅を少量加へ全部同じ程度に紅くなるまでよく混合せてから着色しない糯米と同樣ますと紅白混じり合つて大變綺です、次に黑豆も糯米と同樣かして水を切つたものを程より上げます。炒つた糯米と黑豆あだ、かいうちは大丼に入れと生姜の絞り汁少々を加へよく混ぜ合はせます、冷めるとボロ〳〵に固まつて見るからに美しくおいしい豆煎が出來上ります。この黑豆の代りに南京豆でも入れ、丼に入れて混ぜ合せる時に固飴を加へますとねばり氣が出ますからこれをお節句にふさはしい梅や扇の型に入れて打拔きますと冷えるに從つて固まりお雛樣用の香ばしい變つたおこしが出來ます

ボンコハ、セツカク、ミツケタノニ、イケナイトイハレテ、ザンネイドロカスダケナラ、イイヒマス。イデセウ。

ボンコハバクダンテ、オトシマシタ。ミツタンガ、オドロイテ、シカルト、ボンコハ、ワラヒナガラ「ナアニ、フネノソバヘ、オトシタノデス」

ボンコノネラヒハ、ミゴトニキマツテ、シヨウセンノ、スグマヘヘオチテ、オホキナミヅバシラガ、アガリマシタ。オドロイタ、オドロイタ、○○コクノシヨウセン。

サア、マダ○○コクハ、トホイ、トホイ、スコシ、イソグコトニ、シヤウト、ミツタンハニホンゴウノ、カヂヲ、タカク、ムケマシタクモノウヘヘ、クモノウヘヘ。

滿洲國熱河省
開魯城の古塔と觀音石佛（八）

（上）開魯城內にある古塔、元代のものではなからうかといはれてゐます（下）林東縣にある遼時代の觀音石佛で高さ二十六尺もある大きなものです

現代女性は如何に生くべき？（四）
滿洲新女性社主催の女性生活座談會

婦人參政權問題

A、反對論乃至尙早論　今日政治に對しては相當の關心と理解を持つ婦人は極く少數で大多數の婦人はほとんど興味さへ持つてゐない。大多數の男子は社會的に活動し又納稅や兵役の義務を背負つてゐるから選擧權や被選擧權を與へられるのでこれらの義務は負はないで唯權利をのみ求むるは不當である。又家を守るべき主婦が政治に狂奔するやうになつては家庭がうまく行かぬ。夫が一家を代表して政治にあづかるのだから妻は別に必要ないわけだ。假りに今若し婦人に對して男子と同樣の參政權を與へたとしてもこの權利をうまく行使し得る婦人はごく僅かで持てあます婦人が大半だらう。世の多數の婦人がもつと政治に對して、理解と關心とを持つやうになつたら參政權は求めずとも婦人に與へられるだらう。

B、婦人にも卽刻參政權を與へよといふ說　婦人にも男子以上に社會的に活動し男子以上の納稅の義務を果してゐる婦人が澤山ある。若し家を單位としての參政權であれば獨立の生計を立てゝゐる婦人も決して尠くない。政治的智識や關心を云々するなら男子以上の理解を持つた婦人も相當にある。これを「女なるが故に」除外するといふ法はない。殊に今日の公民權といふものは昔とちがつて納稅額や家に對して與へられるものでなく國家の一單位としての權利なのだから「女だから」として除外するのは妥當でない。國民の半數をしめる婦人を全然除外して男子だけで政治に干與するのは無理でないか、政治といへばむづかしいやうだがつまる所一國の經所である。政治が國民全體の福利と幸福を目的とするものならば、一家の經濟に於て生產を掌どる男子に對し消費生活の責任者である主婦を除外する法はない。一國の國策は例へば今度のインフレーションのやうに夫のサラリーに影響するよりも臺所を掌どる妻の懷中に影響する場合が多い。女性には男性のうかがひ知らない、考へ及ばない分野があるものだ。婦人が政治にあづかることによつて婦人及子供の幸福が助長されることは疑ひない。時期尙早を唱へるならば普選當初の狀況を考へて見よ勿論今日は大多數の婦人は政治的に訓練されてゐないが政治にあづかる（最初に公民權）事によつて政治的に訓練されるとは疑ひない。訓練される日を待つより與へられた後實地に訓練される方がはるかに手つ取早い。

……◇……

一方婦人に參政權を與へることによつて政界が淨化されるだらう事はアメリカや其他先進國の例を見ても豫想できる、婦人は男子に比して純眞であり良心が強いから男の樣に情實に囚はれたり買收されたりすることがない、又婦人が男子と同じく議場に出席する樣になつたら行儀の惡い議員さん達もいくらかお行儀がよくなり粗暴な議場の空氣も緩和され、男らしい粗漏な議事は女性の細心な態度によつて矯正されるだらう。そも〳〵參政權を與へるのは女を一個の人格として認めるといふ點に理論的根據があるので、これによつて男性一般の婦人に對する蒙が啓かれ、婦人の地位が正しく認識されることは人類全體の幸福である。此處に婦人の一考を要するのは男子と同等の權利を要求するならば自ら女を弱いものであるとして男子の庇護を求めやうとする舊來の卑屈な或は蟲のよい考へ方を捨てゝ、負ふべき義務についても男子に伍して讓らないだけの強い決心が必要である。

お子さんを
幼稚園に送るお母樣方へ
これだけをお願ひ

お子さんを幼稚園にやらうといふ親御さんで、入園式までに間に合へばといつた考へで入園式當日に手續をとられる方もありますが子供にトラホームでもあれば他の多くの園兒に傳染する恐れがあるのでトラホーム患者の時は入園をお斷りしなければならない場合があり、折角喜んで來た子供さんを落膽させる事がありますから手續は早くして下さい、もしお子さんに眼の疾患でもあるようでしたら早く治療し、入園式までに治しておいて頂きたいものです

◇

子達には自分の名前は申し上げるまでもなくお父さんの名と町名だけはぜひ覺えさせておいて下さいでないと萬一家路を迷ふた時に困ります

◇

用便と靴の穿き、脫ぎが自分でできる樣に習慣づけて戴きたい、家を出る時は家人が手傳はれるから結構ですが幼稚園で多勢が一度に穿き脫ぎする時、勿論保姆は手傳ひますけれど兒童自身にとつても大へん不便です

◇

次は持物ですが、持物には必ずお名前を書いて下さい、名前のない落し物が多くてその始末にいつも困ります、殊にハンカチなどは每日何枚か落して歸ります、名前さへ書いてあればすぐ判明し、新らしいのを絕えず下ろす必要もないわけです

◇

幼稚園に入園しますとお辨當が要るので、お辨當箱を新しくお求めになりますがお辨當箱は圓形のものよりは四角のものが食べ易くお菜も澤山入りますから新しくお求めになるのでしたら四角の方をお選びになつた方がよいでせう、そしてこれにもお名前を忘れないやうに書いて下さい（大連伏見臺幼稚園後藤先生談）

お醬油の使ひ方

◇…どんな上等の醬油でも用ゐ方を誤ると鹽辛い味ばかり殘つて本當の風味が失はれてしまひます、元來醬油に最も大切なものは香氣や風味で辛味や甘味は左程問題でありません、ところがこの大切な香氣や風味はいづれも長時間高熱を與へますと揮發發散してしまふのです、ですから煮物をする時には殆ど煮上つてから醬油を加へ、所謂醬油臭くない程度に於てなるべく短時間に煮上げる方が風味がよいわけです

お酢の保存法

◇…釀造酢は人工酢（醋酸を多量に用ゐたもの）より風味の點で遙かにすぐれてゐますが、腐り易いのと味の變り易いのが缺點です、面倒でも一度にあまり多量に買はぬこと、保存するには食卓鹽を一つまみ入れて瓶の栓をキツチリとしてなるべく冷たい場所に貯へれば相當永く持ちます、但し凍ると瓶が割れたりしますから其邊は御考慮下さい

たくあんの壓石

◇…たくあんは壓しが輕くなると不味くなつたりすつぱくなつたりしますから尠くなつても相當の壓石は必要です、殊に段々尠くなるとはじめの壓石では周圍に支へて重しが利かなくなりますから小さい壓石ととりかへる必要があります、樽の上側や隅の方の色の惡いところや葉つきの方の固い部分は細く刻んで生姜をまぜるか、青菜や大根の葉の漬たのと混ぜるか、或は醬油をかけて胡麻和へにすると美味しく頂けます。

満日各地版

非常時日本に際し 國民總動員の秋!!
舌端火を吐く熱辯 奉天市民大會
二十六日奉天中學で

【奉天】既報國際聯盟の脫退と重大時局に鑑み國民の反省と決意を促し舉國一致の覺悟を中外に闡明するため二十六日午後六時より奉天中學校に於て全市民主催の下に非常時市民大會を開催されたが時局に奮激して集ふ市民會場に溢れ先づ聯合町内會長藤巻快效氏の開會の辭に次ぎ君ケ代を三唱し座長に上田純氏を舉げ決議及宣言文の審議に移り滿場一致で可決し栗野地方事務所長の發聲で萬歲を三唱し大會終了後大演說會に移つた

皇國の犧牲者として意義あらしめよと題し吉川喜一郎氏先づ起ち熱辯を揮ひ次いで古市寅太郎氏の聯盟と訣別、福島清次氏の俎上に乘る我國民の覺悟、中屋重業氏の今後の日本人、青山忠雄氏の吾人の覺悟、伊藤謙次郎氏の千萬人と雖我往かん、鯉沼忍氏の天命を知らしめよ、渡邊泰臣氏のさあこれからだ、その他金井、天谷の諸氏等交々壇上に立ち舌端火を吐く熱辯をふるひ聽衆を感動せしめ冲天の意氣を示して午後十時頃散會した

尚當日の宣言文は左の如し

宣言

滿洲問題に對する我帝國の公正なる主張も誠意ある和協折衝も又我代表諸公の反覆闡明の努力も共に國際聯盟諸國の蒙を啓く能はず反つて帝國の自衛行動を目して侵略行爲なりと誣ひ滿洲國獨立承認の既成事實を否認し我に重壓を加へ不當の勸告を與ふる等横暴非禮の行動に遂に帝國をして聯盟脫退を決意せしめたる國際聯盟は今や平和愛好の假面を脫して歐洲の爲にする國際聯盟たる醜狀を暴露せり

吾人全滿日本人は曩に國際聯盟に對し誤れる先入觀念を以て爲したる「リツトン」調査團の報告を採用するの危險にして不當なる事實を指摘して警告する所ありたるに聯盟理事會が之に耳を藉さず事の茲に至りたるは亦故なきに非ざることを首肯し得て痛憤に堪へず

夫れ斯くの如く今や我國際關係は孤立無援にして重大危機に瀕し勢の趨くところ俄に豫斷を許さざるの情勢に在り此の際我が國民たるもの豈に一大決心なからずして可ならんや正に舉國一致上下心を一にし以て國難に處し如何なる難關をも打開し東亞永遠の平和を確保すべきの秋にあらずや

吾人在奉の日本人亦人後に陷するものに非ず常に此の覺悟と決心を以て一致結束して我が政府を支援し其の既定方針を貫徹せしめんことを期し茲に市民大會を開き右宣言す

大石橋市民大會
決議文を要所に打電

【大石橋】二月二十五日本紙號外「公正なる主張通らず總會遂に報告書採擇」當市街地に撒布せらるゝや當局時局委員會にては據て各般の準備警備せる事とて地方事務所時局委員會俄然活動を開始し各市街目抜の要所に「非常時日本臣民の血合市民大會開催」の張り札振り鳴らす號外の鈴、鈴を目當てに押し寄する群集勢ひ自然公會堂の市民大會となつた、集合市民の總意に依つて拍手喝采裡に式次の次第は掲示された、開會の辭山下獨軍分會長拍手裡に送らるゝや座長推薦の動議起る學議經驗共に我等の地方事務所長倉橋氏押され順次演說に移る

一、國際經濟より見たる吾人の覺悟　規矩　順藏
二、國民總動員の時機は來れり　石川　憲二
三、國際難局に對して日本の覺悟　今村　善勵
四、非常時日本の社會相に直面して　芦田　義藏
五、正義を以て戰へ　日地　讓雄
六、爆彈　井上竹四郎
七、殘忍極まる排日侮日の暴行事實を回顧して　伊藤謙次郎

聽衆は非常時日本に奮激し拍手喝采裡に次ぎの決議文を議決し直に要路に打電した

決議文

帝國の正義と滿洲國の實在を無視し偏見に基ける勸告に依り帝國に重壓を加へんとする國際聯盟の暴擧は吾人の斷じて默過し能はざる所なり速かに聯盟を脫退し舉國一致し國難に當らん事を期す

右決議す

昭和八年二月二十五日
大石橋市民大會

奉天省城内外の地域を實測
市政公署が着手

【奉天】大奉天都市計畫のため省城内外の地域を奉天市政公署にて實測することに決定し、二十七日から愈々測量に着手するが、一行は卅三名で先づ北陵から東陵寺を測量することになつてゐる、其の第一班は三角測量、第二班は圖根測量、第三班は地圖を完成する豫定で約三ケ月をもつて終了する筈である、尚ほ市政公署としては新工業地區として豫定されてゐる鐵西附屬地隣接地區一帶は全部村民にたいして自由賣買を嚴禁し地價の投機を阻止することにしたが、今後の買收地は商租權を適用される模樣である

建國祝賀會

【營口】來る三月一日の滿洲國建國第一周年記念には左のプランにより祝賀會を催す事に決定した

當日は各戸に日滿國旗を揭揚し夜間は奉祝の提灯を出すこと、午前十時三十分日滿人並に生徒一同公學堂運動場に集合同四十分爆竹を合圖に旗行列行進開始、樂隊高脚を先頭に市中を一巡し民政署前始め各主要箇所において萬歲三唱の上小學校々庭に引揚げ解散直に同校講堂において官民合同の祝賀宴並に祝賀演說會を開催する事

大石橋近郷の建國記念協議會
二十六箇村長集合し

【大石橋】滿洲國協和會大石橋辦事處に於ては來るべき建國一周年記念式を控へ近郷三十支里圏内海城營口蓋平三縣に跨る各村邑二十六箇村に對し記念式の如何なるものかに就き認識普及徹底を圖るべく數日來美座工作員をして行脚工作に努めしめつゝありしが比較的無智無理解なる村邑民も漸く現在の時勢に目覺め其の趣旨由來を認識したるものゝ如く二十五日には營口縣第二區長孫慶延村長會を招集し正午より大石橋第四小學校會議室に於て未曾有の盛會を催したり近郷二十六箇村長一人の缺席者無く勢揃ひするや憲兵隊より江口伍長大石橋警察署より中塚高等係山家通譯協和會より愛甲辦事處長美座工作委員等出席開會したるが孫委員長は招集の目的會議の概要を述ぶれば愛甲辦事處長「建國一周年を迎へたる所感並に建國記念日の由來」に就き最も平易に而も徹底的に長時間に亘り諒議し多大の感動を與へたり次ぎに美座工作員は周到なる計畫案に就き說明諒解を求むると共に豫算編成の審議を爲し當日の催し物の最高位を占むる敬老會、孝子節婦の表彰基準制定該當人物の銓衡等各村代表村長の意見を土臺として順々に討議決議に導き孝子二十名節婦二十名の選定迄漕ぎつけ尚六十歲以上男女老人約六十名を招待する議決を見たり、尚舊軍閥時代の舊慣習打破に對抗すべく先きに協和會にて編纂したる宣撫本の普及を提議滿場一致を以つて二十六箇村五千部の註文を引受ける等今迄にない建設的意氣に燃えた

會合

振りを見せた、斯くて各々中央事務局より送附したるパンフレツト、ビラ等を競爭的に分與を受け三月一日を期して午後三時半散會せり（寫眞は建國一周年を控へ意氣と熱に燃ゆる二十六箇村々長各位）

非常時日本

【上、下】奉天市民大會の盛況　【中】大石橋の市民大會

遼河、鴨綠江沿岸 嚴重に警戒
兩水上署で協議中

【奉天】遼河と鴨綠江の水上警備については奉天省警務廳としても熱河事件のために特別の注意を拂ひ、兩河川沿岸の各縣は素より北支方面から潜入する學良系便衣隊の取締に對して嚴重警戒し兩水上局とも快足船を準備し、警備に當る方針である、目下兩局とも具體的連絡方法を協議中であるが、遼河沿岸は十餘縣に亙り、鴨綠江は數縣を所管してゐるので水上局の内容を一層充實する方針であると

北票採炭開始
臨時營業局を設置

【奉天】北票の皇軍占據により同地の炭礦局は愈々採炭を開始したが、官營出資は逆産として回收し將來は滿洲における炭礦の統一を計る模樣であるが、北票には臨時營業局が設けられ李作民氏が局長に推薦された、同礦は資本五百萬元で官の出資は二百萬元であつて三百萬元は商民の出資である、礦區は五十一平方支里に及ぶ優秀なる炭礦であると

奉山線從事員配備

【奉天】錦州、北票間の支線は我皇軍の北票入城により錦朝支線は完全に奉山鐵路局の管下に屬し各驛長、從業員は奉山線現業員が配備された

滿鐵消費組合出張所を新設

【奉天】奉天附屬地南端には本年度社宅六百數十戸それに一般民間の住宅並に店舖を加ふ時は八百數十戸の市街建設を見るので滿鐵當局では之等の情勢に鑑み今秋までには附屬地南端に消費組合出張所を新設すべく準備中であると

奉天醬園好績

【奉天】滿洲事變後味噌醬油の賣れ行き著しく增加し之等の釀造業者は何れも好況に惠まれつゝある株式會社奉天醬園では二十六日午後四時より同社に於いて總會を開催したが今期の好成績に鑑み滿場異議なく五分配當を可決した

安東競馬
本年の日取り

【安東】安東競馬俱樂部は本年が設立五周年に當るので本年は臨時競馬以外に二萬圓の福券附大會を開催することゝなり目下準備を進めてゐる、なほ本年の新馬購入は約五十頭の豫定で三月下旬到着の筈である、また本年中の競馬開催の日取は次の如くである

▲春季競馬　四月二十九、三十、五月一日、六、七、八日
▲春季臨時競馬　六月二十四、二十五、二十六、七月一、二、三日
▲五周年記念競馬　七月二十九、三十、三十一、八月五、六、七日
▲秋季競馬　九月二、三、四、九、十、十一日
▲秋季臨時競馬　十月七、八、十四、十五、十六、十七日

各地農務楔好績
楔長各地を視察

【安東】朝鮮總督府が在滿鮮人の農耕金融機關として昨年設定した「農務楔」は各地とも業績頗る良好で安東の如きは貸附金一萬百四十五圓八十錢に對し回收額八千百五十三圓九十錢で八割強を示し、その他の各地も七割乃至八割の回收を見てゐる、右は事變後滿洲人側の鮮農に對する壓迫が無くなり安心して耕作收穫することが出來るやうになつたゝめで、今後鮮農のこの農務楔を利用して金融を受けるもの增加し發展を期待されてゐるが、總督府は各地の農務楔長をして鮮内各地を視察せしめ在滿鮮農の啓發指導の參考に資せしめることゝなり楔長五十四名より成る視察團は總督府外事課杉田囑託引率の下に二十五日午後五時二十五分發列車で安東を出發、平壤、沙里院、京城、仁川、軍浦場、水原、大田、論山、裡里、群山等の各地視察に向つた

鮮農への農耕資金
本年度貸付額

【奉天】奉天十間房協濟公司では奉天附近の鮮農に對する農耕資金の貸附は昨年度までに十萬圓に達し本年も更に十萬圓程度の貸附をなす方針であるが右に關し同公司事務林演龍氏は左の如く語つた

本年は治安も維持され米價も昂騰してゐるため本年度は鮮農も相當の好成績を舉げるであらうと豫想されてゐるも滿人地主が昨年天地五十圓で貸した田地を本年は八十圓でなければ貸さぬと云ふ有樣で、結局作付區別も昨年度位のものであらうと考へ

女學生懇談會

【撫順】撫順友の會にては事實上に於ける日滿婦人の融和親善を圖るべく第一着手として今年撫順女子師範及職業學校卒業生五十餘名を招待し懇談會を催すことゝなつた、婦人團體の試みとしては着眼に於て、實踐的なるとに於て、友の會の今回の試みは注目に値する

湯崗子傷病兵見舞

【遼陽】遼陽家政女學校生徒は小野、松川兩教師に引率され二十五日湯崗子に赴き同地遼陽衛戍病院に入院中の傷病兵を見舞うて同日歸遼したと

旅順放送

▲市會議長に當選した村上信二氏は二十五日午後各方面を歴訪就任挨拶を述べる處があつたが氏は語る、全く想ひがけもない重責な議長の椅子を占めるに至つた事は素より淺學非才甚だ忸怩たるを得ない、然し現下の狀勢に鑑みれば一日も早く低迷してゐる空氣を一掃し、至公至平事に當つて最善のベストを傾倒する事が自分の職責と信じ敢て就任した次第である、極力自己の信念に向つて善處しても尚且つ目的が達し得ない場合は、勿論決意する處もある、議長といふ椅子は却々他で觀てゐるやうな譯でなく却々至難の事であるから將來は特に宜しく御願ひする云々……

沿線往來

▲山崎遼陽領事　新京に於ける領事會議に出席中の處廿三日歸遼
▲阿部勇吉氏（遼陽警察署警務主任警部）廿四日はさて着任廿五日關平高等主任の東道で各方面歴訪着任挨拶

滿洲日報

滿洲問題の滿足な解決こ東洋平和維持の方途
たゞ滿洲國の承認あるのみ
聯盟提出の我陳述書

【東京二十六日發】國際聯盟に提出した帝國政府の陳述書は二十六日、東京並にジュネーヴにおいて同時に公表されたが、全文二十數ページにわたる長文で、その要旨左の如し

第一部 日本の國際聯盟との協力

日本は聯盟の發達成功に對し十四年に亙り協力を與へ來れり、日支紛爭は支那の要求に依り聯盟理事會の審議に附せられたが日本の行動は支那側の攻擊に對する自衛のため餘儀なくせしめられたに過ぎず、聯盟と我方との見解の相違は聯盟が極東の事態に對し理解を缺如せるため生じたるものなり、日本は支那の現狀を諒解するやう調査委員會の派遣方を提議せり、然し委員會の報告書は眞相を傳ふるに足るものとなし得ざる憾み多かりき、よつて日本は昨年十一月十八日報告書に對する意見書を聯盟に提出したり、その後日本の同意無く任命したる十九國委員會は規約十五條三項により和協に關する決議及び理由書を起草せり、右に對し日本は滿洲に於ける現政權の維持及び承認を解決と認め難しとなす點全部の削除を要求せり、一方日本は聯盟との妥協點を發見するため最後まで折衝を續け種々提案せるも遂に何等の効無かりき、斯くて十九國委員會は第三項による和協を不可能とし第四項に依る報告書を起草し二月二十四日日本の反對投票に拘らず總會に於て右報告書を採擇せられたり

第二部 報告書の誤謬

報告書は紛爭の事實をリットン報告書を基礎とさせるは遺憾なり報告書は九月十八日事件以後に於ける支那の對日ボイコットは報復手段の範圍に屬する事に同意し居るも右は支那に利害關係を有する各國に對し將來紛糾の種を播くものなり、又報告書は九月十八日事件は日本が自衛のための行動と認むるを得ずとなせり、日本政府は支那のボイコットが報復の部類に入るものなりとの報告書の結論を否認す、報告書は滿洲國の獨立が自發的のものにあらずとせるも右は調査委員會報告書の誤れる結論を採用せるものなり

第三部 實行不可能なる勸告

一、支那の如き全く變則なる事態に聯盟規約、パリ條約を紛爭處理の基準としてその原則を適用するに當りては或程度の伸縮性を與ふる事必要なり

二、報告書は日本軍隊の撤收を勸告し居るが**日本軍隊の駐在は何等法的原則と矛盾するものにあらず日本軍隊は日滿議定書に基き滿洲國內に於ける治安維持の任に當るべき責任を有する**ものなり

三、滿洲の主權が支那に屬する旨を述べてゐるが**滿洲は一九一六年以後は嘗て支那の權力に服したることなし**

四、(略す)

五、**交涉委員會設置の件は**滿洲問題に對し**如何なる第三者の介入もこれを許さずと爲す日本の主張に相反する**ものとして斯くの如き提案を受**諾する事絕對に不可能**なり

第四部 結論

日本政府は九、一八事件及其後に於ける日本軍隊の行動は何れも自衛手段としての範圍を脫せざる事及滿洲國は滿洲住民の自發的意思に基き成立せしことを確信す、從つて日本政府はその軍隊の行動も、また日滿議定書の締結も、また聯盟規約九國條約、パリ條約又は其他の如何なる國際條約をも侵害せざるものと思考す、滿洲國は迅速なる發達を遂げ外國人及滿洲國住民は一樣に利益を受け居れり、右は滿洲國の承認を以つて滿洲問題の滿足なる解決並に東洋における平和維持の唯一の方途なりとする日本の主張が誤り居らざることを示す具體的證據なり

正に絕緣狀
わが陳述書の五點

【東京二十六日發】二十六日外務省より公表された帝國の陳述書は聯盟側の報告書を逐一粉碎するを目的とし同時に聯盟に對する絕緣狀を意味するもので、右により特に强調された左記五點は聯盟脫退理由を暗示せるものとして重視されてゐる

一、聯盟は滿洲國が迅速な發展を示し其の承認が東洋平和維持の唯一の方途なりとする我主張の具體的證據が眼前に展開しつゝあるに拘らず抽象法則の用語を一層重視せること

二、日滿議定書は規約廿一條の地方的諒解として承認さるべき性質のものなるに拘らず聯盟は之を聯盟規約に違反し獲得した協定と看做してゐること

三、聯盟の最大關心たる支那の共產化の危險に對し滿洲國は唯一の墻壁なる事實に聯盟は一顧だも與へ居らぬこと

四、國家の承認なる主權行爲に對し總會が聯盟國非聯盟國を拘束する如き提案を爲すは越權的行爲で斷じて許さるべきでないと確信す

五、聯盟は米國オブザーバー問題を手續き問題として多數決で決定したが日本は之を規約違反と確信す、聯盟が斯る決定を依然正當とするに於ては日本は聯盟を誤解し誤つて規約に批准したるものと認めざるを得ざること

赤峰、淩源の線に敵主力を集結す
天險を利用、三十キロの陣地
第二段作戰を急ぐ

【錦州山代特派員二十七日發】二十五日熱河攻略の第一線として我が先遣部隊たる鈴木部隊が疾風迅雷的行動をもつて敵の最前線と頼む朝陽の堅壘を拔き、續いて我が空軍が逃げる敵集團を追うてこれを殲滅した結果熱河反軍は初期戰においてもろくも出鼻をくぢかれ敵の參謀府たる承德の陣營は一時に狼狽の色を見せたが、南京政府より續々と來る抗日命令とこれを利用し掠奪をなしこれを機に莫大な軍費を得んとする策動と更に偽愛國者たらんとする面子問題との三つの目的を達するがために熱河反滿軍では朝陽放棄に伴ふ第二段作戰として次の如き戰備を整へるに至つた、即ち何柱國の率ゐる東北軍は九門口、石門寨附近において二十五日來盛んに騾馬の徵發を開始し兵器糧秣を熱河省境に輸送を開始した、次に上海における第十九路軍を改編せる救國義勇軍の一部は既に石門寨北方駐屯營より熱河省境に進入しつゝあり、又過日北平を進發した優勢なる學良麾下の第八旅は淩源に向つて進路してゐる、次に開魯の西南方約二十キロ下窪に集結せる有力なる敵の一部は二十六日正午より南方に退却を開始し一部は西部へ後退、これは我軍の西進にさきだち陣地を構築せんためである、更に大虎山西北方約八十キロ阜新及び蒙古鎭王府、並に赤峰の東方にある優勢なる敵軍はいづれもその延長數は卅キロに亙る堅固なる陣地を構築すべく目下後方から馬車により材料を搬入しつゝありかくて朝陽の線に於て敗退せる敵軍は赤峰、淩源をつなぐ線にその主力を集結し山岳地帶の天險を利用し我軍と抗爭せんとしてゐる

丁喜春駱駝隊 灤州附近移駐

【山海關二十七日發】昌黎、秦皇島方面に又もや支那軍大部隊到着せりとの噂あるが右は最近丁喜春の第百八師及砲兵一ケ團が數百の駱駝隊を引具して灤州附近に移駐して來たのが誇大に報ぜられたものである、尚は右砲兵團は支那軍第一線に配置された

小幡大使御進講

【東京二十七日發】天皇陛下には二十七日午後二時より宮中御學問所にて先頃歸朝した前駐獨大使小幡酉吉氏を召されドイツの現狀について約一時間に亙り奏上を聽召された

山海關から駐屯軍撤退せず
流布される風說に對して
日滿當局で對策講究

【山海關二十七日發】最近天津方面において日本當局の意向なりとして

日本軍は長城以南に戰爭を波及せしめない、もし支那側が必要な保障を爲せば山海關の駐屯軍を撤退してもよい

と傳へられてゐる由で內外人間に種々の疑惑を與へ殊に山海關居住の支那人間に面白からぬ空氣を釀成する虞がある、日滿當局が支那と事を起すを好むものでないことは勿論であるが山海關は元來長城と連接せる城壁に取り圍まれてゐる町で當然滿洲國に屬し又守備隊の駐屯は明治三十三年の北淸事變の議定書に依る義務にして何の遠慮も要らない、しかも國を成さぬ支那と統制なき支那軍隊とをして日本の保障要求なくして安全は保ち難しとは當地全民衆の心からなる願望なるに依り在山海關日滿最高方面では右民衆の熱望と地理的關係より見て

山海關は滿洲國の領地なり日本軍は斷じて撤退せず

との趣旨を一般支那住民に周知せしめるべく何等かの處置に出ることになつた

茂木部隊更に急追
崔興武匪逃げ足疾し

【開魯二十七日發】茂木部隊の先遣隊は崔興武軍を急追しつゝ敵をして踏止まる暇を與へず二十六日午後六時下窪を完全に占領し本二十七日早朝追擊を續行し○○に向つた

茂木部隊奮戰

【奉天電話】○○部隊の主力先遣隊は二十五日六、七百名から成る反滿軍をハセコト南方地區より追擊しつゝ同夜興隆地に進入した茂木部隊は二十四日開魯より南進しフクチヨウ附近に宿營してゐる李海青の指揮する七、八百名から成る反滿軍を追擊し多大の損害を與へた反滿軍は戰場に多數死體と武器を遺棄して潰走した

【奉天電話】茂木部隊の一部は[illegible]

下窪占領

關東軍司令部發表

【新京電話】關東軍司令部發表=茂木部隊に屬する黑谷校隊は昨二十六日夕刻下窪を占領せり同地に在りし敵は馮占海匪軍にして同日午前十一時三十分一部を以て南方に、主力は下窪、元寶窪道を赤峰方面に退却せり、茂木部隊は敗敵を捕捉殲滅すべく引續き追擊中なり

營より下窪間を追擊し匪賊は梧桐好情方面に進擊中である

下窪奪還後報

【下窪二十七日發】茂木部隊の一部及び○○團主力先遣隊は共同作戰の下に二十六日午後四時半下窪を占領した

駐日公使引揚說
南京政府正式に否認

【南京二十七日發】支那側では日本が熱河を討伐せば駐日公使蔣作賓を召還し日支國交斷絕を辭せずと揚言し、宋子文が北平で言明したとの報道あつたが、國民政府外交部は二十六日駐日公使召還は時期尚早で政府はその意思なしと正式に發表した

飛行機から無電で敵匪進擊報告
飯田○隊直ちに突擊
朝陽占領に飛機活躍

【錦州にて山代特派員二十七日發】○○地における○○飛行隊は朝陽入城の狀況につき左の報を齎した、二十五日

殘雪 の山岳起伏する熱河に曉の光が反映する時我飛行機はこの曉天を破つて一路機首を朝陽東方高地の上空にその銀翼の雄姿を現した、艇々十數軒に亙る反滿破道軍の陣地を俯瞰すれば敵は退却し一兵の影を見ず、朝陽一番乘りの鈴木、松田の兩隊は既に入城し市街には日章旗翻へる、昨日までは凄じくも抗日のため陣地で迫擊砲を試射し日本軍來らば逸を以て勞を待つの戰法で反擊せんと豪語した反滿軍は皇軍に恐れをなし

退却 したのであつた、然し反滿軍は當時鈴木、松田兩隊の入城を邀擊するため午前十時二十分[illegible]に約二千を集結し朝陽西方飲馬池營子附近を前方に進擊中であつたので岩田大尉、林野氏操縱の○○機は直に地上の飯田○隊に空中から無電によつてこれを報告したので素破とばかりに飯田○隊は突擊し二千餘の反滿軍を擊滅し熱河攻擊最初の血祭りとして凱歌をあげた、岩田大尉、林野操縱士は右無電局に

地上 その連絡任務を終るや再び隼の如く前方に出で先頭部隊に對し低空飛行をなし爆彈を投下、敵匪を寒からしめた、その功績は我○○飛行隊最初の殊勳である、なほ堤曹長操縱の田村機は退却せるその後の敵匪の狀況を確かめ午後四時頃朝陽上空に飛來し入城直後の松田、鈴木の兩隊に連絡すべく危險を冒して朝陽西南大淩河氷上に着陸して兩隊長と會見し入城を祝すると共に重要なる情報を齎し夕闇を冒して無事歸還した、入城後の部隊は

軍紀 嚴肅士氣旺盛、熱河省人は日本軍の入城に歡喜して飛行機の着陸を見るや蝟集し來り萬歲を叫んだ

後方攪亂に備へ萬全を期す
三角地帶に無線網

【奉天電話】熱河討伐に出動した日滿兩軍の虛をつき後方攪亂を陰謀せる學良の便衣隊に對し滿洲國當局は主要地に兵力の配置を行ふと共にハイラル、三角地帶の各地に無線網を張り萬全を期してゐるが一時四角地帶に遁入した[illegible]は後方攪亂の目的をもつて敵日來海城に向つて襲擊の機を狙ひ附近の民家を荒し掠奪を行ひ附近の電信線を破壞したため目下海城、柚巖間の電信電話は不通となつたので海城から鞍山獨立守備大隊は二十七日海城、柚巖間一帶に亙り嚴重なる警備線を敷いた

國民經濟を壓迫せぬが肝要
藏相の財政恢復論
貴族院本會議(廿七日)

【東京二十七日發】本日の貴族院本會議は午前十時十五分開會、日程を變更し

一、昭和七年度歲入出總豫算追加案特二號

一、傷痍軍人戰歿傷病者遺族等の鐵道船舶等の乘車船優遇に關する法律案(衆議院提出)

に就き委員長柳澤保惠伯(研)の報告通り可決、次いで請願二十七件を委員長報告通り採擇、國務大臣に對する質疑の續きに入り鹽の岩城隆德子に對する答辯として

●齋藤首相 後年度財政計畫に就いては未だ具體的數字は示し兼ねるが大體大藏當局說明の通り政府は適當の機に行財政を整理し均衡を得る方針である

●高橋藏相 今の財政は赤字公債に依らねば均衡を得られぬ、我財政の基礎は云ふ迄もなく國民の經濟力にありよつて政府は金再禁止以來種々方策を講じ國家經濟の恢復に努め所期の效果を擧ぐべくその上で增稅も行ひ又中央地方を通じ稅制その他の刷新を行ふ目的だが今は時期でないといふのみ、舊年度以降の國防費繰上げ及び海軍の第二次補充に就いては當局大臣より希望して居るやうだが政府として何等具體的に決定したのではない、岩城子は國民經濟力恢復を待たずとも今日擔稅力ある階級及インフレに依り利益を受ける者に社會政策的に增稅せよと云はるゝが社會政策の言葉の意義は明確でない、其の濫用を愼むべきだ、政府は今日インフレに依り特に影響を受け居る者ありとは思はぬ、然し財政の基礎たる國民經濟に壓迫を加へずして恢復を圖るが肝要と思ふ、徒らに樂觀論は唱へぬ、時局重大國民の堅忍不拔の精神に信賴してゐる

●荒木陸相 滿洲事件費は匪賊掃蕩終了せば九年度以降著しく減少し得る見込だ、國防計畫も今回の經費繰上げに依り大體完了せば特別事項無き限り後年度に莫大の經費を要することはあるまい

●大角海相 第二次補充計畫は今研究中で特に緊急と認むるもののみ八年度に計上する後年度の計畫は今具體案を得ぬ

●後藤農相 農村土木事業計畫の大部分は賃銀に用ひ農民救濟のため相當效果を擧げてゐると思ふ

●山本內相 時局匡救土木事業は今五割を賃銀に當てゝ居るが事業進行すれば更に材料費を減じ賃銀多くなる見込で、十年度以降の事業は明年度の實績を見て考慮する

右終つて坂本彭之助氏(同和)鳩山文相に緊急質問の發言を求めたが議長 後廻しとし田中館愛橘氏(無)航空豫算に就き航空機關の文化的使命を說き民間航空界の發展を促すため飛行場增設、飛行士養成殊に學生航空術習得獎勵等に就き質し

●鳩山文相 學生飛行聯盟に對し補助の意思は無い、研究所の經費は必要あれば更に增額しても宜い

と答へ午後零時十六分散會した

議會風景

【東京二十七日發】貴族院本會議で高橋藏相岩城隆德子の質問に答へて「金持から搾取して貧乏人に與へるといふことになると所有權を認めないことになり遂には共產主義にまで行かねばならぬ、これは甚だ危險千萬である」とすつかりプロレタリアにされてしまつた岩城子小さい聲で「搾取といふ言葉を採取されてしまつた」▲阪本彭之助君「幸ひ文部大臣が見えてゐるから緊急質問致したい」といへば德川議長「通告順を狂はしたくないから田中館博士の後にして貰ひたい」といふ阪本君「それまで大臣が居て下されば結構だが自分のため居殘つて貰ふのは氣の毒だから」と何とも割込まうとするので議長「只今の貴方の御言葉は文部大臣のお耳にも達したこと、思ひますから議長はそれまで文部大臣が出席して居て下さることを確信致します」と到頭阪本君を引込ませると同時に微苦笑する文相を一人大臣席に釘付けにしてしまつた

アジア第一 國道會
營口方面で設立運動進む

【營口二十七日發】「亞細亞は亞細亞民族の手で」とのスローガンを掲げて奮然蹶起し大亞細亞民族の覺醒融和を目的とする國道會の設立運動は石川才治、井上愼吾の兩氏に依りて進められ各方面に對し日滿鮮人を問はず會員の募集をなしつゝあるが營口方面に於ても之が趣旨目的に贊成して同會に加入する者多く日滿鮮人を通じ早くも數名に達した

酷寒零下廿度
天佑、皇軍輸送に好都合

【大平家屯二十六日發】今回熱河討伐の最初に懸念されてゐたのは同方面の解氷であつたが、一時暖氣に向はんとした天候が昨今又逆戾りして零下二十度近き寒氣のため、六股河を始め同地一帶の河川の氷堅くなつたため快速隊は輸送車で樂々と行進を續けてゐる有樣で各部隊とも天佑としてゐる

賃銀は現金拂ひ
小學校の授業開始
朝陽着皇軍の仁政

【朝陽にて立上特派員二十七日發】鈴木部隊發表 朝陽附近住民一般の狀況は朝陽縣長公安局々長をはじめ官吏全部逃亡し市民は大半逃走しありしが皇軍入城と共に臨時治安維持會を急設し宣撫班がこれを指導して縣政の復活につとめ一方各種の手段を盡して皇軍の軍規嚴正にして滿洲國の王道樂土の實現近きことを高唱せり、貧民救濟施療を實施し且つ傭役たる苦力、馬車等の賃金を現金にて卽時拂ひしたるに二ケ年間苛斂誅求に苦しんだ市民及び附近村落の住民は續々歸還し店舖も追々開店しつゝあつて口々に皇軍の永久駐兵を切望せり、また小學校も二十六日開校しつゝあり

戰利品で救恤

【奉天電話】鈴木○團の入城した朝陽には退却した反滿軍の軍服靴食料品が多數殘されてあつたので我軍では附近の住民たちにこれを救恤の意味で分け與へてゐる

石本氏の消息不明
わが軍嚴密に探查中

【錦州二十七日發】杳として消息を絕ち生死線上を彷徨してゐる問題の石本權四郎氏の行方に就いては皇軍の朝陽占領後も依然として判明しないばかりか石本氏を拉致した李海峰軍は前線から早くも姿を消したゝめ唯一の手懸りを失はれた形であるが、朝陽寺及び北票の官憲の談によればこの一月中迄は石本氏が生存してゐた事は確實であるが其後の消息に就いては全く不明である、石本氏を人質として金品を入手するか又は和議に利用せんとする見込みが絕望だと知り彼等の兇暴性から見て殺害したのではないかと想像されてゐる、何れにせよ軍部は勿論全力を擧げて石本事件に關する情報を集め嚴密なる探查の步を進めてゐるから近く石本氏の消息も判然とするであらう

社員會の幹事長
近く伊藤氏承諾せん

滿鐵社員會の次期幹事長は既報のごとく伊藤審查役が絕對多數で選擧されたが絕對に引受けぬことを早くより表明してゐたので果して引受くるや否や疑問視されてゐたしかるに若し同氏が引受けざる時は社員會は危機に瀕することは明瞭なので、新舊幹事揃つて同氏に就任を懇請し、殊に總局常任幹事より切に就任方を要請したので伊藤氏も意大いに動いたもの、如く支那視察より歸連後正式に承諾するものと見られてゐる、たゞ同氏が就任を躊躇してゐる最大の原因は今後の社員會が從來のごとき結束をもつて發展し得るやにあるので部幹事長、總局常任幹事らが極力輔佐することを約束してゐるものゝごとく、これが方法として從來單に成文のみありて一度も實施されたことのない社員會規約二十二條の「幹事會の推薦したる顧問若干名を置くことを得」の規定によつて曾て幹事長たりし石川鐵雄、市川健吉の兩氏および部理幹事長を新に顧問に推薦し、總局常任幹事は役員として部長の地位につき伊藤氏を助くることゝなるものと豫想されてゐる

滿洲博協贊會 成立して陣容整ふ

きのふの創立總會で

大連市催滿洲國大博覽會協贊會發起人會は二十七日午後二時より大連商議に開催 高田、築島正副會頭以下市中商工團體代表者、各區長等並に滿洲人側各市商會代表諸等八十餘名出席

先づ高田會頭より發起人會開催の趣旨を述べ、石田書記長代理より協贊會組織に至る經過報告をなし高田會頭推されて座長席につき滿洲博協贊會を成立せしむるや否やにつき諮り全會一致贊成こゝに成立を見た、引續き二時半より協贊會創立總會に移り協贊會總意書、協贊會規則案、事務細則案、同收支豫算案を可決、續いて役員の選擧に移り、正副會長は選擧を略して會長に高田會頭、副會長(五名)に瓜谷、築島兩副會頭、滿洲人側三市商會々長を決定、評議員は座長より十名の委員を指名正副會頭、市商會々長加はり別室に於て詮衡委員會を開催一日休憩後再開して高田座長より委員會の經過に就き日本人側は商議常議員をはじめ市會議員、各區長、官衙、學校各種團體代表三百五十七名、滿洲人側より各市商會幹部外各團體代表百三名、合計四百六十名を詮衡した旨報告、これを諮るや拍手を以て委員會案を可決し散會した

創立總意書

近く事務を開始する協贊會の創立總意書は左の如し

本年七月を期し開會さるゝ大連市催滿洲大博覽會は東亞交通の要衝に當り、近代文化の粹を聚めたる國際都市大連の偉容を表徵する空前の大計畫でありまして實に新興滿洲國の前途を祝福し且つ日滿經濟の提携、產業の開發に資すると共に滿蒙の實相を普く天下に紹介する絕好の機會と謂はなければなりませぬ、從つて此の博覽會の目的を達成せしめ、その成果を完うすることは大連三十萬市民の福利を增進する上に極めて重要なる關係を有することでありまして、此の記念すべき博覽會事業をして有終の美を濟さしむることは大連全市民の義務なりと信ずるものであります、就ては此際市民諸賢の一致協力の下に協贊會を組織し、日滿互に提携して其業績を內外に宣揚し、所期の目的達成の爲め邁進し度いと思ひます、冀くは全市民各位は擧つて絕大なる協贊の實を示されんことを偏に待望する次第であります

理事互選

二日評議員會で

滿洲博協贊會理事(約五十名)は來月二日午後二時より評議員會を開催互選を行ふ筈

收支豫算

滿洲大博覽會協贊會の收支豫算は收入、支出とも十二萬二千九百圓で內容は左の如し(單位圓)

▲收入

項目	金額
寄附金	一〇八、〇〇〇
演藝收入	五、〇〇〇
雜收入	三、二〇〇
不用品賣却代	六、七〇〇
合計	一二二、九〇〇

▲支出

項目	金額
建築費	三一、〇〇〇
裝飾費	一一、九五〇
給與費	八、九九〇
所費	四、八〇〇
寄附金募集費	一、五〇〇
宣傳費	八、三〇〇
接待費	一六、三〇〇
印刷費	三、五五〇
餘興費	一七、五〇〇
備品費	一、五〇〇
大會費	五、〇〇〇
保險料	三〇〇
雜費	一、五〇〇
事務費	五、八〇〇
豫備費	四、九一〇
合計	一二二、九〇〇

再起を誓つて凱旋

白衣の七十勇士離滿

傷ついた身體を白衣に包んだ五十嵐正義中尉以下七十名の戰傷病勇士は二十七日午後四時御用船照國丸で市民多數の見送り、碇泊諸船舶の吹き鳴らす汽笛の音に送られて懷しい日本に凱旋した、熱河討伐の勇ましい數々の戰況を後に白衣に變つた姿で內地に歸る事は勇士にとつて無念の極みに違ひない、見送市民を代表して小川市長は起つて戰傷勇士等に對し感謝の意をこめた送辭を述べる、これに對し勇士等側に代つて五十嵐中尉は力強い語調で

熱河山間で我々戰友が胸のすく樣な奮闘をなし數々の勳功を樹てつゝある時、不幸自分達は或ひは敵の憎むべき彈丸に傷き又は不測の病氣に罹つたりして一應日本に歸らねばならぬが自分達は靜養の上一日も早く全快して今一度劍をかざし、銃をとつてこの滿洲にやつて來ることを誓ふ

と見送りの官民一同に對し元氣なところを示し感激の挨拶をする、一行は門司に八名、他は全部宇品に向ふ筈で主として山海關において日本陸軍の武威を輝かした勇士等である(寫眞は白衣の勇士とダンサーの見送り)

直接行動に

ダンス黨大恐慌

非合法的妨害運動は嚴重に當局で取締る

學生聯盟の排擊運動が下火となつてホッと胸撫下してゐる大連のダンス界へ今度は直接行動の妨害の手が伸ばされ再びホール營業者やダンス黨をおびやかしてゐる――二十六日午後八時ごろと八時半の二回に亙り市內岩代町ダンスホール東亞會館へ拳大の石を投げつけた者あり二階窓硝子二、三枚を破壞したのみで幸ひに人身に被害はなかつたが、同會館では驚いてよりホールにコールターを敷くとか、劍舞を見せにゆくとかの脅迫がましい電話や投書が舞込んでゐる矢先とて非常に神經を尖らし大連署に屆出た、また同夜ベロケから出て來た男女の客に對し三十歲前後の二人連れの男が「不埒な奴だ」と罵りかゝらうとするところへ續いて他の客が出て來たので目的を達せず逃走した事件あり、所轄大連署ではかゝる非合法的な妨害運動に對しては徹底的取締ること、なり目下犯人嚴探中である

徳壽宮跡を兒童公園に

【京城特電二十六日發】京城の中心地である京城府廳前徳壽宮跡を開放するにつき李王職にあつては昨年來種々講究されてゐたが愈々一般府民殊に兒童の爲に提供小公園に改造する計畫にて今春四月の年度初めより本式に工事に着手する樣豫算に費用を計上した、大體の計畫は昌慶苑より牡丹、菊花その他を移植し花壇を設け兒童の遊び場所として種々なる器具を配置し又建物石造殿には現在通明殿に陳列してある繪畫や李王家の秘藏品となつてゐる古美術品をも移して歷史ある建物に對し尊嚴を傷けざる程度に於て公開される模樣である

代用社宅を四百戶

滿鐵が新京で

新京の發展に伸び滿鐵社員の同地勤務者增加と從つて社宅缺乏し、旅宿するもの多きためいよ〳〵新京の住宅難を來たしからしめてゐるので、滿鐵では南滿興業が建築する四百戶を代用社宅とする筈でさきに新築豫算に計上した二十戶建築費も他の土地の新築に振向けることゝならう、なほ代用社宅の建築用地は新京市街の南方鐵道線路寄りの買收地の一部を滿洲國側の土地と振り替へて適當の廣さを得る筈で南滿興業では近く材料の輸送を開始、四月解氷匆々工事に着手するさ

李春潤の一味をけふ奉天へ護送

水上署の取調一段落

本溪湖署と大連水上署の巧な協調連絡によつて檢擧した匪首、東北民衆自衞軍第六路司令李春潤の命を受け東邊道に義勇軍の再組織をなし後方攪亂を企てた奉天省新濱縣生れ第四補隊長兼總參謀司令官孫耀祖(四〇)以下十四名はその後大連水上署において峻嚴取調中のところ審理の一段落を見たので、いよ〳〵奉天に押送する事となり同署福田高等主任を護送指揮に高等係員その他十五名武裝を固めて二十八日午前九時發列車で赴奉する事となつた一件書類と共に奉天憲兵隊に渡される筈

お菓子を行商し純益金を寄附

獨立守備隊へ同情

【新京電話】獨立守備隊はその徵募區域が日本全國に亙つてゐる關係で他の出征在滿部隊に比べると慰問袋その他の配給が迷いのを聞いて山口縣宇部市第四部青年團第一支會田中乙惠氏外二十四名が夜間一袋十錢の菓子を行商してこれより得たる純益金二十圓五十錢を宇部市々役所を經由して獨立守備隊宛に送附して來たが司令官以下その優しい心根に一同感激してゐる

巡査を振り落して絕命さす

【東京二十七日發】二十六日午前四時半頃向島區寺島町五の一番地先道路で寺島署勤務大下正雄(二七)巡査が自動車檢索中王子方面より乘客二人を乘せた自動車が疾走し來り停車を命じたが停車の模樣がないので同巡査は自動車のステップに飛乘り停車を迫つたが運轉手は無言でスピードを加へ白鬚橋に差懸るや同巡査を故意に欄落負傷せしめんと電柱すれ〳〵に運轉したゝめ間に挾まつた大下巡査は後頭部を電柱に激突轉落で車の窓硝子を破壞し其破片で咽喉を傷し人事不省となつて路上に昏倒した、程無く發見され病院に收容したが後頭部の出血激しく午前五時遂に絕命した、急報に依り警視廳は大活動の結果午後四時半淺草區山谷町三ノ四木賃宿谷屋本店二階に就寢中の滋賀縣生れ西川清二郎(二三)を逮捕取調べの結果犯人なる旨自白した

銃後の花にほふ

奉天兵士ホーム

死を覺悟するもこれあればこそ

井上將軍、感動す

【奉天電話】井上獨立守備隊司令官は副官と共に二十六日奉天兵士ホームを訪問し、銃後に立つ兵隊のお孃さんこと久保博士母堂の案內で同ホームの兵士慰問の實況を目擊して殊に打たれ「我々軍人が戰場に立ちて死を覺悟するのも斯うした國民の心から出た慰藉のためで眞に感謝に堪へぬ」と語つたが、兵隊のお孃さんが自ら作つた汁粉に司令官は副官と共に舌を鼓んで美味さうに記念撮影をなし、人々の歡迎をうけて感慨深く歸還司令官以下參謀は銃後に活躍するした、所でその兵隊のお孃さんの許には兵士ホームでうけた慰安に對する感謝の手紙が各地の將士から送られて來てゐるがその手紙の內には

あのお孃さんから頂いた汁粉は美味かつた、餅の味も今に忘れられない、それよりも君は目のあたり戲の母に會つたやうな氣がして懷しい想ひ出に耽つて居ます

さいふやうな感激に滿ちたものが寄せられて「我等には永久の母であつて欲しい」と述べたものもある兵士ホームには兵隊のお孃さんを始め多數の夫人、令孃が詰めかけ毎日戰場に向ふ勇士の慰問をなして居るので此處ばかりは和やかな春に銃後の人が花を咲かせて居る

あす慶祝大會

國都、歡喜に皷動す

第一次式典と大祝宴

【新京電話】三月一日慶祝大會當日執政府においては午前十時半より政府官吏一同參集執政の前において祝杯をあげ三敬禮の後、執政より訓示を賜り萬歲を三唱して第一次式典を解散、引つゞき午前十一時半より市內勸民樓において大祝宴を擧行する筈であるが、當日は特に武藤全權大使も出席し慶祝の交驩を行ふ筈である

式次

中繼放送と實況撮影

【新京電話】慶祝大會の式次は左の通り正式決定した

一、官民入場
二、軍樂隊國歌吹奏
三、國旗掲揚三敬禮
四、金市長の開會の辭
五、執政府代表の執政教書の敬讀
六、國務總理の訓示(白井秘書官通譯)
(通譯附)
七、鄉幹事長の祝辭(通譯附)
八、日本全權大使祝辭(通譯附)
九、萬歲三唱
十、閉會の辭

以上は式場より日本及び近傍諸外國に向つて詳細に中繼放送すると共に映畫班四班によつて實況を撮影一般に知らしめる筈

旗行列

二萬人參加

【新京電話】旗行列は日滿合體で官吏千名、邦人團體員五千名、各公私立學校生徒三千名、軍人三百名、一般市民約一萬人及び日本側佛教團體約五百名が參加して軍樂隊を先頭に新京附屬地及び城內を大行進をする筈である

日滿中央協會 建國記念祝賀

【東京特電二十七日發】三月一日の滿洲國一周年記念に當つては東京大阪その他各地に盛大なる記念祝賀式が行はれるが東京新聞日滿中央協會では駐日滿洲國代表公署、拓務、文部兩省、東京市の後援により一日午後一時より日比谷公會堂において盛大なる祝賀式を擧行することゝなつた その順序は宮田會長開會の辭を述べ鮑滿洲國代表の謝辭あり、次いで永井拓相、鳩山文相の祝辭挨拶あり、本庄將軍の萬歲三唱にて一先づ式を閉ぢ、餘興に移り藤間勘八師の舞踊越後獅子杵屋彌七長唄鏡獅子等の出演あり、杵屋女塾五十名と春はうつろ、遙かに滿洲國の發展を祝福することゝなつてゐる

成層圏

本子さんを慕ふ男

阪急沿線寶塚梅野、旅館兼料理業春駒こと若葉はるさん方へ去る二十一日から投宿中の和歌山市海屋町土浦鶴雄(二三)と稱する學生風の青年が、二、三日經つてから突然バットを飲して飲み自殺を計つた 姉婦に宛てた一通の遺書の他に不思議な一通の書面が添へてある、それには

哀れな樓內本子さん(この程自殺した樓內辰郎氏令孃)の天國への道づれになります

と書出し、その後へ樓內辰郎氏へ草場の露と消えた娘を何んと思はれるか その旨を傳へてくれと認めてあつた。

ダンス排擊の自殺

大阪府三島郡春日村中穗積、大夕ク俱樂部長谷安一氏妻靜枝さん(二七)が猫いらずをのんで死亡した、原因は最近夫の安一氏がダンスに凝りはじめたところから姙娠七ケ月の身重の靜枝さんが神經を奇立たしたゝめらしいが遺書には

「……夫がダンスに凝れば妻も子どもを生んで空身になつてダンス等と何處へなと行けばよいのだが！男ならば誰れでも一人で樂しい目をするがこれは男にのみ許さるべきものではなく女は皆仕方なしに淋しく我慢をしてゐるのだ……男のやることが呪はしい……こんなわがまゝな貴方の妻の言葉として〆はなしに一般女性の持つ惱みださいふことをお承知下さい……」

など夫や一般の男性の放逸な行爲を呪ふ意味が書き綴られてあつた

インチキ美髮油

最近北大阪を中心に怪しい美髮油を賣りつけ歩いてゐた男……山口縣熊毛郡淺江村生れ山口照雄(二三)といひ古道具屋で仕入れた顯微鏡を手に相手方の家を訪問しては家人の髮の毛を一本々々拔いた上で「毛根に肺病第二期に相當する惡性の蟲が寄生してゐるからこの藥油をつければ根絕し髮は艶々と若返る」と巧に欺いて赤、青、黃などの五色の藥を調合して原價五十錢のものを五圓七圓の高價で賣りつけ廻つてゐたものである

おいらんの檢討

日本に特異な藝妓と花魁の調査のため一昨年來朝した國際聯盟婦人兒童賣買東洋調査委員長バスコム・ジョンソン博士などの日本に關する調査報告書は來る三月二十七日から四月六日までゼネヴァの第十二回婦人兒童賣買禁止委員會で檢討されることゝなつた、なにしろ問題が我國の不名譽な名物――公娼制度に關する批判でありその結果が全世界に公表されるといふので當局から代表者を開會地に送ることに決定、二代表が選ばれた、一人は內務省事務官小菅芳次、他の一人は拓務省書記官笹川[illegible]三郎氏何れも少壯官吏でこの若きアンチ・エロ代表の[illegible]は大いに[illegible]されてゐる

鑑識係に警部

關東廳刑事課では從來鑑識係主任に警部補を置いてゐたが各署との連絡上警部を置くことゝなり今回奉天警察署司法係の平川高市警部を鑑識係主任に任命、同氏は二十七日着任した

三原山噴火口に浦高生投身

【東京廿七日發】富田昌子の「死の案內」以來自殺名所化されて來た三原山の噴火口に今度は浦和高校生が投身した、即ち二十六日午前十時三十分頃東京動產火災保險會社契約課主任柴山新吾氏外數名が三原山に登山し噴火口を見物中一名の學生風の男が被てゐたマントを脫ぎ棄て投身自殺を遂げたのを目擊し大島署に屆け出でたが浦和高校田口信男(一九)と云ふ汽車パスを持つてゐた

遞相令孫奇禍

【東京二十七日發】二十六日午前十時半頃淀橋區下落合二ノ八一一飯沼一省氏長男一慶君(一四)が祖父の澁谷區榮通二ノ六南遞相私邸を訪問しての歸途一省氏と共に同區榮町通二の二先きを通行中突然背後から疾走して來た自轉車に追突され一慶君は後頭部を打撲腦震盪を起し人事不省となつたが手當の結果恢復した

岸博士の別莊燒く

【鎌倉二十七日發】二十七日午前六時半頃逗子海岸にある體育協會長法學博士岸淸一氏別莊より發火し百七十坪の二階建洋館を全燒し午前八時鎭火した、博士夫妻は就寢中にて漸く着の身着の儘にて逃れたが損害額十萬圓である

豫備馬競賣

大連憲兵分隊では三月二日午前十時より陸軍の貸付豫備馬一頭を競賣に附すさ

安樂椅子

いかめしい中にもユウモアあり、さる隣人が、關東廳警務局管下高等警察官の族稱色分けについて調べた處によれば……

◇

まづ四十七士若くは新選組を想はせる名前に奉天警察高等主任の伊藤角太氏を初めとし引地源治兵衛(瓦房店)宇和田源藏(營口)岡本多郎兵衛(營口)寺尾壯吾(警務課)門傳半右衛門(保安課)の諸氏がある。

◇

次に貴族出身かと思はるゝ者には、警務課の小松跡辭主任を筆頭に島田智樂(奉天)中村智全(鐵嶺)藤島宣法(高等課)鈴木尙賢の諸君あり、更に御殿醫風のものに杏園俊範(高等課)大津爲楠(奉天)沖賢[illegible](大連)の諸君などがある。

◇

かと思へば探偵――イヤ失禮、かの新撰の御用君を連想さるゝ者に關原警部の加藤庄市、奉天署の平川高市、警察部の伏見正市、營口の[illegible]市の諸君あり、これは何んとしたことだ。

海と空と (124)

高杉晉一郎作
橋本清史畫

明暗(十二)

自動車は隧道を出た。

忽然、眼下に旅順市街が低く展開して見えた。町の向ふには歷史の港が鈍く眠つて、やゝ速度の增した雪がひら〳〵と港を町を降りこめてゐた。曇つた空を背景に白い表忠塔の姿が右手へ顔を見せてゐる。左は黃金臺の岩藍で、外海の波は可成荒れてゐた。

瑞枝はうつとりと眠さうにその風景を眺めた。溫泉地へ着いたやうな氣持だつた。

「ぢや、ね。今晩は泊つてもいゝでせう」

鉛山が甘い聲を出した。

自動車はぐん〳〵坂を町の方へ下り始めた。

「嫌や。今の約束を實行して下さつてから」

「そんな……」

「だつて、それぢやペテンにかけられないでもないぢやないの」

「また、僕を信じてゐないんですね」

「そりやさうよ。實行と口とは天地の違ひだわ」

町の往來は繁くなつて來た。町の往來は稀なものだつた。偶に通つてゐる人はみな外套の襟を立てゝ身を屈めて步いてゐた。

小さい旅順の町を縱斷するのは五分もかゝらなかつた。自動車は間もなく驛の前に着いた。

「御苦勞さま」

鉛山が貨鍛を振ふと、運轉手は恭々しく一禮して直ぐ町の方へ引返して行つた。

二人は驛の待合室へ入つた。瑞枝はつか〳〵と時間表の前に行つて立つた。調べて見ると、大連行の終列車が七時五十八分で、その一つ前のが四時だつた。彼女はその發着の間遠く不便なのに驚いた。然し此の小さい支線の果にさう激しい人の往來もない筈ではあつた。彼女はふと鉛山の旅順へ誘つた思惑に觸れた氣持でにやりとした。四時ので歸らう、と思ひながら時計を見ると、四時三分だつた。

「あらつ」

ぢやもう出たのだ。彼女は傍の驛員を捕へた。

「えゝ、今出たところです」

「ぢや終列車まで待たなくちやならないんだわ」

鉛山は知らぬ顔で默つて立つてゐた。(それでも終列車で歸らうと云ふだらうか、それとも面倒になつて此處で宿をとつて了はうと云ふだらうか)

「あと、約四時間ね」

瑞枝は自分の時計をぴつちり驛の時計に合してから、鉛山を顧みた。

「それまで何處かへ案內して下さる?」

「歸るんですか?」

「歸りますとも」

鉛山は默つて了つた。何處までも念の入つてゐる瑞枝だ。それが又彼を一層魅惑するのだつた。彼は思ひ出を甜めるやうに唇を甜めた。

「ね。もう雪も降つてゐるし、私町なんか見たくなくなつたわ」

瑞枝の言葉は急に親くなつてゐた。

「今度は汽車で大連まで歸りませうよ。さうして今夜實行して下さらない?」

「…………」

「ね」

「今夜でなくてもいゝでせう」

「今夜よ。さうでないと貴方はいつ決心が變るか解らないから」

「そんなに僕を信用しないで、何故僕に大切だとやらの唇を呉れたんです」

「だから貴方だつて、今度は私の云ふこと背いて呉れたつていゝぢやないの」

彼女はそつと左手を鉛山の背へ廻した。

「ね、ね、」

「驛へ」

鉛山は運轉手へ聲高に命じた。瑞枝はにやつと右頰だけで笑つたさうして一層強く鉛山の横腹を抱いた。

屈折した傾斜路を快速度でかけ降つて、自動車は田舍びた旅順の舊市街の中へ突き入つた。驛は次

けふの放送

大連 JQAK 二月二十八日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 ラヂオ體操第一
▲午後六時 ニュース
▲講話(六時三十分)「熱河省の自然と宗教」小林胖生
▲口笛獨奏 一、地に眠れるマッサス、フォスター作。二、私の太陽、カプア作。三、荒城の月瀧廉太郎作。四、嘆きの小夜曲トセリ作。西田祐四郎、ギター伴奏荒井喜治、マンドリン助奏高田秋子
▲長唄「春秋」唄杵屋榮多賀、同森じよう子、三味線小林雪枝、同吉本綾子

東京 JOAK 三月二十八日

▲義太夫「伊賀越道中双六沼津の段」淨瑠璃丹村時勢、三味線仙瀧
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報
▲支那唄「換太子」唱彼霞、師付王振泉
▲ホルン獨奏と管絃樂(六時三十分)新交響樂團練習所より(一)ホルン協奏曲、變ホ長調、モーツアルト作曲、第一樂章アレグロ、第二樂章アンダンテ、第三樂章ロンド(二)交響曲、第四十番ト短調、モーツアルト作曲、第一樂章アレグロモルト、第二樂章アンダンテ、第三樂章メヌエット、第四樂章アレグロ・アッサイ、ホルン獨奏上宮勝、日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット
▲長唄(七時二十分)「橋辨慶」唄杵屋勝五郎、坂田仙三郎、杵屋佐五郎、三味線同佐三郎、同佐七郎、上調子杵屋佐助、笛梅屋竹次小鼓同金太郎、福原貫三郎、大鼓梅屋左十郎
▲講談(七時五十分)「諏訪原仇討」仇討傳の五「諏訪原仇討」太田貞水

▲婦人倶樂部(三月號)第一の「一流行新型春向き毛糸編み物」が四六判百六十四頁の編物手引書、婦人女學生、小學生、赤ちやんと夫々向々に從つて最近流行ごころを念入りに指導してゐる。第二の「額面用傑作泰西名畫集」五枚、第三の「幼稚園小學校男女兒新型通學服實物大型紙」殊に第三は兒童の入學期に家庭では大歡迎の結構なもの、小說では菊池寬の戲曲を加へ、又實話物では「坂東好太郎苦闘史」も好讀物である「お母さんと先生の家庭教育座談會」も時節柄重要讀物である。

軍用列車に阻まれ 泥字子驛で立往生

第一報を握った儘絶食一晝夜

錦州に歸着した 五百旗頭特派員

【錦州】〇〇〇日朝南嶺近くの丘陵まで早川部隊の本隊を見送り〇〇〇の前で最敬禮をした記者はこの掃匪先頭部隊の第一報をもたらすべく歸路に就くこととなつた、記者としては更に前進を期してゐたが時間的にこれ以上進むことは後方との連絡を絶たれるおそれがあるため敢然引返しを決心した、然し引返し同行の從軍記者五名、朝陽寺まで二里の行程には

相當の危險 を豫想しなければならない、人家の少ない山の狹間を默々として自分達は進んで行つた、川の凍てついた上を歩き漸く人家を見つけだした一行は餘りの咽喉の乾きに遂に一軒の百姓家にお茶を乞ふた、氣遣つてゐた心配もなく彼等は喜んで我々の歡待につとめ物珍しげに集まつて來た子供達にキヤラメルを配ると

心から嬉し げに「多謝」「多謝」を繰返してゐた、これで我々を餘程の大人と見たのか彼等の態度は急に變りアンペラの上に敷物まで出して坐れと奬める、壁に懸けられた鐵砲が一種の薄氣味さを與へたが我々も心からおいしく番茶を飲みながらお禮に集まつた大人にも子供にも一人づゝ十五六名にスペアーを一箇づゝ與へると彼等は私達の荷物を擔いで驛まで案内するといふ

村の村長が 何くれとなく心配をして村の端れまで見送つてくれる、日本の田舍氣風をそのまゝに傳へる純朴な農夫のこれ等の態度がすつかり私達を安心させてくれた、もう匪賊は大丈夫だと思ふと荷物が無くとも却つて足の重みを感じて來た、朝陽寺に十時到着、一行に現大洋二圓を與へると何度も何度も頭を下げ悠々と驛の見物をしながら歸つて行つた、驛駐屯の矢部少尉の親切で早速錦州歸りの車を利用することが出來た、しめた

讀者に案外 早い第一報をもたらすとが出來るぞ、私は心から愉悦を禁ずることが出來なかつた「もう遲くとも夕刻までには錦州につける」安心し切つた一行は驛で辨當をすつかり平げ歸りの列車に乘込んだ、こゝまでは私の豫定は全く順調な運びを見せてくれたのであつたが思はぬ不覺が私にあつたのだ、朝陽寺から錦州までそれは平常であれば二時間半乃至四時間で到着したものであるが錦州から引つきりなく送られる後續

軍用列車が 各驛共に滿員となり然も同線が單線であることは極度に列車の運行を阻害し、しかも通信方法は完備せず、引返しの車は結局途中の驛で數時間の待避を餘儀なくされる結果となつた、〇〇〇日午前十時に乘込んだ吾々の車は今晩中に着くかどうかも解らぬと車掌は云ふ「前の驛も錦州も列車で一杯です」これは午後三時半泥字子に着いた時の情報であつた、夕闇は迫つたが列車は出ない、午後九時依然列車は泥字子に止まつたまゝである、火の氣のない車中は

防寒具の中 にまでヒシヒシと沁み込み到底堪へられなくなつた、一同は期せずして滿洲國兵隊で一杯になつたストーブのある車掌車に逃げ込んでしまつた、腹は極度に減るし、冴へてくる神經に容易に寢つかれさうにも無い滿洲國の兵士達も朝から何も食はぬと言つてゐたがその悠々たる態度が一種の腹立たしさをさへ與へるのであつた、軍用列車が一つ二つと横を通り抜けて行く、計六ケ列車、私の氣持はますます〳〵とあせつて來た「島田との連絡」「山口との連絡」それよりも心配になつたのは〇〇日午前二時

早川部隊の 到着と共に直に朝陽寺から引返した連絡の山代件がこの調子で立往生であれば大變だといふことだ、心配しても追付かないとは解りながらこの時ばかりは自分は眞劍な氣持で神に祈つた、眼から涙がポロ〳〵と落ちた、足の疲れも忘れて寒いプラツトホーム十度位は往復した、本當のところ「死」といふ連想までが私の頭にはつきりと浮んで來た滿洲國兵の仲良く雜魚寢、〇〇〇日午前六時漸く列車は錦州驛の次驛許可屯驛に到着した

絶食一晝夜 折良く乘込んだ兵隊さんに貰つたハンゴの飯を五人で分けた時の嬉しさ、その時には私の氣持もすつかり落落つきに落ついてゐた、午前九時錦州驛安着、所要時間二十三時間兎に角第一報は送れる、不安な裡にも何となく一種の安心さを覺えて、ホツとした氣持で私は連絡係白石君の事務所を訪れた（廿二日錦州に歸着して）

領事制度の解消は絶對ない

岡本安東領事歸任談

【安東】去る二十日より二十三日まで新京大使館において開催された在滿領事會議に出席した岡本安東領事は二十四日夜歸任したが語る

今回の領事會議は武藤大使、小磯參謀長以下頗る緊張裡に重要事項の協議を爲したが内容を語ることは避け度い、今日まで種々な問題について可なり解し得ない點もあつたが今回の大使館の訓示に依つて全く釋然とした、將來日系滿洲人側の誤解無きやう日滿融和を旨として何處までも滿洲國を盛り立てゝ行かねばならない、夫には在滿各地領事が奮起して在滿同胞の指導に當り非常時國民としての覺悟を促すやうに訓示を受けた、それから在滿領事制度の解消を云爲する者もあるやうだがこれは非常な誤解である、今日滿洲國は嚴然たる獨立國であるから領事制度を設けることは當然であつて今後領事制度の機構改廢は或は行はれるかも知れぬが解消するなどは絶對に有り得ないことである

協和會分會發會式盛況

【開原】開原日滿官民は滿洲國建國一周年に際し滿洲國協和會開原分會を設置すべく協議の結果、協和會中央事務局の承認を得て二月二十六日午後二時開原縣教育局内において日滿官紳七十餘名參集し盛大なる發會式を左の順序に依り擧行した

一同集合午後二時、執政肖像に敬禮、式詞縣長常守陳、經過報告佐竹令信、分會規約討議、分會長推薦、委員選擧、常務委員推薦、鄉協和會々長祝詞、協和會本部員廣吉氏祝詞、小川地方事務所長祝詞、大隈公學校長祝詞、祝電朗讀田所中佐、鞍山分會、本溪湖分會記念撮影、宴會

なほ分會長は滿場一致を以て縣長常守陳を推薦し委員三十名を分會長指名推薦し其委員中より宮内虎四氏を常務委員に推薦し祝詞、祝電朗讀の後、庭前において記念撮影、續いて宴會を催し滿洲國の萬歲協和會萬歲を三唱し午後四時四十分滿足裡に閉會した、當日開豐汽車公司は縣長の依頼に應じ特に出席者の爲めに客車一輛を連結し無料提供されたる篤志に對し分會發起者は深く感謝してゐると

撫順の戸數割

【撫順】撫順區の昭和八年度公費豫算を見ると、邦人だけでも五千餘戸を數へてゐる當地の戸數割納税者が僅かに四千百二十四人と少數となつてゐるので、現住戸數、賦課標準に就き炭礦地方係につき調査したところ次の如く撫順現在の居住者總計一萬九百九十九戸あり差引六千八[illegible]五過半數の免除者があることが判つた、尤も免除者の多いことは沿線各地同樣であり植民地なるが故に滿鐵からも年々數百萬圓の補給金（公費補助）を支出してこれ等を補うてはゐるわけではあらうが、撫順八年度の戸數割總額六萬一千三百三十三圓即ち納税者一人當り平均十五圓といへば相當額の支出たるべく而も居住者の六割以上が右税を免除されてゐる狀態で甚だしく市民負擔の公平を缺いでゐるやうである

	現住戸數	賦課戸數	免除戸數
邦人	五、一二五	三、六九一	一、四三四
滿人	五、八四三	三六八	五、四七五
外人	七	一	六
法人	二四	二四	—
計	一〇、九九九	四、一二四	六、八七五

鳳凰城署好績

【鳳凰城】鳳凰城警察署では曩に高等科生筆記試驗に五名の合格者を出したが今回旅順に於て行はれた口答試問に左記四名合格した旨發表されたが、同署は開署早々で匪賊討伐に警戒に寸暇なき狀態に拘らず四名の合格者を出し他に見られぬ好成績で署の誇りとして署長以下大喜びである

吉住倹雄、櫻井謙吾、沖孝四郎、上村丈夫

人命救助表彰

【鞍山】鞍石山勤務保線區線路工長大河八郎氏五男身德（七）は去る十八日午前十一時ごろ同地共同浴場附近で遊戲中過つて浴場汚水の溜池に落ち悲鳴を揚げてゐるを共同井戸へ水汲みに來た同地近藤正美方の雇人王招江（一五）が聞き驅つけて引揚げ假死狀態に陷つてゐる身德を抱へて驛本屋に驅込み驛員と協力危ふい一命を助けたるが右の行爲を報告によつて知つた鐵嶺署では關東廳に對し人命救助の功により表彰方を申請したが王招江は性質頗る溫順で雇主は勿論附近の者から可愛がられてゐる滿洲國人であると

安東税關の分關設置に決定

中村税關長新京へ

【安東】安東税關の鴨綠江上流における分關新設については實地踏査の濱田監視部長の報告に基き中村税關長が研究中であつたが大體長甸河口、外含口、輯安、臨江の四ケ所に設定することに内議を整へ中村税關長は三月三四日右案を齎して財政部と協議のため新京に赴く筈である

狂舞する不貞の女性

飛んだ墮落者

【奉天】ジヤズの狂躁に狂舞する女性それは彼女は不貞の罪狀持ちである……神奈川縣小田原町生れ、市内加茂町十四番地明星ダンスホールのダンサー里見あつ事小王さく（二一）は横濱署の身許調査により情夫と手をとつて家出中のお尋ねものであることが暴露したので二十一日限り廢業し夫の許に歸ることになつた即ち小王さくは妹の名前であつて本名はむめ（二三）と稱し彼等が十八歳の時横濱市中區[illegible]田町濟川榮太郎（三九）と結婚し本年六歳になる男の子まであるが生[illegible]つて浮薄な彼女は濟川と同居中南鄉德輔（三二）と昨年三月手に手をとつて駈落し所在を晦まして居たが昨年來奉天に來てダンサーとなる時自分の名前を出すと身許が判るので妹の名前を利用して居たものである

在滿鮮人の視察團

【鐵嶺】朝鮮總督府では既報の如く在滿鮮農有力者を以て鮮内各地の諸施設視察團を組織せしめ補助を與へて農業の改善に資せしむる爲め在滿各地鮮人會に對し視察員の人選を命じ鐵嶺民會にも最初五名を指定して來たが更に三名を追加し八名參加を許したので鐵嶺鮮人會は人選の結果

鐵嶺縣沙地李宗洙、楊木林子金在奎、市内鄭昌柏、鉾山屯鄭寬燮、開原施家堡子桂振、下肥地金洪默、馬市堡朴相奎、康平縣公河來許永烈

の八名を選び一行は去日既に南行したが、視察日程は約二週間であるさ

お化粧の常識　十五

最も生きた表情のある近代的な白粉は?

粉化粧の仕方

光川京子孃

白粉の表情……など、云つたら可笑しいでせうか? 私は白粉にも夫々表情が有る、と云へると思ひます。例へば鉛白粉の青白く冷い表情、あるひは或種無鉛白粉の厚ぼつたく何と無くドンヨリした表情——斯ういふ風に申して參りますと、一口に云つて艶やかに生きた表情、如何にも明るく生々とした表情のありますのが、皆樣も御承知のチタニウムに特殊の成分を配合して成功致しました評判のサーワ白粉、先づ此白粉を擧げなければ成らないと思ひます。

◇

何れの意味から云つても全然身體に無害で、そして之丈素晴しいお化粧效果の擧がる白粉が出來ました事は、御同樣お化粧を致します身に採つて大慶の至りと存じますが、而も尚此サーワ白粉だけに就いて申して見ましても、同じく生きた明るいお化粧が出來ます中にも固煉、煉、或ひは固形白粉の類とそれから水白粉の類と、及び粉白粉の類とでは又其お化粧效果に夫々特長が有り、云はば其表情にもそれ／＼微妙な相違があるものと私は存じて居ります。

◇

サーワの固煉や固形白粉の類を溶いて、見るから鮮かにくつきりと濃く襟白粉をなさいましたのも昔ながらに床しい純日本風のお化粧で、殊にサーワの特長であります其艶の冴々した美しさは、全くいゝゝ、くつきりと白く、とのみ申す外はありませす、又サーワの水白粉、ど區別無く一樣にお化粧なさいましたのも、云はば藤たけて麗しく、白と其處に高尚な氣品が漂ふ思ひでございますが、特に此頃よく耳に致します個性化粧、生きた中にも一際生々としたお化粧——詰り特に表情的なお化粧と申しましたら、矢張サーワの粉化粧では無からうかと存じます

◇

勿論煉にせよ水白粉に致せ、お附けに成りました白粉の仕上には大抵此粉をお用ひに成りますのも右の樣な原因からで御座いませう。が、全くサーワの粉白粉はお化粧全體に一層和味を出しまして、一層自然的な生彩美を現します。

つまり私の申します最も近代的な表情ある白粉と云へば、先づ此サーワの粉白粉だと存じます。

◇

[illegible]と存じますが、サーワの粉白粉には色味が都合四種ありまして、純白の冴々とした美しさは申す迄も無い事、肌色の穩かで萬人向なる、新肌色の高尚な肉黄で流行の黄色化粧に適して居ります、又濃肌色のやゝ澁味があつて見るからに飛付き度いやうな好もしい色味で、健康美化粧に無くては適はぬ、等、々、お好み次第の色味が御座います譯で、實際之等を巧みに用ふ事に依つて、近代的の個性化粧、表情豐かな、從來に無い生々したお化粧は思ひの儘で御座います。

◇

普通サーワの粉化粧は、例へば先づミツワ石鹼の樣な肌當りの緩和な洗料で、地肌の汚れを除りますのは、之は總てのお化粧に共通の話ですが、それからサーワのヴアニシングクリームで下地を作りますが、クリームは決して多く用はず、小量をムラ無く平均に擦込む事が肝要でございます。

まだお寒さの折ではあり、又お肌によつてはサーワのコールドクリームを用はれても宜しいのです

◇

詰り小量のコールドクリームを一面によく擦込みまして、ガーゼで鼻を中心に外側へ／＼と丁寧に之を拭除るのですが何しろ脂肪性のクリームですからガーゼは一度取換へた方が一層キレイに除れます。そしてサーワ化粧水を濕した脱脂綿の切れでもつて全面を輕く叩くやうにして又クリーム氣を拭除る、之で下地は出來ました。

◇

それからサーワの頬紅をお顏の形に從つて附け、水刷毛でボカして後濕りを押へ、さて愈々パフで好みの色の白粉をポン／＼と打込むやうに刷くのですが、此白粉も一度に餘計を塗られない方が巧く行くもの、樣で御座います。

倘もつと重れ度ければ、一變掌に伸ばした極小量のヴアニシングクリームでお顏を挾むやうにして、特に小鼻の周り口の邊等崩れ易い部分をよく押へて、それから再びパフを用ひます。

◇

そして濃淡よろしく出來ましたら、再びクリームなり化粧水なりで押へて、眉や睫毛、又生際其他の要らぬ白粉を除き、それからサーワの口紅と眉墨といふ順序で、それこそ見違へる程生きたお化粧が出來上ります。

◇

表情の美しいサーワ白粉のお化粧の中でも、最も表情饒かなお化粧は此粉白粉で、白粉の色味の御選擇が又一層其效果を擧げるわけで御座います。

◇

例へば色の黒いと云ふ事も唯今では決して苦に病む必要はありません譯で、と申しますのが矢張サーワの新肌色の粉白粉、若しくは同じ色味の水白粉をお用ひなさいませ。全く品のある美しさで、生きた表情のあるお化粧が出來ますから。

從つて黒いながらも平生のお手入れに依つて、皮膚に生々とした艶があり、所謂肌理さへ細かなれば決して見苦いものでは御座いません。ですから黒いなりにも荒らさないやう、毎夜就寢前には必ず皮膚を清潔にした上で、サーワのコールドクリームを榮養料として一面に塗込まれて、其後を拭いて置かれるのが宜しう御座います。

序でながら中年の方でもサーワの新肌色か濃肌色の白粉をお用ひに成れば、必度幾つか若く見へ、極すつきりとした效果が擧ります

◇

サーワの固煉色味二種、粉と水白粉色味各四種づゝ、他にヴアニシングクリームとクリーム白粉、以上十二種携帯用小器入一揃ひ、郵券五十錢(一種なれば五錢)封入東京日本橋區米澤町ミツワ石鹼本舖丸見屋商店へ御申越次第郵送。

小冊子『白粉の常識』 新聞名記入御申越次第送呈 東京日本橋區米澤町 ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店

大連汽船出帆

- 青島上海行 午前十一時 長春丸 三月一日／奉天丸 三月四日／大連丸 三月七日
- 天津行(大津渤航) 濟通丸 三月二日正午九時／長平丸 三月四日午前十時／長平丸 三月六日午前十時
- 浮州龍口行 龍平丸 三月二日午後五時
- 基隆・高雄行(船客搭載) 山東丸 二月八日正午
- 長崎・基隆・高雄行(船客搭載) 山西丸 三月十日正午
- 山東丸 三月九日午前
- 新潟・伏木・敦賀行 河北丸 船客搭載
- 阪神行 標華丸 三月十三日正午
- 長崎、三角、鹿兒島行 長順丸 三月三日

大連汽船株式會社 電話代表番號七一三一番

永和公司 專屬荷客扱店(大連敷島町) 電話七二七五・七八六八

澤山兄弟商會 阪神航路荷扱店(大連須磨町) 電話四五二六五・四六八一

丸二商會 臺灣航路荷客取扱店(大連敷島町) 電話五八八八・四二六四番

乘船切符發賣所 ジャパンツーリストビューロー 大連案内所電話五五五四番

日本郵船出帆

- 歐洲行(りおん丸) 對馬丸 三月七日

近海郵船出帆

- 神戸、大阪 橫濱行 淡路丸 三月三日／勝浦丸 三月八日／宮浦丸 三月十七日／玄武丸 三月廿三日
- 天津行 勝浦丸 三月三日／宮浦丸 三月十二日／玄武丸 三月十八日／淡路丸 三月廿四日
- 基隆 高雄行(神州) 第二養老丸 三月二日／神州丸 三月六日

朝鮮郵船出帆

- 青島仁川行 會寧丸 三月十日
- 仁川博多長崎鹿兒島行 錦江丸 三月二日

朝鮮鐵道各主要驛及本會社寄港地は貨物受渡發行滿鐵との連絡貨物取扱致候
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候
水路圖誌海圖販賣所 キューナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話(三七三九番・七八四六番・六七一三番)
丸二商會 專屬客荷取扱所 大連市監部通吾妻橋 電話四二六四・五八八八
乘船切符發賣所 ジャパンツーリスト・ビューロー 大連伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

川崎汽船出帆

旅客及貨物

- 各船(重量噸五、一〇〇噸 建造一九二〇年 速力十二浬半)
- 横濱、芝浦行 吳淞丸 大連發 二月廿一日／横濱着 二月廿七日／芝浦着 三月四日
- 横濱、芝浦行 浦鹽丸 大連發 三月一日／横濱着 三月五日／芝浦着 三月十五日

詳細は左記へ御照會被下度
川崎汽船大連代理店 大連市山縣通一九九
山下汽船株式會社大連支店 電話代表六一八四番

松浦汽船大連出帆

- 芝罘、龍口行 福壽丸 二月廿八日午前六時
- 登州、角、暢行 泰康丸 三月一日午前六時
- 衞、芝罘、威海、仁川行(利通號) 三月四日午後六時
- 廣島縣愛媛縣岡山縣 命令定期大連瀨戸内海線
- 門司宇品尾道今治行 照國丸 二月廿七日午後四時
- 宇野 門司着 三月二日前六時／宇品着 三月三日前五時／今治尾道着 三月四日後四時／宇野着 三月四日後四時

宇品より今治へ接續いたします
廣島 愛媛 岡山 三縣人に限り二割引致します
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
松浦汽船株式會社 大連市加賀町三〇 電話六一一七・六一一八番

日清汽船出帆

- 青島 上海行 唐山丸 二月廿八日／嵩山丸 三月十日／華山丸 四月五日

代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬荷扱所(大連山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行 每偶數日午前十時出帆

- 香港丸 三月二日／うすりい丸 三月四日／ばいかる丸 三月六日／うらる丸 三月十日／亞米利加丸 三月八日／はるびん丸 三月十二日
- 上海福州行 長沙丸 三月六日
- 基隆高雄行 福建丸 三月十四日
- 後三時出帆 盛京丸 三月十六日
- 天津行 武昌丸 三月八日／貴州丸 三月十五日／河南丸 入渠中
- 橫濱行(客室完備) 貴州丸 二月廿八日／武昌丸 三月十三日／河南丸 入渠中
- 紐育行(神戸、四日市、橫濱經由船客設備なし) 山陽丸 二月廿七日

大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
奉天出張所(電四〇八九) 新京出張所(電二二一六)
御乘船切符發賣所 ツーリスト・ビューロー 大連伊勢町案内所(電五五五四・四七一三)
安東案内所(電一〇〇六) 大連沙河口出張所(電九五〇六) 營口案内所(電一三七六) 撫順案内所(電二五四八) 奉天案内所(電三九一四) 新京案内所(特三三九) 哈爾濱案内所(電四七八八)
御乘船切符取次所 大連市伊勢町(電三六八二番) 滿洲旅館協會
專屬荷扱所 大連市山縣通 國際運輸株式會社 電話三一五一番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番 當社左記の場所にて荷物發送引受地各港と連絡引換證發行致します 奉天・營口・公主嶺・鐵嶺・開原・四平街・新京・吉林・哈爾濱其他

阿波共同汽船

- 芝罘、威海、青島行 第十六共同丸 三月一日午後七時
- 芝罘、威海 第二十六共同丸 三月二日午後七時
- 衞、芝罘、仁川行 第卅六共同丸 三月一日午後七時
- 芝罘行 第十八共同丸 三月二日午後七時
- 仁川行 長山丸 三月一日
- 鎭南浦行 長山丸
- 天津行 長山丸 三月六日午前六時
- 青島行 第廿六共同丸 三月 日

滿鐵とは貨物連絡取扱致候 大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店 電話六八九一・五〇〇一
切符發賣所(大連市伊勢町)ジャパンツーリスト・ビューロー 電五五五四・四七一三番

島谷汽船大連出帆

- 朝鮮、北陸、北海道行 朝海丸 三月五日
- 明石丸 三月十七日 寄港地、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
- 朝鮮、北陸、北海道、樺太行 鮮海丸 三月廿八日
- 日本海丸 四月十九日 寄港地、鎭南浦、仁川、釜山、境、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、船川、函館、小樽、大泊

國際運輸と貨物の連絡輸送取扱致候
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電話四七一一・三四八二
乘船切符發賣所 ジャパンツーリスト・ビューロー 伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

國難日本刀（256）

高桑義生作　京極佳夕畫

曙の勇士（十一）

それから數日の後。

むらさき色の曙だつた。

空はほのぼのと醒めて行つた。

そして鏡のやうに靜かな海である品川の棧橋に、見なれぬ型の帆前船が横着けになつてゐた。新式の帆船で、蒸汽機關をそなへてゐるものだつた。漢字で朱書きの曙丸といふ文字が、あざやかに波に浮んでゐる。

甲板では、若い、元氣な水夫たちが、出船の支度にいそがしい。彼等を指圖してゐる者は、ひさり美風の洋服姿だつたが、それはだてんの彌吉である。

出帆準備はとゝのつた。彌吉は朝の微風に胸を張つて、陸をながめてゐる。と、船尾の方から、支那服の男が、彼の傍に歩み寄つた

「船長、なかなかうまいですね」

「おゝ、楊大人か。ひやかしちやいけねえ」

支那服は楊夏生だつた。にわか仕立の船長彌吉は、さすがに嬉しさうに、ほがらかな笑顔を見合したが、

「ほんさうにうまいです。本職です」

「さうかね。船乘になるのは、初めてだが、おいらは海で育つたから、見やう見眞似でやるだけの事さ。日本人は、海國男兒といふくらゐ、誰でもやるのだよ」

「さうですか」

彌吉は再び陸上に視線をなげて、

「おゝ、お出でなすつた」

「………」

「お出迎へをしなくちやならねえ」

彌吉は船員一同を甲板に呼びあつめた。

二十人ばかりの一團が、棧橋に寄つて來た。先頭に肩をならべた二人は、勝安房守と上月弓之助である。親友のやうに親く語り合つてゐた。

中濱萬次郎もゐた。

それからお千とお加代が、仲のいゝ姉妹のやうに並んでゐる。目のさめるやうに美しい姿で。

その人々が棧橋に立つた時、彌吉は船員一同と共に、敬禮をした。

勝と、弓之助がそれに答へた。

彌吉はそれからは例の氣輕さで、鳥のやうに船から降つて、弓之助の傍に駈寄つた。

「先生ッ、いゝあんばいですね」

「おゝ船長、御苦勞でしたね」

「困るなあ、先生までそんな事をいつちやあ……彌吉、彌公と呼んで下さい」

眺なかくのを、勝と弓之助は笑ましげに見て、

「どうして君は立派な船長だよ」

と勝がいふ。そして弓之助に

「では、大事に行つてくれたまへ」

「わざわざのお見送り、有難うございます」

と弓之助は鄭重に禮を述べた。

中濱萬次郎にも、勝の家來にも、そのほか見送の一同に――。

きりゝとした旅支度のお加代は、お千と別れを惜んで、それから安房守そのほかに挨拶をした。

「日和はよし、近來にない愉快な船ぢや。お二人とも、御機嫌よう。君たちの歸りを、安房は千秋の思ひで待つて居る」

と勝は、右手をさしのべた。弓之助はかたくその手を握つた。

弓之助とお加代は並んだ。朝日がお加代の頬をほのぼのと染めてゐる。

小笠原島へ――。勝の手によつて結ばれた二人が晴れの鹿島だちだつた。新婚の旅だつた。その船長役の彌吉は、いつの間にかお千の側に行つて、同船をすゝめてゐる。お千は首を振つてゐた。

「さうですか。あなたのお心持はわかります。では、同志の方々にくれぐれもよろしく……」

「御機嫌よう」

たがひに別れがすんで、弓之助とお加代は、彌吉の先導で、乘船した。

機關のひゞきがはげしくなつて船は靜かに動き出した。

彌吉は帽子を振つた。

弓之助とお加代は、幾度も頭をさげた。

お千はじッと涙を嚙みしめて、二人の幸福を祈るのだつた。

小笠原島開拓にむかつた曙丸は洋々たる海に浮んだ（完）

大劇の千鳥會

萬歳と踊りの千鳥會は二十七日から大連劇場に開演するが、主なる番組は左の如くである▲萬歳小玉幸三、松鶴家千惠子、秋山千[illegible]、立花家政子、秋月、河内家秀春▲舞踊松の家所雪子▲漫談三遊亭圓馬▲曲技花川秋嶺▲舞踊鷹津小唄桃太郎▲新曲萬歳小玉慶三、甚句米枝▲松鶴家八千代▲女道樂笑の家歌女▲萬歳千鳥家力丸、とんぼ

巨彈連發の日活館　三月の豪奢陣

春の映畫シーズンを迎へた日活では正月番組の成功に鑑み三月再び特作品を連續上映して特別興行大會を催すこととなり三月一日から「歡呼の涯」を第一陣として左の如く豪奢番組を決定發表した

▲第一週　パラマウント特作品バンクロフト主演「歡呼の涯」日活時代劇特作品大河内傳次郎主演「旗本秘文書」後篇

▲第二週　日活現代劇特作品主婦の友連載吉屋信子原作夏川靜江主演「彼女の道」

▲第三週　メトロ映畫特作品バリモア兄弟主演「アルセーヌ・ルパン」日活千惠藏映畫「刺青奇偶」

▲第四週　パラマウント超特作品スタンバーク監督デイトリッヒ主演「ブロンド・ヴイナス」

▲第五週　パラマウント超特作品マムウリアン監督シユバリエ主演「今晩愛して頂戴な」

うわさ話

耿々として端正な風格を以て解說界に異彩を放つてゐる日活館の峰一郎クン▲正月の「街の野獸」頃から油が乘り出しルビッチの洒落た「極樂特急」を見事にこなして俄然高級ファンの注目を集め出した▲時恰も再び日活館が洋畫の巨彈を續映する好機に直面し好漢自重奮闘せよとの聲が高い▲映畫館の「制服の處女」は遼紙大連新聞社の支持を得てクリーンヒットを飛ばし廿八日まで日延べ

本社特選　新棋戰（其八）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は四七歩成迄の局面】

志澤氏持駒歩歩歩

△六六銀　▲同角　△同金　▲五七銀　△五六金　▲八六歩　△三三歩　▲同桂　△八五桂　▲同銀　△四三金　▲同金

【土居八段講評】志澤君が同角と犠牲にしたのは指し過ぎ、未だ自陣は安全なれば確かに五六歩と打ち敵若し同金なら四六角の意味に指す方が優る、上手三三歩打は攻撃手段を誤つてゐる、一旦六一角と打つ方が面白い。

【萩原六段解說】志澤氏の六六同角と切つたのは早計である評の如く五六歩と打つて同金、四六角で優勢であつた、土居八段の五六金は六七金では六六歩と打たれて悪いのである、志澤氏の八六歩は敵玉を狹める意味である、土居八段の八五桂は自玉を廣くする意味である、次に四四桂と敵玉に迫る意味で八五桂を取つたのである。

持てあまし氣味の 連鎖商店整理

債權者の滿鐵も苦惱

關係者と商議解決の意氣込

連鎖街にある連鎖商店は一昨年秋以來改組問題を起し第一案、第二案とも實行不能となり、未だに解決を見ぬが、解決を遷延すればするほど利子が加はり、いよ〳〵解決難を甚だしくするので滿鐵でも

中西地方 部長就任早々速かに解決すべく、部內を督勵するところがあつた、かくて最大の債權者たる滿鐵の地方部長および商工課長の更迭は本問題の急速なる進展を見るものとして注目されてゐたが、滿鐵側も研究すればする程、容易でないことが判り、又連鎖商店側でも內部の不一致から徒らに滿鐵その他の出方を靜觀待望するだけで遂に三箇月間を空費するに至つた、しかるに滿鐵地方部では當面の問題たる見本市開催地問題も

大體解決 を見たので、いよ〳〵懸案の連鎖商店問題に手をつけることゝなり、從來の行がゝりにのみ捉はれぬ獨自の解決案を見出すべく、係員を督勵して根本的調査に着手した、これが成案を得れば直に民政署、輸入組合、連鎖商店等の從來の關係者と商議して一擧に解決せんとする意氣込みであるが、何分複雜な問題なので、いよ〳〵近く交渉が表面化すれば種々なる難問を發生するものと見られてゐる

滿鐵の運炭旺盛 記錄的增加

目立つて減つた貯炭量

滿鐵の賣炭成績は例年舊正後は著減するを常とするが、今年は內地筋はもとより地元も依然需要旺盛なるため、輸送に全力をあげ一日平均上旬は八百六十三車、中旬八百二十九車と、昨年の六百二、三十車見當であつたのに比して、平均二百車以上の增加を示した、下旬に入つて以來は貨車增加のため石炭輸送量激減し、平均六百五十車臺にあるが、貨車返還次第送炭增加につとめる筈で三月の配車豫定數も八百車に決定した、三月に入れば煖房用は減ずるが、今年は土建界活況見越しで煉瓦製造が活潑となる見込みで輸出向の依然たる旺盛さと相俟つて、現在約四十萬噸の貯炭も、三月末の年度終りには三十萬噸に減ずべく、五年度末の九十九萬六千噸、六年度末の八十三萬五千噸に比して殆ど半分にも足らず、この調子では八年度は年度初より炭繰難に陷るべく、こゝ數年來常に供給過多で炭繰難に陷つてゐたことに比して隔世の感ある狀態となつた

紀州蜜柑

依然盛況持續

輸入果實中の大宗蜜柑の今冬輸入狀況は內地生產者方面より多大の期待をかけられてゐたが、愈々三月の出廻終末期を控へ豫想以上の好成績を收めた、卽ち當初銀高、關稅引下げなどの好材料に惠まれ出荷旺盛を極めたが、相場も

高値 は一時紀州物、特で四圓四、五十錢を唱ふる有樣に、生產地では大正十四年來の吹値と喜んだ、然るに二月中旬より臺灣ポンカンの進出侮るべからざるものあり、一方大連中央卸賣市場に上場されざる奧地中繼品が相場の好調と舊正をめざし潮の如く上市されて需給の調節を失つた折柄、熱河時局逼迫につれ、馬車徵發などの支障あり、奧地における輸送意の如くならず、中繼品が却て大連市場に運行する奇現象さへ出現したので相場暴落、現在紀州物特印で二圓四、五十錢見當を唱へて保合つてゐるが何分荷もたれのため今冬中は恢復の見込薄と見らる從つて最近は利得も殆ど數へ難き狀況にあるが

全滿 における出荷高は中央市場取扱紀州物七十萬個、同伊豫物三萬箱、中繼品伊豫物五十萬籍、合計百二十萬個と概算され當初生產者が見込んだ百萬個を既に突破してゐる盛況振りである

市場增設問題

私設市場の開設不可か

日曜評壇

最近、大連濱町に新築中の大連ビルディングの地下室を利用し私設市場の開設計畫がビルディング經營者の岸田氏によつて進められ、その筋への交渉その他萬事順調に進捗したと聞いて居たに拘はらず、關東廳商工課より意見出で願書はその儘當局の手許に保留されて目下停頓の狀態にあるとのことである、さらに一方市理事者よりも反對意見があり、結局該計畫の解消を餘儀なくされる模樣である。

◇

ついて、大連に於ける現在の公設市場を一瞥するに、信濃町外四ケ所の存在だけで、市民の生活必需品に對する需要が遺憾なく遂げられて居るかどうか、さらに內地主要都市のそれに比して、尠くもこれに近い程度の便益を得てゐるかどうか彼是檢討して見ると、必ずしも然らずの實狀にある。今內地の兩大都市、東京、大阪の例に見ると、東京には現在、公私の市場が四百九十餘ケ所あつて、恰も人口一萬人に一ケ所の割合であり、また、大阪は二百五十餘ケ所あつて、同じく一萬一千人の割合である。しかるに、大連は現在五ケ所であるから、これを日本人だけの人口に割當てると、一ケ所二萬人であり、日滿兩國人を合すれば實に一市場八萬人の割合に當る。この現實は、大連市民が右兩都市の市民に比べて、その生活必需品の需要に尠からぬ不便と不利を感じてゐることを立證するもので、從つてこの一點より見ても、現在の五ケ市場だけでは不足であることを語るものではなからうか。

◇

こゝに於て當局に考察して貰ひたいことは、大連の現狀とその將來の發展に鑑み、更に一二適地をトして新市場の增設を企てゝ貰ひたいことである、それは前記兩都市並の割合にまで市場の箇數を增加せよといふのではない、內地主要都市に比してあまりに寡少過ぎる大連現在の公設市場を、その對象とする人口との關係より今少し飽和せよといふのである、恐らく全市民も同樣の要望であらうことを信ずる。現在案件となつてゐる大連ビルディングの私設市場は、その地區の關係において或は論議さるべき多くの理由があるかも知れぬ、濱町の如き市內目拔きの箇所に魚菜市場を開設するなどは先づ市民衞生保持の上から考慮すべき一事たるはいふを俟たない、しかし、この附近の居住者にしてその開設を要望する聲が高く、一面市場衞生設備の完全を期し得べしとせば、市民生活の利福增進を念とする當局として、充分これを吟味するの責務がある。單に市理事者側の抗議的言辭にのみ聽從すべき筋合のものではない。（一記者）

市民奉仕の爲め 營業所增設

滿電の新計畫

滿電では既報の如く市內サービス・ステーションの擴充を圖り、顧客への一般のサービスを行ふに決定、大連電燈營業所を廢し、常盤橋、沙河口、紀伊町、小崗子の四ケ所に營業所を增設、常盤橋、沙河口の兩地は從來通りの場所に、紀伊町と小崗子は物色の上決定することになつてゐたが、紀伊町は建築協會ビル、滿洲農事協會跡に決定し目下準備を急いでゐるが、四月一日の年度替りごろより開所に至る模樣である

中銀の大豆買付 大分緩和を見た

新京より歸連の瓜谷氏語る

先般來新京に赴いてゐた瓜谷長造氏は二十六日午後七時五十分着列車で歸連したが、特產買付問題に關して左の如く語る

今回は全く私用で赴京したのだが、その序に滿洲中央銀行の山成副總裁、鷲尾、武安、五十嵐各理事等にもそれ〴〵個人の資格で會談してきた、例の特產買付は當業者方面の反對の聲が揚げられて爾來中止の狀態である、五十嵐、鷲尾、武安各理事は以前からの友人關係でもあり、よく懇談したわけだが、結局從來買付けたものに對して彼此議論することは結局水掛論になるから、今後に於ては充分當業者の意向を尊重して善處しようといふことであつた

最惡の場合を覺悟してあれ

滿洲中銀副總裁 山成喬六氏談

【新京電話】國際聯盟對日本の險象が將來どんな結果を齎すべきかに關し、山成滿洲中央銀行副總裁は左の如く語つた

極東の狀況に對する認識不足な聯盟が正當な判斷を下すことの難い事は豫期しながらも、その結果に想像以上の脫線振りを見せられては日本がこれに對し訣別せるのはあまりに當然であり吾々滿洲國の建設に全力を傾注するものにとつてはこの聯盟の無理解な態度は遺憾に思ふより寧ろ憤慨に堪へぬ、歐洲に於ける聯盟關係諸國中、大國側は東洋にも交渉を持ち、その事情に精通せるもの少く

內心事態 を正しく認めてゐるものも絕無ではないが、全然東洋と沒交渉な小國側の自己擁護の机上議論に引きずられ、已むなくかゝる態度に出でたのではあるまいか、事實、舊政權時代、支那全國に同時に賣り込んだ商品の代價につき歐米諸國は滿洲國內の部分に對しては、各總領事館なり、領事館なりの官憲の手を通じ、その支拂を滿洲國政府に請求し、滿洲國ではこれに對し適當な解決方法を示し且つ實現しつゝあるに於て、彼等商人は充分滿洲國の何たるやを理解してゐるのである、又歐洲大戰に依つて戰爭の甚しき慘禍をつぶさに嘗めた歐米諸國が聯盟の一部に稱へられる如き直ちに制裁手段を以つて日本に臨むと云ふ

經濟封鎖 の手段に出づるが如きことは有り得ないと思ふ、卽ち各國は聯盟の裁決は裁決として置いて、今後の極東の事態については實際に卽して適當なる考案を求めんとするのが眞意であらう、併し、もし東洋に交渉を有し、日本に飽迄制肘を加へんとする一國がありとすれば事態は最後的展開をなすものと考へねばならぬから、吾々日滿兩國の最惡の場合を豫想し、各方面に充分なる用意をいたし、卽ち經濟上に於ては萬一の場合に處すべき充分なる調査と計畫とを要し兩國共に擧國一致國難に處するの一大決意を要する

商議書記長問題 詮衡難に陷る

篠崎氏の復歸說は立消

大連商工會議所後任書記長問題は篠崎前書記長の復活說と、これを繞る某方面の策動等種々のデマが飛び關係方面ではその成行に就き注意を拂つてゐたが、過般の役員會席上

高田 會頭より本問題に言及し篠崎氏の復活說は全然望みなきと判明、旁々復活說は全然立消えとなつた、これと共にまたく〳〵各方面より書記長の椅子を覗ひ種々暗躍を續けてゐるものもあるが高田會頭は滿蒙開發と大連港の重要性に鑑み、後任書記長の詮衡は輕々に決すべきに非ず恒久性ある有識者たるの見解には何等變りなく、この見解の下に愼重な態度を執つてゐるが、身邊の事情、公的生活の繁忙より、何日までもこれが遷延を許さず早急の決定に迫られてゐるも、篠崎氏の復職は現下の事情より絕對不可能で

結局 その詮衡にも遲延を免れず、高田會頭の上京歸連後まで一應延期されるものと見られてゐるが、會頭は廣く人材を募るの見地から滿洲に限定せず、內地よりこれが招聘を決意、既に某方面の有力者に白羽の矢を立てゝをり、來月早々上京するの要務も關稅問題、國貨運動の外に本問題に就て具體的折衝を遂げるものゝ如くである、尙ほ篠崎氏は在所當時より關稅問題に深き造詣を有してゐるので、會頭も書記長は斷念せりとはいへ今後も種々援助を仰ぐ方針と傳へられてゐる

內地株暴騰

滿鐵二三圓高

內地株主力株は這般の暴落が帝國の聯盟脫退後最惡の經濟封鎖まで織込まれた相場だけに、賣込みの反動相場となり好勢を辿りつゝあつたが、いよ〳〵聯盟脫退が決定をみるや、日本の確乎不拔の決意が窺はれ、日本國民の有難味を痛切に感じると共に、國運を賭して買はんとする強人氣となり、一方軍需關係株爆發の刺戟もありてますく好勢を加へ二十七日前場北濱定期は土曜日に比し、大株四圓高、大新三圓五十錢高、鐘新三圓三十錢高、鐘紡六圓六十錢高と暴騰し、東新も三四圓高の百七十圓臺乘せとなりさきの安値より三十五圓方の反撥を入れ、當市の五品も五六十錢高、滿鐵新三圓二十錢高、他株も強調を示した

愛知縣が 哈市貿易館設置

北滿市場に進出を企圖 縣內務部長一行近く來滿

大阪、東京に次ぎ滿蒙市場に活躍して居る愛知縣では、滿洲國建國以來從來より一段と同縣物產の滿洲進出を企圖し、大連連鎖街の愛知縣物產紹介所の充實を圖ると共に更に○○線開通の曉に於ける北滿市場の重要性を見越し、北滿方面にもその地盤大開拓の必要を認め、八年度豫算に一萬八千圓を計上、先づハルビンに愛知縣物產貿易館を開設することに決定したため、これが具體的準備を進めて新年度もいよ〳〵接近して來たので、中谷內務部長並に管原商品陳列館長等一行は二十八日名古屋出發海路にて三月四日大連着約三週間の豫定で各地を視察關係要路と折衝を遂ぐると共に、ハルビンにおける陳列館の場所、建物及主任者等に就き具體的決定を行ひ、華々しい北滿市場進出のスタートを切ることゝなつた

舊官銀號機構の解消と 特產界の展望（下）

購運事業と金融重要性

新京にて　日笠芳太郎

故に今度の對中銀の特產問題は到底不得要領に終ることを免れなかつたが、唯、一點中銀の買付品を成るべく在滿商人に賣るといふことは、便宜的に相談されたので決定的の約束ではないが、中銀の買付けたものを直接輸出する事なく、在滿邦人の利益を圖ることゝいふことに多少の効果はあつた [illegible]

沿線より大連迄の商賣であつて大連では悉く三井の手にかゝることになつてゐるから、中銀の要領も此邊にあることゝ思はれる、之を從前の官銀號時代に見るも滿支に亘る商業上の聯關と、海外にも派生的機構を設けたこともあつたが多くは商略上の取引に使用され、安ければ自分の手で海外に出すといふ樣へだけで、高價を狙ふ方便とされた、併しながら中銀が舊官銀號の機構整理を一年を以て解消し若くは何或期間繼續しても結局 [illegible]

は決して玩具の人形に等しき從前の如き機構を以て──單なる取引だけの商略機關を以て滿足する筈なく又滿洲財界の發達のためにも斯かる微溫的組織を許さぬことは明かであるから邦商側も今から考慮を要する問題が橫はつてゐることが展望される

◇

而して特產營業が地方の小運送と聯關し又その圓滿なる金融を重心とする觀點に於て關東廳が官營を以て各所に配置した取引所を中心として、賣買の投機的機會を提ふることを唯一とする特產商の過去現在の狀態が改まらなかつたならば決して將來の特產界に跳躍することは出來ないであらうことが想像される、沿線の官營取引所は滿洲國が建設されて今迄の狀態を一變したから彼此融合の機關に改組 [illegible]

背後に擁する地の利を占有することを以て制壓的の商業工作を加へることは出來なくなるから、特產界將來の展望は全面的に重要性を加へることになる、奧地農村に迄買ひ進む滿洲商人は支那馬車を利用して、小運送を合流した商業的工作、卽ち購運事業の實際的源流を構成すると同時に、沿線方面にも共通的態度を以て進出し來ることゝなるので、同時に金融上の實力を具有したならば侮るべからざるものがあらう

◇

從前張學良時代は對立的意識を以て亂暴なる強制買收に抗爭しつゝ附屬地を楯とし、又滿鐵を背景として據る所があつたけれども、今後は事態を一變して抗爭意識を解消し、共通的商策に轉向する事態となつて來たから、中銀が合辦を說くのも理論的には是認し得る、卽ち此點は時局的商業の變遷に從りて [illegible]

同一の抗爭狀態を續けることこの利害得失は確に重要なる研究問題であつて、特に中銀が特產機構を分離した場合當然生ずる新機構は退步を意味するものではなく舊官銀號麾下の糧棧牙行を單に解消するものと見る者があつたなら大間違ひであるのみならず、中銀は之を解消し淸算しても各糧棧等が姿を沒する筈なく、又一度姿を沒しても、姿を變へて更生することになるから、中銀とは無關係であつても、從來多年の經驗と智識とに相異性はないし、特に其一般商人との合流に依る實力は大なるものがあらう、又中銀より特殊の金融を受けぬといふ觀點を除いて [illegible]

變動による損失、卽ち取引市場における高下が主要の觀點になつてゐるが、今後は其投機的變動を薄らげる機構が共通的に行はれるとしても半面に外部的の商敵は純經濟的の當然の競爭を以て對等の狀態に於て出現するから油斷はならぬ、徒らに投機的商略にのみ馳せることの、ヨリ危險を增加することを知られねばならぬ、故に特產界の新動向は、均等なる金融狀態に於て投機的傾向を回避しつゝ、眞の特產營業を主體とすべく、又其方法に出づることを正當とすることは言を俟たぬが、滿洲商人が買付と殆ど同一工作たる小運送に獨占的の有利なる地步を占むることゝ、中銀の關係を離れたる後の金融上の新生意識とは、最も注目すべき點で、邦商の征服的商權擴張意識の如きは、最早寬容すべからざる新時代を出現することを認識せねばならぬ

綿糸布現物

商狀ダレ氣味

最近の大連綿糸布現物市況は、銀高にも拘らず相場は却てダレ氣味である、之は昨年十一、二月頃折柄の銀高に刺戟されて實需と思惑に無闇に買進んだ咎が今現れてゐる譯で、既約定高は全滿を通じ大凡五萬俵にも達し荷兌れを招來してゐる、而して此傾向は南滿殊に大連に於て特に顯著であつて滿商側は弗々取組延長の策に出てゐるやうである、隨つて該當分はなほ低迷商狀から脫し得ないやうであるが、現物氣配を示せば左の通りである

△綿糸 [illegible]百八十四圓、仙桃百八十三圓

△綿布 [illegible]

三月一日休業

銀行各市場共

三月一日の滿洲國建國記念祭當日大連の各組合銀行並に特產、錢鈔、五品の各市場は慶祝の意を表し休業することに決した

滿電石橋氏上京

滿電常務石橋米一氏は新社員採用の社務を帶びて來月四日の定期船で內地に向ふ筈豫定約一ケ月

黄塵

◇…ジュネーブにおいて、英國代表のエデン次官が提案した極東に對する軍需品の輸出禁止案が、各國代表の贊成を買つて、具體化への研究が進められて居ることは、懼く共世界を擧げて日本への挑戰を示すものだが。

◇…この成行如何では吾等日本國民は愈々非常な覺悟を要する、聯盟がその面目保持の爲めには昂然として聯盟を脫退せんとする日本の態度を簡單に默視することがあるまいことは、當然想惟されることであり、惧らく經濟封鎖などはあるまいなどゝたかをくゝつてゐるのはあまりに呑氣過ぎる。

◇…昨今財界の識者にして言議を爲すものは、どれもこれも案外な樂觀論を吐いてゐるやうだが、もしこれが自慰的な言辭であるなら別もの、本氣にさう信じて居るとすれば大きな錯覺を國民に投ずるものである、時局に對しさらに再認識をなす必要がある。

市況（廿七日）

特產

買氣旺盛で 大豆昂騰

今朝の定期は大豆は買氣旺盛で昂騰を辿り豆粕も相伴つて強調を示し、豆油は閑散保合、高粱は大豆高銀安に反騰を入れた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百九十一車

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	一二三0	一二三0	一二三0	一二三0
四月限	一二三0	一二三0	一二三0	一二三0

出來高 一千箱

▲高粱（反騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月末	二三00	二三三0	二三00	二三三0
三月末	二三三0	二三五0	二三三0	二三五0
四月末	二三五0	二三七0	二三五0	二三七0
五月末	二三八0	二三八0	二三八0	二三八0

出來高 三十八車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	四五九0	四七00
出來高	三百二十車	
普通（袋込）大豆（裸物）	四五八0	四六七0
出來高	二十車	
豆粕	一四五五	一四七0
出來高	一萬九千枚	
豆油	一三四0	一三五0
出來高	三千箱	
高粱	二三00	二三00
出來高	三車	
包米	二四00	二四00
出來高	三車	

豆粕生產高（二十七日） 一0一、000枚 三三軒

定期喰合高（廿五日帳入）

品目	喰合高	前日對比較（△印減）
大豆	四九二四車	△一五六車
高粱	一一一三車	△五車
豆粕	二五六六千枚	三五千枚
豆油	六九五百箱	五百箱

錢鈔

當市軟調

日米浮動

今朝日米第一回十六分の一安の二十弗八分の一、第二回同事、米日も十九仙安の二十弗十八仙を入れ當市初め強含みのところ日米第三回十六分の一高を入れ人氣ダレて五圓臺を割り引緩んだ、銀塊は倫敦、紐育とも八分の一安、孟買同事にて標金軟り、滬申七十三兩四二五、滿洲七十兩四七五、大洋九十六圓五十錢

◇現物前場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）廿萬一千圓（銀對洋）一萬六千圓

◇定期前場（單位錢）

限	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近五百卅七萬圓

株式

內地株暴騰 當市も強調

日曜明けの北濱定期の前場寄は大株三圓高、大新三圓三十錢高、鐘紡五圓五十錢高、鐘新三圓五十錢高と奔騰し引も大株一圓高、大新二十錢高、鐘紡一圓十錢高、鐘新二十錢安と軟りに引け東京短期の東新は百六十六圓五十錢と寄付きアト步み騰勢を辿り三圓六十錢高に引けた地場株もこれにつれて五品の定期五十錢高、錢鈔十錢高に引け大新は五圓高、鐘新五圓五十錢高を示し滿鐵新は四圓高と [illegible]

◇定期前場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆（寄／引）	二五七	二六四
錢鈔（寄／引）	二七0	二七五
滿興（寄／引）	二四八	

豆

けさ大豆は邦商及外商の現物優勢買と先物に對する邦商及奧地筋の買戾しに昂騰を辿つたが高値には一般に買氣添はず取引は閑散▲豆粕は大豆に伴つて堅調を示したが邦商の買氣は依然として振はず閑散なる場面を示し▲豆油は添はず閑散保合、高粱は大豆高、銀安を眺めて一氣に上り反騰を入れた▲現物大豆は輸出筋買旺盛で裏隆百八十車、三井五十車、三菱九十車、日滿三十車で二百八十車、それに油坊五十車の買あり三百三十車の大量取引をみた

銀

今朝日米第一回十六分の一安、米日も十仙安を入れたので▲當市十五錢高の百五圓七十五錢に寄り九十錢まで伸びたが▲あと氣迷うて人氣崩れ折から日米第三回も十六分の一反騰を報じた▲そこで漸次ヂリ安歩調を辿り五圓臺を割つて弱く引けたが▲右は大した材料があつたわけでなく仲儈んだ相場の綾から押したものと見るべく▲一般には熱河時局の進展につれて先高を見越すもの多く目先も底意堅りかと思はれる

株

內地株は這般の暴落後突込み過ぎの訂正で反騰步調を示してゐたが帝國の聯盟脫退決定をみるや人氣は却つて強硬を加へ▲之れは帝國の確乎たる決意から國運を賭して邁進する強人氣が擡頭したことがあり▲一時懸念された鎖の如きは到底あり得ぬとの國民の認識が深まり一方軍需工業活潑なる非常時インフレ見越され出したためか東新なども早くも二百圓臺をみせたら二回が期待されてゐる十五圓以上のものでも [illegible]

糸

米棉情報は [illegible] アプールの [illegible] かつたので安寄りし [illegible] も株安で低落した [illegible] 物二十ポイント安、先 [illegible] 安と急落した▲大阪 [illegible] 綿安乍ら爲替安と株 [illegible] 殺され各限一圓安程 [illegible] 合を入れ當市はマバ [illegible] 合せを見た▲麻袋は [illegible] 保合、地場銀票弱保 [illegible] 變らざるも安値には [illegible] 相當出合があつた

◇延取引

銘柄	寄値	高値
五品	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]
大新	二100	二100
東新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]

五品（寄／中／引） 二一八九／二一八八／二一八九

商品

綿糸弱保合

麻袋變らず

▲麻袋 產地情報銀、高共同事、印爲替二分の一安、米日十三安際氣配現物、當限共三十三錢、四月三十三錢、五月三十四錢五厘、四月三十四錢五厘、六、七月三十四錢七厘見當

銘柄	約定期	約安値段	枚數
綫筋	二月限	三三00	三二

滿鐵株（暴騰）

銘柄	値段
東短前場	
滿鐵新株（寄）	四十五圓九十錢
滿鐵新株（引）	四十七圓
大阪短期 滿鐵舊株	六十三圓

限月	値	
同 六月限	三三九0	二0
同	三四五0	三0

出來高 八萬二千枚

延期	金額
定期	二、八四0枚
延	三、五三0枚
羅	三0枚
合計	六、四00枚
早受	四五0枚
金額	二、0九五圓
早渡	二、七八0枚
金額	八五、七四0圓

株式出來高（廿五日）

銘柄			
五品	二三五0	二三0	二三0
新豆	二三0	二三0	二三0
錢鈔	二三0	二三0	二三0
氷新	二八0	一	一00
大新	二100	二0	二0
東新	一六六五	一0一	二二0
鐘新	九七五	二0	一
滿鐵新	四五五	二0	二三0

▲爲替及受渡日步

上海爲替情報

【上海二十七日發】標金賣變形の銘柄一部投機筋の煎れありて上放アト小押すも安値には買物多く [illegible]

銘柄	約定期	約定値段	梱數
綿糸	六月限	一八一八0	一0
同	七月限	一八二二0	一0
同	同	一八一八0	二00

出來高 百二十梱

各地特產發送高

	大豆	高粱	豆粕	雜穀
開原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公主嶺	五車	[illegible]	[illegible]	[illegible]

市場電報

銀塊及爲替（廿七日）

品目	相場
倫敦銀塊	一七片一六分三
同 先物	一七片四分一
紐育銀塊	二六仙三分一
孟買銀塊	三五留比八分三
スチール	三四弗八分五
アナコンダ	五弗三分一
英米爲替	三弗四一仙0分0
米日爲替	二0弗一八仙
米支爲替	二六弗八分七

神戸日米

回	相場
第一回	二0弗八分一
第二回	二0弗八分一
第三回	二0弗一六分三

棉花

●米棉

限月	相場
現物	五仙六五
三月	五仙八0
五月	五仙九四
七月	六仙0六
九月	六仙一七
十一月	六仙三六
一月	六仙四七

●印棉

銘柄	相場
ベンゴール	一六0留比
ブローチ	一八八留比
オームラ	一四六留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日穗	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
滿鐵	六六00	六四00
東株	—	—
東新	[illegible]	[illegible]

（短期）大新・東新

	大	新	東	新
寄値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

鐘新・滿鐵

	鐘新	滿鐵
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆	[illegible]	[illegible]

大阪期米・神戸期米・東京期米

	當限	中限	先限
大阪期米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸期米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京期米	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

限	寄付	大引
當限	四六00	四六00
先限	五100	五一10

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

印度麻袋

品目	相場
鐵筋直積	三留比0分0
青筋直積	三留比0分0
爲替相場	七留比三分一